

小諸市総合計画 第11次基本計画



令和3年度 実施計画書 兼 事業説明書

令和3年度～令和5年度



目次

【政策1：子育て・教育】心豊かで自立できる人が育つまち	1 頁
【施策 1-1】教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます	4 頁
【施策 1-2】安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体（みんな）で取り組みます	16 頁
【施策 1-3】生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します	24 頁
【施策 1-4】かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します	36 頁
【施策 1-5】スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します	40 頁
【施策 1-6】市民の人権意識を高めます	48 頁
【政策2：環境】自然環境を守り、循環型社会の進んだまち	5 5 頁
【施策 2-1】ごみの減量と再資源化を進めます	58 頁
【施策 2-2】環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します	66 頁
【施策 2-3】市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します	72 頁
【政策3：健康・福祉】一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち	7 7 頁
【施策 3-1】市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します	80 頁
【施策 3-2】誰もが安心できる福祉環境を整備します	90 頁
【施策 3-3】高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します	100 頁
【政策4：産業・交流】地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち	1 1 1 頁
【施策 4-1】農家の担い手を育て儲かる農業を目指します	114 頁
【施策 4-2】地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります	130 頁
【施策 4-3】暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます	136 頁
【政策5：生活基盤整備】安心して快適に暮らせるまち	1 4 3 頁
【施策 5-1】多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます	146 頁
【施策 5-2】社会基盤の整備と長寿命化を進めます	152 頁
【施策 5-3】安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます	162 頁
【施策 5-4】安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます	166 頁
【政策6：協働・行政経営】すべての主体が参加し、協働するまちづくり	1 7 3 頁
【施策 6-1】参加と協働により市民主体のまちづくりを推進します	176 頁
【施策 6-2】戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します	180 頁
【施策 6-3】財政の健全性を確保しながら、効率的・効果的な財政運営を進めます	190 頁
【施策 6-4】市税収入をはじめとする自主財源の安定的な確保を図ります	196 頁
【施策 6-5】職員の意識改革と育成を図り、市民サービスの向上に努めます	200 頁

実施計画書 兼 事業説明書

【政策 1：子育て・教育】

心豊かで自立できる人が育つまち

【施策1-1】 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

【施策1-2】 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体（みんな）で取り組みます

【施策1-3】 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

【施策1-4】 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

【施策1-5】 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

【施策1-6】 市民の人権意識を高めます

◆ミッション

明治時代から受け継がれてきた「梅花教育」や、小諸の豊かな自然・歴史・文化といった財産や、医療・福祉などの子育て・教育に適した環境をフルに活用して、小諸ならではの子育てや生涯にわたり学びが実践できる環境を整える。

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。

◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。

◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

◆方 針

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」と「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である『生きる力』の育成を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。

子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備・充実とともに、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。施設・設備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実、保育園の再配置計画の策定等に取り組む。また、人的な面では、子育て・教育における課題の解決に向けて、時宜に応じた配置や充実に努める。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。

学校と家庭、地域、関係機関等との連携による信州型コミュニティスクールを推進するほか、子どもたちの健全育成と安全・安心の確保に向けて、地域総ぐるみでの取り組みの強化を図る。また、安心して子育てができるよう、各年齢段階に応じたサービスの充実に努めるとともに、多様な子育てニーズに応えるため、各種事業のさらなる充実を図る。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。

生涯を通じた学びが広がり、生きがいつくりにつながるよう、小諸ならではの様々な資源を活かしながら、学習環境の整備、生涯学習機会の創出を図り、市民の主体的な学びを促進する。また、まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」の実現に向け、各種事業の充実を図る。

◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。

ふるさと「小諸」のかけがえのない文化財の保存・継承・活用等に取り組むとともに、歴史的な資料や古文書の収集・保存・研究等を一体的に進める。また、小諸の誇りを認識し、ふるさとを愛し大切に思う心を育むため、小諸の歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。

◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。

多様化するスポーツニーズへの対応に努めるとともに、統廃合を含め施設の適切な整備を図る。また、高地トレーニングで小諸を訪れるアスリートと市民との交流事業等を進め、競技へのきっかけの場やまちの活性化、健康づくりへの展開につなげる。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる社会の実現に向け、保育園、小・中学校をはじめ、家庭、地域、企業等で、人権意識の啓発・人権同和教育を積極的に進める。また、教育・啓発活動とともに、市民の交流の機会の創出、相談体制の充実等を図る。

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-1	教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

所 管	学校教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動できるような「生きる力」を育むため、豊かな心と健やかな体の育成・基礎学力の向上・子どもの学びを支える教育環境の整備などに取り組んでいる。

喫緊の課題としては、学校改築・再編方針に基づく「長期学校改築計画」の早期策定であり、長期的視点に立った学校の適正規模・配置について検討し、統廃合も含め、学校教育審議会による議論を進める。

また、学校現場で質の高い指導が行われるためには、「教職員の働き方改革」を推進し、教職員が子どもと向き合う時間を確保することが課題となっている。不登校やいじめの改善に向けた継続的な支援等についても、さらなる取り組みが必要である。

◆方針

目的
<p>子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である「生きる力」の育成を図る。</p> <p>子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実等に取り組む。また、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・具体的な再編方法等を検討している「学校教育審議会」からの答申を基に作成した、「学校再編(案)」の住民合意を図り、次のステージ(基本構想策定)へと移行する。
- ・学校施設長寿命化計画に基づき、施設や設備の長寿命化を計画的に進めるとともに、子どもたちの学習習慣・生活習慣の形成への支援、不登校未然防止の取り組みのほか、教員の資質向上や働き方改革の推進など「学びを支える体制づくり」を進める。
- ・小学校の「英語教科化」をはじめ「ICT教育」など、新学習指導要領への対応、環境整備を継続し学校現場への定着を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①豊かな心と健やかな体が育成され、基礎学力が向上し、子どもの学びを支える教育環境が構築された状態。</p> <p>②学びに対する意欲や喜びが高まり、「生きる力」が育成された状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	全国学力状況調査(小・中学校の全国平均値との対比)						
設定理由	全国学力状況調査の結果が向上すれば、「学力」の習得の度合いが向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小93.5 中98.1	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績					
指標名	全国体力状況調査(小・中学校の全国平均値との対比)						
設定理由	全国体力状況調査の結果が向上すれば、「体力」が向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学5年生・中:中学2年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小97.3 中93.4	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績					
指標名	学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合						
設定理由	上記指標の値が向上すれば、子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」が高まり、「生きる力」の育成につながると考えられるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小88.2 中76.0	計画	小88 中76	小88 中76	小88 中76	小88 中76	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・「学校教育審議会」からの答申に基づき、学校再編計画を着実に進め、併せて小中一貫教育の推進を図る。
- ・学校施設の長寿命化に向けた改修を計画的に進める。
- ・多様なニーズや学校運営上の諸課題への支援を継続し、「学び」を支える体制づくりを進める。
- ・教員の指導力向上を図るとともに、新学習指導要領など学校教育の変化に対応した授業づくりや教員の働き方改革を推進するため、教育現場のICT化を進める。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4「質の高い教育をみんなに」
 明治から受け継がれてきた「梅花教育」の精神のもと、新学習指導要領が求める主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の充実に向けて、教職員の教育観を高め、指導力を向上させるための研修を進めるとともに、児童・生徒に一人1台配備する情報端末を有効活用することにより、学習の質の向上と効率化を図る。
 また、児童・生徒一人ひとりを支えるうえで必要な人材を配置することにより、個に応じた多様な学びの実現を支援する。

◆個別計画

教育振興基本計画／小中学校ICT環境整備計画／学校施設長寿命化計画

◆特記事項

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
教育委員会運営費		継続	24			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の運営					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		3,338 千円	3,338 千円	3,338 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		3,338 千円	3,338 千円	3,338 千円		
目的	教育の機会均等及び教育水準の維持向上を図るとともに、地域の実情に応じた教育振興施策を講じる					
令和3年度の目標						
定例会のほか事前研究・研修会を実施し委員会機能を強化する。						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	定期的な教育委員会の開催		回	12	12	12
特記事項	事前研究会・研修会の開催		回	12	12	12
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
姉妹都市教育委員等連携事業		継続	20			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	子どもたちが他地域の文化に触れる機会を確保するため交流事業を支援する					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		760 千円	750 千円	700 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	30 千円	30 千円	30 千円	
一般財源		730 千円	720 千円	670 千円		
目的	姉妹都市との交流を通じて他地域の文化や生活に触れる機会の創出					
令和3年度の目標						
児童・生徒の体験交流事業として、自立した滑川市との交流(小学生)、中津川市との交流(中学生)を継続実施する。						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	サマー・サイエンススクールの参加人数		人	3	3	3
特記事項						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
事務局運営費		継続	25		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・施策推進のための事務局運営費				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,162 千円	1,162 千円	1,162 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	1,162 千円	1,162 千円	1,162 千円	
目的	各施策推進のため適正な執行を進める				
令和3年度の目標					
事業の選択と集中を行うとともに、事務局内の横の連携を密に図ることで、効率的かつ効果的な組織運営を図る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
学校運営費		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・小中学校運営の支援 ・特色ある学校運営を推進するための補助金の交付 ・教職員の資質向上を図るための補助金の交付 ・小中学校の給食食材の放射性物質測定の実施と結果の公表 ・小学校の英語教科化に伴う効果的な英語教育の実践と中学校の英語教育との連携を強化する取り組みを進める				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	58,651 千円	61,000 千円	61,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,450 千円	1,450 千円	1,450 千円	
	一般財源	57,201 千円	59,550 千円	59,550 千円	
目的	小中学校において、子どもの「学ぶ環境」の整備を図るとともに、適切に学校運営ができるよう支援する 小学校低学年から英語に触れる環境の形成、中学校での英語教育の高度化、教職員の指導力向上など、英語教育全体の充実を図る				
令和3年度の目標					
・教職員の働き方改革についての研究及び教職員の負担軽減の取り組みを継続する。 ・全小中学校で月1回行う放射性物質検査の検査結果をホームページ等で公表する。 ・英語教育において新学習指導要領にもとづき、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する取り組みを進める。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項	「自分の考えを深めることが出来た」と答えた児童の割合	%	78	79	80
	「お互いの意見を生かし解決方法を定める」と答えた生徒の割合	%	63	64	65
	・10-1-2-3学校給食食材放射性物質測定事業と、10-1-2-4英語教育推進事業を統合				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
長期学校改築計画策定事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	2:有		
事業概要	市内小中学校のあり方について、小諸市長期学校改築検討会において「たたき台」を作成し、小諸市学校教育審議会の答申を受け、さらに検討を加え「小諸市長期学校改築計画」を策定する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	984 千円	0 千円	0 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	984 千円	0 千円	0 千円		
目的	児童・生徒数の減少、校舎の老朽化、厳しい財政状況・今後の教育のあり方等の検討を踏まえた「小諸市長期学校改築計画」を策定する				
令和3年度の目標					
「小諸市学校教育審議会」の答申を受け、市民説明会等を経て再編計画を盛り込んだ長期学校改築計画を策定する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	審議会の開催	回	5	0	0
	長期学校改築説明会(市民懇談会)の開催	回	10	0	0
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校管理費運営費		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・小学校の管理・運営 ・臨時職員の任用 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・小学校における児童・教職員を対象とした各種健診・検査の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	147,663 千円	158,000 千円	158,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	2,260 千円	2,260 千円	2,260 千円		
一般財源	145,403 千円	155,740 千円	155,740 千円		
目的	小学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、児童の学習環境を整備する 児童・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る				
令和3年度の目標					
・全小学校においてCRT検査を実施し学力向上につなげる。 ・QU検査またはハイパーQU検査を実施し、学級の状態の把握と今後の学級経営の方針を把握する。 ・備品の適性な管理を行う。・保護者の負担軽減を図るため、適正に傷害保険給付を行う。 ・学校保健法等の改正に伴う検査内容について、養護委員会、小諸北佐久医師会と連携し適切に実施する。 ・労働安全衛生法の改正に伴うストレスチェックを全校で実施するか検討する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	災害共済給付金の申請件数	件	230	220	210
特記事項	・10-2-1-5小学校保健事業を統合				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校施設維持管理事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	・小学校施設を維持管理するための保守点検、修繕、営繕工事など				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	37,180 千円	35,000 千円	35,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	30 千円	30 千円	30 千円		
一般財源	37,150 千円	34,970 千円	34,970 千円		
目的	小学校施設を適切に維持・管理するため保守点検、修繕、営繕工事を行い、児童の学習環境を整備する				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度策定の「学校施設長寿命化計画」に基づき、特に緊急性の高いもの及び安全に係る案件に限定し対応する。 ・保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	1	1	1
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校給食運営事業		継続	15		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	2:有		
事業概要	自校方式で学校給食を提供する				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	82,551 千円	85,000 千円	85,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	82,551 千円	85,000 千円	85,000 千円		
目的	安全で美味しい学校給食を提供するとともに、食育を推進する				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の取組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。 ・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。 ・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。 ・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と、衛生等マニュアルの整備を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	一人当たりの給食残食量(g/年)	g	650	600	550
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校教育振興支援事業		継続	18		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「きらら会」による小学5年生を対象とした体験授業の開催 小学校の理科教育備品の整備 遠距離通学児童の保護者に対する補助金の交付 要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 特別支援教室に通う児童の保護者に対する就学奨励費の支給 小学校低学年時の学習習慣形成と集団生活の中での生活習慣の形成 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	42,648 千円	40,000 千円	40,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,232 千円	1,200 千円	1,200 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	41,416 千円	38,800 千円	38,800 千円	
目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術体験を通じて豊かな感性を養う 特別な配慮や支援を必要とする児童、保護者に対して支援を行う 				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の実施により新たな理科用備品の整備が必要となるため、学校現場のニーズを把握し、事業が円滑に実施できるよう引き続き事務を行う。 就学援助費については、学校との密な連携から対象者を確実に把握し、交付要件を確認したうえで適切に交付する。 支援教員の資質向上のための研修会を実施する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	支援教員への研修回数	回	5	5	5
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 10-2-2-3小学校教育支援事業を統合し、事務事業名を小学校教育振興支援事業に変更。 				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校ICT教育推進事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 1人1台のパソコンを活用した情報教育の推進と環境の整備 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	14,386 千円	14,300 千円	14,300 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	14,386 千円	14,300 千円	14,300 千円	
目的	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術を活用した教育環境の整備のほか、児童が情報に正しく向き合い、適切に利用できる力を育む。 				
令和3年度の目標					
令和2年度において整備が完了した1人1台の情報端末を活用した授業の実施のため、必要な機器、ソフトウェア等の導入を検討する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	パソコンを活用した授業時間の割合	%	10	20	30
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中学校管理費運営費		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・中学校の管理・運営 ・臨時職員の任用 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・中学校における生徒・教職員を対象とした各種健診・検査の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	69,862 千円	80,000 千円	80,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	2,550 千円	2,510 千円	2,510 千円	
	一般財源	67,312 千円	77,490 千円	77,490 千円	
目的	中学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、児童の学習環境を整備する 児童・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る				
令和3年度の目標					
・必要な教材・教具を整備する。 ・備品の適切な管理を行う。 ・保護者の負担軽減を図り、適正に傷害保険給付を行う。 ・学校保健法等の改正に伴う検査内容について、養護委員会、小諸北佐久医師会と連携し適切に実施する。 ・労働安全衛生法の改正に伴うストレスチェックを全校で実施するか検討する。(現時点では小諸東中のみ実施しているが、全校で行うことが努力義務となっているため。)					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	災害共済給付金の申請件数	件	230	220	210
特記事項	・10-3-1-5中学校保健事業を統合				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中学校施設維持管理事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	・中学校施設を維持するための保守点検、修繕、営繕工事など				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	21,612 千円	250,000 千円	250,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	66,666 千円	66,666 千円	
	地方債	0 千円	119,900 千円	119,900 千円	
	その他	200 千円	200 千円	200 千円	
	一般財源	21,412 千円	63,234 千円	63,234 千円	
目的	中学校施設を適切に維持・管理するため保守点検、修繕、営繕工事を行い、生徒の学習環境を整備する				
令和3年度の目標					
・令和2年度策定の「学校施設長寿命化計画」に基づき、当面は建築後概ね30年が経過した小諸東中学校の長寿命化のための改修工事を優先して進める。 ・保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	1	1	1
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校給食運営事業		継続	16			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	2:有			
事業概要	自校方式で学校給食を提供する					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	36,189 千円	40,000 千円	40,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	36,189 千円	40,000 千円	40,000 千円			
目的	安全で美味しい学校給食を提供するとともに、食育を推進する					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の取組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。 ・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。 ・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。 ・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と、衛生等マニュアルの整備を行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	一人当たりの給食残食量(g/年)	g	350	300	250	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校教育振興支援事業		継続	19			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の外部指導者として市内の人材を活用した際の当該指導者に対する謝礼の支払い ・中学校の理科教育備品の整備 ・遠距離通学生徒の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う生徒の保護者に対する就学奨励費の支給 ・アメリカ合衆国ミシガン州ホランドのホープカレッジへの中学生の派遣 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	23,991 千円	24,000 千円	24,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,163 千円	1,034 千円	1,034 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	22,828 千円	22,966 千円	22,966 千円			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動支援を行う ・理科教育備品の充実を図る ・特別な配慮や支援を必要とする生徒、保護者に対して支援を行う ・小諸市と歴史的につながりのある海外都市(大学)との交流を通じて、グローバル社会に適応できる人材を育成する 					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場のニーズを把握し、事業が円滑に実施できるよう引き続き事務改善を検討する ・部活動指導員の活用内容を検証し、適正な活用を図る ・就学援助費については、学校との密な連携から対象者を確実に把握し、交付要件を確認したうえで適切に交付する ・中学生英語(イングリッシュセミナー)及び海外派遣の継続実施 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	英語指導として、英語で発表する言語活動をした割合	%	100	100	100	
特記事項	支援教員への研修回数	回	5	5	5	
	<ul style="list-style-type: none"> ・10-1-1-5中学生海外文化語学学習事業及び10-3-2-3中学校教育支援事業を統合し、事務事業名を中学校教育振興支援事業に変更。 					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中学校ICT教育推進事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課	2:有		
事業概要	・1人1台のパソコンを活用した情報教育の推進と環境の整備				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,416 千円	8,400 千円	8,400 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	8,416 千円	8,400 千円	8,400 千円		
目的	情報通信技術を活用した教育環境を整備し、生徒の操作技術の向上や情報モラルへの指導を行う				
令和3年度の目標					
令和2年度において整備が完了した1人1台の情報端末を活用した授業の実施のため、必要な機器、ソフトウェア等の導入を検討する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	パソコンを活用した授業時間の割合	%	20	30	40
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
奨学費運営費		継続	23		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市奨学金審査会の運営 ・小諸市大津秀子奨学基金、小諸市あさま奨学基金の運用管理 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	313 千円	313 千円	313 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	313 千円	313 千円	313 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	家庭的、経済的な理由により就学が困難な生徒・学生に対して奨学金を貸与及び給付を行い、就学機会の拡大を図る				
令和3年度の目標					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
奨学費貸付事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無		
事業概要	小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	6,060 千円	7,860 千円	7,860 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	6,060 千円	7,860 千円	7,860 千円	
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	家庭的、経済的な理由により就学が困難な大学進学希望者に対して奨学金を給付し、就学機会の拡大を図る				
令和3年度の目標					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
奨学費給付事業		継続	21		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無		
事業概要	小諸市あさま奨学金の給付				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,880 千円	3,840 千円	5,760 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	2,880 千円	3,840 千円	5,760 千円	
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	家庭的、経済的な理由により就学が困難な大学進学希望者に対して奨学金を給付し、就学機会の拡大を図る				
令和3年度の目標					
他の奨学金との併給を可能とすることと判定要件を緩和することにより、受給者を4名に拡大する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

事務事業名				新規・継続
小学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費				学校教育課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		84,603 千円	85,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		84,603 千円	85,000 千円	
事務事業名				新規・継続
中学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費				学校教育課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		30,980 千円	31,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		30,980 千円	31,000 千円	
事務局給与費				新規・継続
会計・款・項・目				継続
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費				学校教育課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		149,935 千円	149,935 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		149,935 千円	149,935 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-2	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

所 管	子ども育成課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

少子化、核家族化の進行や、地域の人と人とのつながりの希薄化、共働き家庭の増加など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している。これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに多様化が進み、その対応が求められている。

今後も少子化が進行する中、将来にわたってより良い保育環境が提供できるよう、ニーズにあった多様な保育の充実と、需要を満たす教育・保育施設の受け入れの確保、増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援、また社会問題となっている児童虐待の防止対策などが課題となっている。

◆方針

目的
<p>家庭における子育ての負担や不安、孤立化を和らげ、安心して子育てができる環境づくりを、行政だけでなく、家庭ですべきこと、地域で支え合えることなど役割分担をしながら社会全体(みんな)で取り組む。</p> <p>ファミリーサポートセンターや病児保育事業など多様な保育を充実するとともに、保育園においては、私立と連携しながら需要に対応する受け入れを確保し、また効率的に施設運営を継続するため、保育園の再配置計画の策定を進める。特別な教育的ニーズのある子どもに対しては、自立と社会参加に向けた支援を行う。児童虐待の対応においては、関係機関が連携して発生予防、早期発見、発生時の迅速な対応・支援を行う。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・統合新保育園の建設をスケジュール通り進め、令和4年4月に芦原と中央保育園からスムーズに移行し開園できるよう準備を進める。
- ・「病児病後児保育施設」を計画どおり複合型中心拠点誘導施設の開設時に開始する。
- ・「ファミリーサポートセンター」は社会福祉協議会と連携し、複合型中心拠点誘導施設へ移設後も継続して会員の拡大・育成を進め事業の充実を図る。
- ・保育所給食の調理業務を委託業者へスムーズに移行し、適正に調理業務が実施されるよう進める。
- ・増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもに対応できる教育相談体制を確保する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①社会全体(みんな)の取り組みによって、安心して子育てができる環境が充実した状態。</p> <p>②特別な教育的ニーズのある子どもが、周囲に理解されながら有効な支援をうけることにより、状況の改善や生活力の向上が図られ、より良い成長が促される状態。</p> <p>③児童虐待においては、関係機関が児童等に関する情報や支援方針を共有し的確な対応を行うことにより、子どもが適切な養育を受けられる状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	子育てしやすい環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	子どもが心身ともに健やかに育つために、安心して子育てができる環境が必要であるから。					
算式	市政への満足度(1)子育てしやすい環境づくり 満足+やや満足+普通の合計					単位 %
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	55.8	計画	56.5	57.0	57.5	58.0
		実績				
指標名	要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースの中で支援が終了したケースの割合					
設定理由	児童虐待があった、また、そのリスクの高い家庭を積極的に支援し、児童等の適切な養育につなげるため。					
算式	年度内の進行管理件数のうち、支援を終結した件数の割合					単位 %
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	19	計画	20	20	20	20
		実績				
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・統合新保育園の整備を計画通り進め、令和4年度に開園する。
- ・少子化の中、将来にわたってより良い保育環境を維持するため、保育園の再配置計画の策定に着手する。
- ・子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援の各種事業を進めながら、保護者の要望に応える事業がさらに充実するよう努める。
- ・保育所給食は委託後の調理業務を適正に評価し、安心安全な心のこもった給食の提供を継続する。
- ・支援が必要な子どもを早期に発見し、専門的な教育相談が受けられるよう医療、保健、福祉との連携を深める。また保育園や学校での生活において必要な支援が効果的、効率的に実施できるよう支援をするとともに、そこに携わる指導者の資質向上に努める。
- ・児童虐待の発生予防、早期発見、発生時の迅速・的確な対応を行うための関係機関との連携を強化する。
- ・学校、家庭、教育支援センターと連携し、不登校の防止と改善に向けて支援を継続的に進める。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4 「質の高い教育をみんなに」
 子どもの心身の成長が著しい幼児期、学童期に、良質な教育・保育を確保し、心豊かでたくましく生き抜く力を持つ自立した人を育てる。

ゴール16 「平和と公正をすべての人に」
 障がいや児童虐待などで支援を必要とする子どもや家庭へ、関係機関が連携して支援を行い、適切な養育を受け、子どもの健やかな成長・発達や自立等を保障する。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども・子育て支援事業計画／地域福祉計画・地域福祉活動計画

◆特記事項

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
保育所運営事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有			
事業概要	保護者の就労等により、保育が必要な子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、養護の行き届いた環境を整え、公立保育園を運営する。					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		428,038 千円	461,000 千円	482,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	670 千円	670 千円	670 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	24,728 千円	24,500 千円	24,500 千円	
一般財源		402,640 千円	435,830 千円	456,830 千円		
目的	子育て世帯が安全に通園させられる保育の場を提供して、保護者が安心して子育てのできる環境にするため。入所する子どもに、乳幼児期にふさわしい生活の場を提供し子ども主体の保育を行い、保護者とともに子どもたちを心身ともに健やかに育てる。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画に沿った事業等を遂行する。 保育所の安全対策を徹底する。 保育所給食調理業務委託について、適切でスムーズな移行を図り、同時に委託仕様書等に準じた適正な評価を実施する。 新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながら保育所運営を行う。 これまで、委託による運動保育士の実践が主で職員がサポートする体制であったが、今後は職員自らが経験や学んできたスキルを活かし運動遊びを継続的に進めていく。 						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	待機児童数		人	0	0	0
特記事項	保育所の運営について、施設の老朽化や統廃合、民営化などの課題がある。社会環境の変化により、3歳未満児の入所ニーズが増えており、保育士不足が懸念される。					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
子ども・子育て支援事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有			
事業概要	子どもの成長支援・子育て世帯への支援の総合的な展開を「子ども・子育て支援新制度」により図る。就労前の子育て支援に関する事業(私立保育園、認定こども園、家庭的保育事業等)を統合的に所管し、新制度による認定給付システムの運用をスムーズに実施する。					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		620,802 千円	620,802 千円	620,802 千円	
	特定財源	国・県支出金	425,403 千円	425,403 千円	425,403 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	20,032 千円	20,032 千円	20,032 千円	
一般財源		175,367 千円	175,367 千円	175,367 千円		
目的	法律に従った子育て支援の事業・給付を適切に提供し、子育て世帯への支援を行い子どもの健全な成長を保障する環境を整備する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画に沿って、事業等を確実に運用、運営する。 複合施設内に設置する病児病後児保育事業について、関係者との連携を図り適切な準備を進める。また、開設後は、適切な評価と改善を行う。 ファミリーサポートセンター事業について、これまでの事業実績を踏まえ、複合施設内への移設後も、さらに市民ニーズを捉えた事業展開を行う。 						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	新制度利用の申請率		%	100	100	100
特記事項	待機児童数		人	0	0	0

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
保育所建設事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有		
事業概要	現在7園ある公立保育園の中でも、建設から約40年が経過し、老朽化が著しく進行している「芦原保育園」と「中央保育園」について、将来的な子どもの減少及び効率的な保育園運営のため、利用していない南城公園50mプールの場所に統合園を建設する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	527,773 千円	28,262 千円	0 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	464,000 千円	28,262 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	63,773 千円	0 千円	0 千円		
目的	子育て世帯が安全に通園させられる保育の場を提供し、また保護者が安心して子どもを預けられる環境を整えるため。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・新保育園の令和4年度開園に向け、園舎建設工事を進める。 ・建設工事に併せて、新保育園の建設状況などについて情報提供や見学の手続きなどを設ける。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	待機児童数	人	0	0	0
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
私立幼稚園補助事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		子ども育成課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園運営補助金の交付 ・私立幼稚園保護者への幼児教育保育無償化に伴う保育料等の交付 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	87,845 千円	87,845 千円	87,845 千円	
	特定財源 国・県支出金	62,836 千円	62,836 千円	62,836 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	25,009 千円	25,009 千円	25,009 千円		
目的	安心して子育てができる環境整備の一環として、補助金を交付することにより幼稚園運営や就園家庭を支援し、幼児教育の推進を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・適正に補助金を交付する。 ・新制度導入に併せて教育行政が担うべき幼児期の教育へ負担金を交付する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	該当件数に対する補助金交付件数の割合	%	100	100	100
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
子どもセンター運営事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子育て環境の向上のため親子が安心して過ごすことのできる施設運営 ・子育てについて情報を発信し、必要な育児相談を日常的に実施 ・放課後の児童生徒の安全対策、健全育成のための施設運営 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	27,187 千円	23,435 千円	23,589 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	5,434 千円	5,434 千円	5,434 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	14 千円	60 千円	60 千円	
	一般財源	21,739 千円	17,941 千円	18,095 千円	
目的	<p>乳幼児子育て保護者の孤立化などにより十分な育児ができない状況が見受けられるため、子育て環境充実のため施設サービスを提供し、家庭での安定した育児を支援する。また放課後に児童が安全安心で過ごすことができる居場所を提供し健全な育成を図る。</p>				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がサービスを必要としたときに選択肢の一つとして検討できるよう、周知活動を積極的に行う。 ・実施している施設サービス・事業などについて、各種事業のこれまでの参加人数や参加者の評価等を踏まえ、改善を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	出生届け時・小学校入学説明会での案内配布率	%	100	100	100
特記事項	利用者数	人	10,000	10,000	10,000
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
児童クラブ運営事業		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が、就労等により保育を必要とする児童に対し、放課後の安全確保と、保護者に代わり健全な育成を図る施設の運営 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	13,963 千円	13,622 千円	13,726 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	5,278 千円	4,950 千円	4,950 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	3,000 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	5,685 千円	8,672 千円	8,776 千円	
目的	<p>子育て環境充実のため、放課後の児童生徒が安全安心に生活できる居場所を提供し、健全な育成を図るとともに、就労している保護者の負担を軽減させる施設サービスを提供する。</p>				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て支援事業計画に沿った運営を行う。 ・新型コロナウイルス感染防止のための分散保育に係る施設や職員の確保を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	該当小学校における新入学児童の保護者説明会の実施割合	%	100	100	100
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
児童施設運営事業		継続	11		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無		
事業概要	・児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童館の運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	34,430 千円	35,952 千円	36,226 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	2,570 千円	2,700 千円	2,700 千円		
一般財源	31,860 千円	33,252 千円	33,526 千円		
目的	・18歳未満のすべての子どもを対象に、遊び及び生活の援助や地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て支援事業計画及び新制度に沿った施設運営を行う。 ・計画的に職員配置・施設改修などを進める。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら施設の運営を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	該当小学校の新入学児童に対する保護者説明会の実施割合	%	100	100	100
特記事項	利用者数	人	80,000	80,000	80,000
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
子ども家庭支援事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有		
事業概要	・児童福祉の充実と養育や家庭の経済状況等の様々な問題からくる、児童の家庭環境の整備や支援と相談を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,482 千円	2,600 千円	2,700 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	38 千円	38 千円	38 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,444 千円	2,562 千円	2,662 千円		
目的	子どもの置かれている家庭状況等を的確に捉え、子どもや家庭に最も効果的な援助が行なえるように、関係機関と連携して相談や支援を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や学校・幼稚園・保育園・児童館と連携して、きめ細かい家庭相談と支援ができる体制を引き続きつくる。 ・保健師等専門職や児童館・保育園等と定期的な情報交換の場を設け、ハイリスク家庭の情報を共有し虐待等に繋がる不安要素を全体で共有し対応する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	家庭児童相談員の関わるハイリスク家庭の支援会議数	数	10	10	10
特記事項	(R元)関係機関との連携により早期からの支援が可能となり、結果としてハイリスクな支援対象者が減少したと推測される。				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
特別支援教育等推進事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童・生徒への適切な就学指導及び教育的支援を行う。 ・学校運営を補助し、特別支援学級に在籍する児童生徒や配慮を要する児童生徒への支援を行うために支援員を配置する。 ・支援員や特別支援教育に関わる先生等のスキルアップや指導者となっていけるようにするため、研修や講演会等を実施する。 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	44,596 千円	48,000 千円	52,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	44,596 千円	48,000 千円	52,000 千円		
目的	特別な教育的ニーズのある子どもに対し、必要な支援が適切に行える環境を整備する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童生徒への支援体制を学校と協議を行い、効果的・効率的な支援体制に資する支援員の配置を行う。 ・子どもの状況を学校と情報共有し、特別支援コーディネーターや教育支援センター、相談員、その他関係機関と連携し、子どもを中心とした支援が行えるようにする。 ・支援員や特別支援教育に関わる教員等の資質向上のため、研修等を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	支援員の配置数	数	21	21	21
	校内支援委員会に教育委員会が関わった回数	回	140	140	140
特記事項	(R3)特別支援教育等推進事業に就学指導支援事業を統合した。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
教育支援センター等運営事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童及び生徒に関する教育相談並びに不登校改善等の教育的支援を行なう。 ・支援の拠点となる教育支援センターを設置運営するとともに、中学生の集団不応や不登校への支援のために不登校支援講師を学校に配置する。 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	20,710 千円	21,500 千円	22,300 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	20,710 千円	21,500 千円	22,300 千円		
目的	様々な原因により集団生活への不応や不登校となっている児童生徒の課題の改善を図るために、教育相談や自立に向けた教育支援等を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・通室している不登校児童生徒の学習、生活支援、適応指導を行い、在籍校及び進学校復帰への支援を行う。 ・長期欠席による家庭内引きこもりの児童生徒に対し、家庭及び学校等と連携を図り登校支援等を行う。 ・集団生活への不応等悩みを抱えている児童・生徒・保護者・担任等からの相談に乗り、教育的支援が受けられるよう関係機関と連携して対応していく。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	センター職員による相談訪問件数	回	540	540	540
	中間教室に通室している児童生徒の在籍校等への復帰率	%	20	20	20
特記事項					

事務事業名			新規・継続		
保育所費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費			子ども育成課		
投入 指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費	161,421 千円	162,681 千円	162,681 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	47,672 千円	47,672 千円	47,672 千円
一般財源		113,749 千円	115,009 千円	115,009 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-3	生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

図書館及び市民交流センターは開館以来多くの市民に利用いただいているが、文化センターは各施設とも利用者数が減少傾向で推移している。
文化センター、美術館、記念館における各種講座等の参加者数は安定しているが、参加者の裾野を広げていくことが課題である。
美術館・記念館等の生涯学習施設は経年劣化が進んでおり、施設全ての長寿命化を実施するためには、多額の費用を要する。

◆方針

目的
市民の主体的な「学び」を促進するため、魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の機会を創出する。併せて、市民が「学び」の成果を生かし、生きがいづくりにつながるような機会の創出を図る。 生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ、今後のあり方を検討し、管理計画を策定する。 「音楽のまち・こもろ」を実現するため、作曲コンクールやミニコンサート等、まちじゅうに音楽があふれるよう事業の充実に取り組む。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、参加者が講座等で得た知識を地域で活かせるような取組を推進する。市民が、音楽の演奏・鑑賞をしやすい環境を整備する。
- ・生涯学習施設を快適に利用できるよう、長寿命化を含めた施設管理計画を策定する。
- ・作曲コンクールの応募数、ミニコンサートの鑑賞者数をそれぞれ増やす。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態。 ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、市民が芸術・文化にいつでもふれることができる状態。 ③市民が作曲コンクールやミニコンサートなどにより音楽にふれ、生き生きと暮らしている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術を身近に感じている人の割合(市民意識調査)					
設定理由	文化・芸術を身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	—	計画	40	41	42	43
		実績				
指標名	芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	芸術・文化に親しむ機会の充実に対して満足を感じている人の割合が高くなれば、市民が芸術・文化にいつでもふれることができていると考えられるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	65.0	計画	68	70	73	75
		実績				
指標名	ミニコンサートの鑑賞者数					
設定理由	ミニコンサートの鑑賞者数が多くなることにより、市民が音楽にふれ、生き生きと暮らすことができていると考えられるから。					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	727	計画	763	802	842	884
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、参加者が講座等で得た知識を地域で活かせるような取組を進める。
- ・市民が生涯学習施設を快適に利用できるよう、適切な管理、運営を行う。
- ・個別施設計画に基づき、短期的には必要な改修を行いながら、施設の長寿命化を図る。
- ・作曲コンクールやミニコンサートなど市民が音楽に触れられる環境を整備する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4 「質の高い教育をみんなに」

生涯を通じた学びを提供できるよう社会教育施設における講座等を充実し、生涯学習機会の創出を図る。

ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」

市民の主体的な学びの場を提供できるよう図書館や公民館の充実を図る。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども読書活動推進計画

◆特記事項

成果指標「文化・芸術を身近に感じている人の割合(市民意識調査)」は、市民意識調査の新規項目。数値目標は、「文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)」の令和元年度数値「38.9%」を参考に設定。

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
社会教育総務費運営費		継続	18		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	市民が「いつでも、どこでも、なんでも」学ぶことができるように環境を整備し、生涯学習で得られた知識や経験が、地域社会、特に子ども若者の支援に還元される社会の形成を企画する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,316 千円	1,316 千円	1,316 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	30 千円	30 千円	30 千円		
一般財源	1,286 千円	1,286 千円	1,286 千円		
目的	生涯学習の場と生涯学習推進体制の整備を行うとともに、社会教育委員の知識と経験から得た提言を事業内容に反映させる。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員連絡会において、社会教育分野の課題について調査検討を行い、提言書にまとめ教育委員会へ提出する。 市民のニーズに応じた出前講座を開催することにより、生涯学習の推進を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	社会教育委員連絡会開催回数	回	4	4	4
	出前講座の参加者数	人	2,000	2,000	2,000
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸藤村文学賞事業		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	<p>「小諸・藤村文学賞」の作品募集、審査、表彰など (「小諸藤村文学賞」は、平成4年に、藤村生誕120年、没後50年を記念して創設された。作品の応募は、日本全国からにとどまらず、海外からの応募もあり、応募者はいまだに増加している。長年の継続により、レベルも向上してきている。)</p>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,785 千円	5,785 千円	5,785 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	70 千円	70 千円	70 千円		
一般財源	5,715 千円	5,715 千円	5,715 千円		
目的	生涯学習の推進を図るとともに、小諸の文化を発信する一環として、小諸市にゆかりの深い文豪・島崎藤村の名を冠した文学賞を設け、広く作品(随筆・エッセイ)を募集し、表彰する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 全国に向け、小諸藤村文学賞の応募に向けた情報発信を行う。 小諸市内の応募者、特に中学生、高校生からの応募増に努める。 市民に入選作品を紹介することにより、生涯学習の推進を図る。 財源の確保や運営方法について検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	一般応募者数	人	1,000	1,000	1,000
	市内中高生応募者数	人	40	45	50
特記事項	活動指標「高校生(全国)の応募者数」を「市内中高生の応募者数」に変更した(R3年度～)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
成人式開催事業		継続	17		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	伝統儀式「成人式」の新成人(実行委員会)による自主的運営を支援していく環境づくり。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	466 千円	466 千円	466 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	466 千円	466 千円	466 千円		
目的	子どもから大人への過程の中で社会を担っていく責任や、文化を受け継ぎ、人の輪の広がりや人とのふれあいからともに生きる意識づくりのために、成人式を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・新成人の代表で実行委員会を組織し、地域に根付いた特色ある成人式の企画及び運営を行う。 ・令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引下げられることに伴い、成人式のありかたについて各方面から意見を聞き決定する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	成人式の参加率	%	75	75	75
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
史料館等管理事業		継続	15		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	生涯学習振興のうえで重要な位置を占めている社会教育関係施設を運営・維持管理し、住民ニーズへの柔軟、迅速、的確な対応と、新たに生じてくる現代的課題に対応する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	10,325 千円	10,325 千円	10,325 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	50 千円	50 千円	50 千円		
一般財源	10,275 千円	10,275 千円	10,275 千円		
目的	社会教育施設について、地域における文化資産を守り学習推進のための拠点とするため、機能の充実を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書調査室では、資、史料の収集・調査・研究・普及、教育活動を行う。また、地域の歴史・文化を守るために古文書学習講座を開催し、人材育成を進める。 ・市役所1階展示情報コーナー等で、古文書調査室の調査成果や閉館した郷土博物館の収蔵品を展示する。 ・老朽化した施設は、今後のあり方を検討し管理計画を策定する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	古文書の目録作成件数(累計)	冊	6	7	8
	古文書学習講座の参加人数	人	500	550	600
特記事項	・活動指標に「古文書学習講座の参加延べ人数」を追加した(R2年度～)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
音楽のまち・こもろ推進事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	2:有		
事業概要	音楽には、人に元気や勇気、潤いや癒しを与え、人生を豊かにする力がある。まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざして、作曲コンクールほか各種事業を推進する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,227 千円	3,227 千円	3,227 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	3,227 千円	3,227 千円	3,227 千円		
目的	まちじゅうに音楽をあふれさせることにより、まちを活性化し、小諸市民に元気や勇気、潤いや癒しを与える。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回ミニコンサートを開催する。 ・「音楽のまち・こもろ作曲コンクール」について、応募者を増やす取組みを継続して実施する。 ・音楽団体に呼びかけ、事業を推進するための意見を聞く。 ・音楽団体(個人含む)のネットワークづくりを行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	音楽のまち・こもろ作曲コンクールの応募件数	件	50	50	50
	ミニコンサートの開催回数	回	12	12	12
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
青少年育成補導推進事業		継続	14		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	青少年の健全な成長の啓発及び地域での活動支援として、各地域や小中学校における事業の支援を行うほか、青少年の非行防止のための巡回活動、有害環境の排除を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	4,106 千円	4,106 千円	4,106 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	4,106 千円	4,106 千円	4,106 千円		
目的	青少年が社会との関わりを自覚しつつ、自律した個人として自己を確立し向上していけるように、また青少年の健やかな成長のために支援していく。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年補導委員について、公募委員を増やす。 ・青少年健全育成推進のため、補導委員会が各区育成会やPTA支部と連携を図り、現在おかれている青少年の課題や問題点に対応できる体制の強化を行う。 ・小中学校における信州型コミュニティ・スクール推進を支援するため、交付金を交付する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公募による青少年補導委員	人	5	5	5
	信州型コミュニティスクール推進事業交付金を活用した学校の数	校	8	8	8
特記事項	青少年健全育成都市宣言に関する決議(平成9年3月21日)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
図書館運営事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・2図書館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	市立小諸図書館の基本理念「みんなの役に立ちます」と5つの基本方針に則った公共図書館の運営					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	55,691 千円	55,691 千円	55,691 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	244 千円	244 千円	244 千円	
	一般財源	55,447 千円	55,447 千円	55,447 千円		
目的	市民の暮らしを支え、一人ひとりに役に立つ公共図書館を運営する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託について適正に管理を行い、今後の委託のあり方を検討する。 ・市役所各課及び関係機関等との連携を進め、市民の知りたい情報、役に立つ情報を提供する。 ・子どもの読書活動を推進するため関係機関との連携を深める。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	来館者数	人	210,000	210,000	210,000	
	資料貸出し数	冊	254,000	254,000	254,000	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公民館運営事業		継続	11			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	趣味や教養を高める学習とともに、地域課題に直結する学習と実践を支援する施設として、施設の維持管理を行う。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	8,790 千円	14,501 千円	12,873 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	739 千円	1,132 千円	1,132 千円	
	一般財源	8,051 千円	13,369 千円	11,741 千円		
目的	生涯学習による生きがいがづくりの場を提供する施設として、公民館を運営・維持管理する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便を図る、特に、高齢者や障がいのある方がより良く利用しやすいように、公民館を運営・維持管理する。また、災害時の住民受入れ対応もできるようにしていく。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	公民館運営審議会の開催回数	回	2	2	2	
	こもろ女性の家運営委員会開催回数	回	2	2	2	
特記事項						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
公民館報発行事業		継続	16		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	広報こもると併せた公民館報を編集し、発行する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,802 千円	2,707 千円	2,707 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,802 千円	2,707 千円	2,707 千円		
目的	生涯学習による生きがいがいづくりにつなげるために、各種講座・サークル・文化会館での催物・支館分館での取り組み等、学習情報を提供する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民に読まれ、親しまれる館報となるよう創意工夫を行う。 館報の掲載内容・紙面構成について、正確でわかりやすいものとなるように館報編集委員会で検討を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公民館報の発行回数	回	12	12	12
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
支館・分館支援事業		継続	13		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	最も身近な学習の拠点として、住民自らが生活地域の課題・宝に気づき、課題を共有し、住民同士のつながりを作り出す地域づくりの実践をすすめる支館・分館活動への支援。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,752 千円	6,087 千円	6,087 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	5,752 千円	6,087 千円	6,087 千円		
目的	公民館支館・分館が、学習と活動を結びつけて地域づくりにつなげる地域の拠点となるよう支援をする。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 支館・分館が、生きがいがいづくりに、地域づくりのための学習と実践を支援するための場所となるよう、公民館関係役員研修会を年3回開催し、支館ごとの研修会を開催する。また、各支館・分館活動事例発表を行い、他の公民館活動内容を傾聴することにより分館等活動の活発化の一助、参考となるように実施する。 小諸市公民館と地域が密接につながるよう、また、支館が分館への指導、支援ができるようにしていくために、支館の運営、活動及び分館活動の活性化となる支館・分館活動のモデル事業を実施する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公民館役員研修会	回	3	3	3
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
学級・講座等開催事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学級・講座等の開催 ・自主学習グループの育成指導等 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,851 千円	2,883 千円	2,883 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,851 千円	2,883 千円	2,883 千円		
目的	市民の主体的な「学び」を促進するため、市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の機会を創出する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な年齢層の多くの市民が参加できるように引き続き改善し、市民ニーズを踏まえ新しい企画等を考え、各学級・講座を開催する。また、各学級・講座の終了時には、アンケート等を集約し、結果を検討し、内容に反映させていく。 ・こもろ女性の家の自主講座では、引き続き、保育士を配置し、託児の希望に応え、講座に参加しやすい環境を整える。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公民館の講座参加者数	人	1,000	1,000	1,000
	公民館の講座数	回	170	170	170
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
文化センター運営事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・4文化センター費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	文化会館等施設環境の整備をする。 市民文化の向上と文化振興を図るため、自主事業を開催する。 また、貸館で、利用者の利便を図る。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	165,274 千円	32,280 千円	32,280 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	3,264 千円	5,683 千円	5,683 千円		
一般財源	162,010 千円	26,597 千円	26,597 千円		
目的	文化発信の場とするために、文化会館等の維持管理と、文化団体との連携による自主事業を開催する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの舞台機構等の改修、吊り物等の改修について、計画的に進める。 ・市民ニーズに応えられ文化水準の向上に寄与する自主事業を実施する。 ・「音楽のまち・こもろ」を実現するため、市民音楽祭の充実に取り組む。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	文化会館ホールの設備改修	施設	舞台機構一式	—	—
	自主公演事業開催回数	回	3	3	3
特記事項	昭和59年に文化会館が建設され開館35年以上経ているが、当館ホール舞台機構設備の一式の吊物ワイヤーロープ、制御盤・操作盤等の耐用年数が過ぎ経年劣化が著しいので更新・改修を進め、安全で快適な設備環境を整える。なお、1期目は平成30年度に工事発注し、令和元年度に工事を行う。2期目として令和3年度実施予定である。				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小山敬三美術館運営事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	小山敬三美術館の運営・維持管理 (選り抜かれた作品を集め、長く安全に保管することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知ってもらう。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	16,816 千円	16,816 千円	16,816 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	636 千円	636 千円	636 千円		
一般財源	16,180 千円	16,180 千円	16,180 千円		
目的	小山敬三氏寄贈の趣旨により美術作品(洋画等)及び遺品を保管展示し、地域文化の振興と青少年の芸術への関心を高めるとともに、その画業を記念する。				
令和3年度の目標					
・新収蔵作品の公開をはじめ、企画展の開催、講演会、写生会などを通し、作品鑑賞の場をより多く提供する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	22,000	22,000	22,000
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高原美術館・白鳥映雪館運営事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の運営・維持管理 (選り抜かれた作品を集め、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知らせる。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	21,889 千円	21,889 千円	21,889 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	529 千円	529 千円	529 千円		
一般財源	21,360 千円	21,360 千円	21,360 千円		
目的	郷土出身の作家の作品を適正かつ大切に保管・展示することで、生涯学習の場としての機会を提供する。				
令和3年度の目標					
・館の維持管理・運営を適正かつ円滑に行うとともに、展示他活動の周知・宣伝に努め、入館者増を図る。 ・老朽化し始めた施設について、修繕の必要な箇所を把握し、管理計画を策定する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	14,000	14,000	14,000
特記事項	・活動目標の入館者数について、近年の入館者数を考慮し、10,000人から14,000人に修正した。(R3年度～)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
高原美術館・白鳥映雪館企画展開催事業		継続		6		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の企画展の開催 (小諸・地域に関わりのある作品を中心に展示し、その鑑賞により来館者に有意義な時間を過ごしてもらう。)					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	3,952 千円	3,952 千円	3,952 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,572 千円	1,572 千円	1,572 千円	
一般財源	2,380 千円	2,380 千円	2,380 千円			
目的	内容の異なる企画展を開催することで館の魅力を高め、市民をはじめ多くの方に来館してもらう。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 企画展について、内容を工夫しながら年10回開催し、多くの方に来館していただけるよう努める。 協議会委員から企画展の内容について意見をいただき、魅力ある企画展を開催する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	企画展等開催回数	回	10	10	10	
特記事項						
事務事業名		新規・継続		施策内順位		
藤村記念館運営事業		継続		8		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	藤村記念館の運営・維持管理 (島崎藤村の遺墨、遺品及び関係資料を収集し、保管し、これを教育的配慮の下に展示して、市民の利用に供し、その教養と調査研究等に資する。)					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	9,946 千円	9,946 千円	9,946 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	427 千円	427 千円	427 千円	
一般財源	9,519 千円	9,519 千円	9,519 千円			
目的	市民が主体的に学べる生涯学習の場として、島崎藤村が、1899年(明治32年)から1905年(明治38年)までの7年間、小諸で過ごした時代の偉業を顕彰し、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。					
令和3年度の目標						
「藤村忌」「文学講座」「出前講座」「企画展」の開催により、義塾記念館と併せ、館の魅力を高める。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	入館者数	人	34,000	34,000	34,000	
特記事項	藤村忌参加者	人	200	200	200	
	活動目標の入館者数について、実態と乖離しているため43,000人から34,000人に下方修正した。(R3年度～)					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸義塾記念館運営事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	小諸義塾記念館の運営・維持管理 (小諸義塾に関する資料を収集、保管、展示し、市民の学習、学術、文化の発展に資する。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,405 千円	2,405 千円	2,405 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	14 千円	14 千円	14 千円		
一般財源	2,391 千円	2,391 千円	2,391 千円		
目的	木村熊二を招き1893年(明治26年)に開校し、1906年(明治39年)閉塾まで小諸の中等教育の拠点であった「小諸義塾」に関する資料を収集保存し、その教育精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・藤村記念館と合わせ広報することにより、入館者を増やす。 ・木村熊二留学先で中学生海外派遣事業先でもあるホープカレッジ校の関係資料を展示する。 ・無人管理について検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	12,000	12,000	12,000
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高濱虚子記念館運営事業		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	高濱虚子記念館の運営・維持管理 (高濱虚子に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与する。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,906 千円	8,906 千円	8,906 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	281 千円	281 千円	281 千円		
一般財源	8,625 千円	8,625 千円	8,625 千円		
目的	市民が主体的に学べる生涯学習の場として、高濱虚子が、1944年(昭和19年)から1947年(昭和22年)までの3年間、小諸で過ごした時代の偉業を顕彰し、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で極端に減少した入館者を呼び戻すため、魅力ある企画展を開催する。 ・入館者が少ない冬季(12~3月)は閉館する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	2,400	2,400	2,400
特記事項	虚子・こもろ全国俳句大会応募者	人	6,000	6,000	6,000

事務事業名			新規・継続		
社会教育総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費			文化財・生涯学習課		
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
		年度別事業費	90,150 千円	90,150 千円	90,150 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		90,150 千円	90,150 千円	90,150 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-4	かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

「KOMORO HISTORY」「小諸ふるさと遺産」「古文書学習講座」などにより文化財に関する学びの機会を醸成している。また、指定文化財保護補助金により保存・継承を図っている。

文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっている。

古文書の整理・調査を古文書調査室で行っているが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が不足しており、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧される。

課題であった旧小諸本陣(問屋場)の解体・復原工事に着手するが、多額の費用を投じるため、今後の活用方法を含め十分な検討を要する。

◆方針

目的
<p>小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等と連携を取り積極的な有効活用を図る。</p> <p>個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。</p> <p>郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制の充実を図る。</p> <p>ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・文化財を適切に保存・継承し、観光等に有効活用できるよう情報提供や助言を行う。
- ・旧小諸本陣「問屋場」の復原後の有効活用について検討する。
- ・市名勝指定「小諸城址三之門」の災害復旧事業への支援を行う。
- ・小諸ふるさと遺産認定事業を継続し、市民への浸透を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。</p> <p>②地域や住民が自ら、文化財を保存・継承するための活動が行われている状態。</p> <p>③歴史的資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等を一体的に行い、活用されている状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	伝統行事や文化財の保存や活用の状況に満足と感じている人の割合が高くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	67.3	計画	69	71	73	75	
		実績					
指標名	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の申請数						
設定理由	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の活用により、文化財を保存・継承するための活動が行われていると考えられるから。						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	15	計画	15	15	15	15	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を適切に保存・継承しながら、観光等において活用促進を図る。
- ・旧小諸本陣(問屋場)の復原後の有効活用について修理専門委員会(仮称)を組織する。
- ・市名勝指定した「小諸城址懐古園」の県名勝指定を進める。
- ・小諸ふるさと遺産認定事業により、身近な文化財等への愛着と誇りを醸成する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4 「質の高い教育をみんなに」

かけがえのない文化財の保存・継承・活用等を図り、ふるさとの誇れる芸術・文化を学ぶ機会の創出を図る。

ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」

歴史的、文化的な資料にふれ、ふるさとを愛し大切に思う心を育み、芸術・文化のまちづくりを推進する。

◆個別計画

教育振興基本計画

◆特記事項

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
文化財保護活用事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	市内各所にある文化財は、市民の貴重な財産であり、それらを適切に保存・継承していくことは、今を生きる私たちの責務である。しかし、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等に積極的に有効活用してこそ、より存在意義が高まる。文化財が適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	22,981 千円	22,981 千円	22,981 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,672 千円	1,672 千円	1,672 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	9,729 千円	9,729 千円	9,729 千円		
一般財源	11,580 千円	11,580 千円	11,580 千円		
目的	市民の貴重な財産である文化財を永く後世に伝えるため、適切に保存・継承するとともに、観光面等に積極的に有効活用する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸城址懐古園の県名勝指定に向けて関係機関と調整・協議を行い、国の名勝指定に向けた取り組みを行う。 ・歴史ある建造物について、国登録有形文化財にするために登録申請を行う。 ・指定文化財保護補助金の交付や文化財説明看板の設置等を通じ、文化財の保存・継承・活用を推進する。 ・ふるさと学習につながる取り組みを行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	学芸員の配置人員	人	2	2	2
	文化財保護審議会の開催回数	回	2	2	2
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
旧小諸本陣建造物保存修理事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	2:有		
事業概要	北国街道沿いにある「旧小諸本陣(問屋場)」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物です。国の重要文化財にも指定されているが、著しく老朽化が進行している。このため、これを往時の姿に復元し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復元工事を実施する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	121,311 千円	102,000 千円	183,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	63,600 千円	54,060 千円	96,990 千円	
	地方債	52,200 千円	43,146 千円	77,409 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	5,511 千円	4,794 千円	8,601 千円		
目的	国指定重要文化財である「旧小諸本陣」を往時の姿に復元し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復元工事を実施する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事を行う。また、曳家工法など市民に公開し、文化財保全の難しさに触れてもらう。 ・復元した建物が有効活用されるよう、関係者と協議を行う。 ・広報等を使い事業の進捗状況を知らせるとともに、解体現場の工事見学会等の開催を検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	解体工事の着手		工事実施	工事実施	工事実施
	解体復元工事について協議する委員会の開催	回	2	2	2
特記事項					

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー5	スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

所 管	スポーツ課
関 連	健康づくり課
関 連	
関 連	
関 連	
関 連	

◆現状と課題

小諸市では、地域指導者によるスポーツ少年団活動や各種団体の教室、大会の開催などによる様々な年代層へのスポーツ振興が行われている。また、ウォーキングなど年齢や体力に応じた健康保持につながる生涯スポーツも推進している。しかし、スポーツニーズが多様化するなか、参加者や競技団体の減少、団体役員の高齢化などもあり、ニーズに応じた教室の検討や競技団体と連携した人材(担い手)育成が課題となっている。

◆方針

目的
<p>スポーツ推進計画に基づいて、関係団体と利用者ニーズに応じた教室の開催や指導者育成によるスポーツ振興に取り組むとともに、今後予定されている2028年の国民スポーツ大会への準備を進める。</p> <p>それぞれの体力や年齢・目的などに応じて、生涯を通じてスポーツに親しみ、活動する取り組みを関係課と連携して進める。スポーツに親しむ環境を整備するため、体育施設の充実や個別施設計画による統廃合を含めた適切な整備を図り、安全安心な利用が行える施設管理に努める。</p> <p>国内トップレベルの選手(アスリート)と交流する機会の充実を図り、競技への興味やスポーツをするきっかけづくりなど市民がスポーツに親しみ、まちの活性化、健康づくりにつながる取り組みを進める。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・各種団体と連携し、年齢・体力・ニーズなどに沿ったイベント・教室の開催を企画する。
- ・2028年の国民スポーツ大会に向けての準備を進めるとともに、個別施設計画による体育施設の適切な維持管理に努める。
- ・市民交流会やアスリートによる教室を開催し、アスリートと市民が交流する機会の充実を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①体育施設の利用などを通じて、地域でのスポーツに親しむ人が増え交流や活動が増える状態。</p> <p>②市民がそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しむことができる状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	スポーツ・レクリエーションの環境づくりに対する満足度(市民意識調査)						
設定理由	満足度が上がることにより、活動などの行いやすい環境の提供ができていると考えられるから。						
算式	満足、やや満足、普通の合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54.5	計画	56	57	58	60	
		実績					
指標名	スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)						
設定理由	スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、スポーツを通じた交流や活動などが増えていると考えられるから。						
算式	そう思う、ややそう思うの合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	計画	40	41	43	45	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・スポーツ推進計画に基づき、各種団体と連携し年齢、体力、ニーズなどに沿ったイベントや教室の開催を企画する。
- ・2028年の国民スポーツ大会に向けて関係団体と連携を密にし、施設整備の計画策定や該当する競技団体の競技力向上の支援を進める。
- ・アスリートと市民の交流を図り、交流によるまちの活性化、健康づくりにつながる取り組みを進める。
- ・高峰高原の優位性を生かした取り組みを推進する根拠として、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携協定により進める。
- ・個別施設計画による体育施設の適切な維持管理に努める。
- ・各種団体及びスポーツ推進委員を軸とした生涯スポーツの推進を図る。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

- ゴール3「すべての人に健康と福祉を」
それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康の保持や増進など多様な意義を持てることを目指す。
- ゴール4「質の高い教育をみんなに」
国内トップレベルの選手(アスリート)と接し、競技に打ち込む姿勢や想い、頂点を目指し努力する姿などから、情熱やひたむきさを感じ、生涯学習教育の一助となることを目指す。
- ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
スポーツニーズの多様化に応じた体育施設の管理運営を人口規模や利用状況なども検討しながら、安全・安心にスポーツに親しめる施設環境づくりを目指す。

◆個別計画

教育振興基本計画／スポーツ推進計画

◆特記事項

成果指標「スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)」は、市民意識調査の新規項目。数値目標は、「文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)」の令和元年度数値「38.9%」を参考に設定。

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
保健体育総務費運営費		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無		
事業概要	市民のスポーツの推進・振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、小諸市体育協会はじめ各スポーツ団体への助成等を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,794 千円	5,794 千円	5,794 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	5,794 千円	5,794 千円	5,794 千円		
目的	スポーツの推進・振興を通じ、市民の健康づくり及び体力の保持増進を図る。				
令和3年度の目標					
小諸市体育協会や小諸市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、各種大会やスポーツ教室を企画する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	スポーツ推進審議会の開催数	回	2	2	2
特記事項	令和3年度から活動指標を変更する。 (変更前)スポーツ推進審議会の開催数 (変更後)スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数				
	スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
スポーツ推進委員会運営事業		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無		
事業概要	市のスポーツ推進事業の実践を担うスポーツ推進委員の活動を支援する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	687 千円	687 千円	687 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	687 千円	687 千円	687 千円		
目的	スポーツを通じて市民の健康維持・増進を図るため、市民への指導及び助言を行うスポーツ推進委員を育成する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・講習会や研修会等に積極的に参加し、委員の資質向上を図るとともに、活動を通じて地域のリーダーを養成する。 ・近年人気のあるパラリンピック正式種目のポッチャ等、ニュースポーツの講習会をスポーツ推進委員が地域で開催できるように定例会後に講習を行う。 ・出前講座でのニュースポーツの紹介や、健康づくり課等と連携し、ウォーキング等の身近にできる健康づくりを推進する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	定例会の開催数	回	12	12	12
特記事項	令和3年度から活動指標を変更 (変更前)定例会の開催数 (変更後)出前講座、講習会・研修会等の回数(開催・参加)				
	出前講座、講習会・研修会等の回数(開催・参加)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
スポーツ大会等運営事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	幅広い年齢層に対応したスポーツ大会やスポーツ教室等を開催する。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	4,052 千円	4,052 千円	4,052 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	4,052 千円	4,052 千円	4,052 千円		
目的	市民のスポーツ参加意欲を向上させ、健康・体力の増進を図るとともに、スポーツに親しむ機会を提供する。					
令和3年度の目標						
市主催のスポーツ大会、スポーツ教室はもとより、体協各部が主催する市民大会について、広報こもろ、市ホームページ、SNS等を活用し積極的に市民へ周知する。あわせて、市民ニーズに合ったスポーツ大会等を企画する。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	スポーツ大会数	大会	8	8	8	
特記事項	競技団体等主催市内スポーツ大会数	大会	84	84	84	
	目標・活動指標追加:平成30年度分から市の主催大会数だけではなく市内で開催される大会数を追加					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
学校開放事業		継続	8			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	市内の小中学校の体育施設(校庭・体育館)を地域のスポーツクラブ・スポーツ団体等に開放にする。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	363 千円	363 千円	363 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	363 千円	363 千円	363 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	市民が身近な施設でスポーツ活動に親しむことができるよう、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、生涯スポーツの振興を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 登録団体を増やすため、広報こもろ、市ホームページ等により未利用団体にも学校施設の利用について事業をPRする。 学校運営に支障が生じないよう利用者と学校との調整を行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	登録団体数	団体	48	49	50	
特記事項	利用件数	件	1,900	1,950	2,000	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
高地トレーニング等推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニング構想の推進として、オリンピック事前合宿等の誘致及び、当該合宿チーム等を支援する。 ・2028年の国民スポーツ大会での当該種目の競技力向上のための支援をする。 ・アスリートと子どもたちとの交流を図る。 ・上記に必要な市施設の環境整備等を実施する。 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	1,380 千円	2,000 千円	2,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,380 千円	2,000 千円	2,000 千円			
目的	高地トレーニング環境の優位性を生かすスポーツ合宿の誘致を進め、地域ブランド力の向上を図るとともに、訪れたアスリート・競技団体と子どもたちの交流によるスポーツ振興やまちの活性化と地域づくりにつなげる。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市エリア高地トレーニング推進協議会と連携し、アスリートや競技団体等の合宿誘致と支援を行う。 ・アスリートと子どもたちの交流する機会を企画し、競技への興味やスポーツを始めるきっかけづくりとなる取り組みを進める。 ・高峰高原の優位性を活かした取組みを推進するための根拠として、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の取り組みを東海大学スポーツ医科学研究所との連携協定により進める。 ・2028年の国民スポーツ大会に向けて、関係団体と連携し競技力向上の支援を進める。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	高地トレーニング関係の延べ宿泊数	件	2,800	2,800	2,800	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
体育施設運営費		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無			
事業概要	教育委員会が管理する各体育施設及び付帯施設の維持管理。 (南城公園マレットゴルフコース・南城公園内トイレ・乙女湖公園テニスコート・乙女湖公園ゲートボール場・乙女湖公園内トイレ・乙女湖公園内管理棟・市営野球場・平成の森マレットゴルフコース・御影マレットゴルフコース)					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	6,941 千円	6,941 千円	6,941 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	858 千円	858 千円	858 千円	
一般財源	6,083 千円	6,083 千円	6,083 千円			
目的	市民が、それぞれの年齢や体力等に応じて安全・快適に利用できる体育施設の環境を整え、生涯スポーツの振興を図る。					
令和3年度の目標						
小諸市スポーツ推進計画、公共施設等総合管理計画に基づき、体育施設の適切な維持管理を行う。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	体育施設の事故件数	件	0	0	0	
特記事項	担当職員の巡回による施設点検の回数	回	40	40	40	
	令和3年度から活動指標を変更 (変更前)体育施設の事故件数 (変更後)担当職員の巡回による施設点検の回数					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
総合体育館等運営事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無		
事業概要	指定管理による体育施設の維持管理。 (総合体育館、武道館、アーチェリー場、屋内ゲートボール場すぱーく小諸、和田体育館、懐古射院)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	13,239 千円	13,239 千円	13,239 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	13,239 千円	13,239 千円	13,239 千円		
目的	社会体育の拠点施設として、指定管理者による施設の適切な維持管理を行うとともに、管理者による自主事業の展開により施設利用者の増を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と情報共有を行い、施設の適切な維持管理・運営を行う。 ・総合体育館自主事業をPRするほか、小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携により合宿時の施設利用等受入拡大を図る。 ・2028年の国民スポーツ大会開催に向けた施設整備等の準備を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合体育館利用者数	人	54,500	55,000	55,500
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
南城公園プール運営事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無		
事業概要	スポーツ施設、レジャー施設として南城公園プールを運営・維持管理する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,271 千円	2,271 千円	2,271 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,271 千円	2,271 千円	2,271 千円		
目的	プールの適切な維持管理を行い、安全・安心の下、市民が水に親しむ機会を提供する。				
令和3年度の目標					
南城公園プールを適切に管理し、市民が水と親しむ機会を提供する。安全・安心な施設運営のための維持補修を行う。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	南城公園プール入場者	人	13,000	13,000	13,000
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
大栄小諸球場運営事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無			
事業概要	大栄小諸球場の施設及び付帯施設の維持管理。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	5,016 千円	5,016 千円	5,016 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,550 千円	1,550 千円	1,550 千円	
		一般財源	3,466 千円	3,466 千円	3,466 千円	
目的	安全で快適に使用できる環境を整えるための維持管理を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適に使用できる環境を整えるため、計画的な維持管理を行う。 有料広告掲出料等の自主財源を有効活用し、計画的に改修を進める。 大会、合宿等、利用者間の調整を行い、効率的な利用により利用率の向上を図る。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	大栄小諸球場利用者数	人	18,000	18,500	19,000	
	大栄小諸球場利用率	%	90	90	90	
特記事項	平成31年度より体育施設運営費から事業出し					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
天池総合運動場運営事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無			
事業概要	小諸市総合運動場の施設及び付帯施設の維持管理。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	3,397 千円	3,397 千円	3,397 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	120 千円	120 千円	120 千円	
		一般財源	3,277 千円	3,277 千円	3,277 千円	
目的	トップアスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設とするとともに、利用者がそれぞれの目的に合わせて安全に使用できる施設として適切な維持管理を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携により市内外の利用者の拡大を図る。 トップアスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設のみならず、さまざまな利用者が安心して利用できる施設として適切な維持管理を行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	高地トレーニング合宿受入団体数	団体	20	20	20	
	野球場、陸上競技場、サッカー場の利用団体数	団体	25	25	25	
特記事項	平成31年度より体育施設運営費から事業出し					

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-6	市民の人権意識を高めます

所 管	人権同和教育課・人権政策課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

平成30年度の「人権・同和問題、男女共同参画に関する市民意識調査」によると、約3割の人が「人権を侵害されたことがある」、また、「性別によって役割を固定する考え方」について2割以上の人が賛成と回答している。令和元年度から令和2年度に「部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画」「男女共同参画こもろプラン7」の策定に向けた、女性、障がい者団体などの聞き取り調査でも、差別、偏見、不平等などを受けた体験が語られた。
 このような状況を踏まえ、差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現を図る必要がある。

◆方針

目的
<p>社会には、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人等に対する差別や偏見など、様々な人権問題が存在している。すべての人の人権が尊重され、差別のない小諸市を築くため、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、学習や啓発、交流活動を通じて市民の人権意識を高め、差別や偏見など人権が侵害されたときに、適切な相談・解決の支援を受けられるよう、体制を充実させる。</p> <p>また、女性活躍推進などの取り組みにより、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現を目指す。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・地域における人権教育の場である人権懇談会において、「部落差別解消推進法」の周知、継発を図るとともに、全区での開催をめざして未開催区への働きかけを強化する。
- ・人権センターの教育、啓発、相談等の機能を高めるとともに、耐震診断結果を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①市民が、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関する知識が得られ、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる人権感覚が身についた状態。</p> <p>②市民が人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援が受けられる状態。</p> <p>③男女共同参画及びジェンダー平等社会が実現できた状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	1年以内に、差別や偏見など人権を侵害されたことのある人の割合(市民意識調査)						
設定理由	人権を侵害されたことのある人の割合が低くなれば、市民の人権意識が高まったと考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	9.8	計画	0	0	0	0	
		実績					
指標名	審議会委員等への女性の参画率						
設定理由	審議会委員等への女性の参画率が高くなれば、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現に近づくから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	40.4	計画	45	45	45	45	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・家庭、地域、学校、企業等のそれぞれの場において、人権同和教育の学習や啓発の取り組みを行う。
- ・人権センターを、名実ともに部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けた取り組みの拠点とするため、交流・啓発活動、相談等の機能を高めるとともに、利用者にとって喫緊の課題である施設の耐震化、バリアフリー化を検討する。
- ・男女共同参画こもろプラン7を推進し、男女共同参画社会、ジェンダー平等社会の実現を目指す。
- ・多文化共生社会を目指し、外国籍市民くらしの相談、日本語教室、日本語学習支援セミナー、交流事業を展開する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」

家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、学習や啓発を行い、性別に基づく固定的な考え方や役割をなくし、男女平等の社会を目指す。

ゴール16「平和と公正をすべての人に」

家庭、地域、学校、企業等の様々な場において学習や啓発、交流活動を行い、差別や偏見をなくし、すべての人の人権が尊重される社会を目指す。

◆個別計画

教育振興基本計画／部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画／男女共同参画こもろプラン

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
隣保館運営事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・2隣保館運営費		人権政策課	1:無		
事業概要	・人権啓発の拠点としての人権センターの運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	10,829 千円	10,829 千円	10,829 千円	
	特定財源 国・県支出金	4,400 千円	4,400 千円	4,400 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	150 千円	150 千円	150 千円	
	一般財源	6,279 千円	6,279 千円	6,279 千円	
目的	人権センターを人権啓発の拠点、地域に開かれたコミュニティセンターとして、各種事業を展開しながら、地域福祉の向上と部落差別等あらゆる差別の根絶に向けた人権意識の高揚を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の充実。 ・文化・教養事業を通じて人権啓発を図る。 ・人権フェスティバルを開催し、活動発表等を通じて人権啓発を図る。 ・人権センターの耐震診断(R2年度からの繰越事業) 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	人権フェスティバルの開催	回	1	1	1
特記事項	文化、教養事業の実施回数	回	79	78	79
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
男女共同参画推進事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・3男女共同参画推進費		人権政策課	2:有		
事業概要	・男女共同参画推進のための各種講演会・研修会等の啓発活動の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	555 千円	555 千円	555 千円	
	特定財源 国・県支出金	50 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	505 千円	555 千円	555 千円	
目的	男女の違いを正しく認め合った上で、互いに尊敬しあい、一人ひとりが社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会づくりを推進するため。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画プランに基づき、女性の参画率向上を図る。 ・男女共同参画セミナー等を開催し、男女共同参画の意識向上を図る。 ・企業の男女共同参画への理解を深めるため、研修及び情報提供を行う。 ・女性の意見を市政へ反映させるための女性会議を開催する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	審議会、委員会等の委員に女性が占める割合	%	45	45	45
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
多文化共生推進事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・6人権政策費・4多文化共生推進費		人権政策課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流事業の実施 相談等による外国籍市民の地域生活の支援 外国籍市民の日本語学習の支援 外国籍市民支援ボランティアの育成 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	512 千円	512 千円	512 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	512 千円	512 千円	512 千円			
目的	互いの人権を尊重し、国際感覚を高め、文化や個性の違いを認め合う意識を醸成するため、交流事業を行う。外国籍市民が日常生活に必要な情報を知り、コミュニケーション力を高めるため、くらしの相談や日本語学習支援、支援ボランティアの育成を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民への理解や日本語教室を行う日本語ボランティアを育成するためのセミナー等を開催する。 定例及び夏休み、冬休み、受験時に合わせた日本語教室を、希望する児童に対し、校外で実施する。 ボランティア団体による国際交流活動について、内容の充実に向けた支援や市民への周知を行う。 外国籍市民への支援のため、相談窓口体制の充実を図る。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	日本語学習支援教室開催回数	回	60	60	60	
特記事項	日本語学習支援セミナー等の開催回数					
			2	2	2	
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
人権同和教育推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課	1:無			
事業概要	人権同和教育を学校・地域・企業等で推進する。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	3,596 千円	3,596 千円	3,596 千円		
	特定財源	国・県支出金	175 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	120 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	3,301 千円	3,596 千円	3,596 千円			
目的	市民の人権意識が高まり、学校・企業・地域などあらゆる分野で差別や偏見のない社会実現のため、人権に関する教育を実施するとともに、啓発活動を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 全ての区で人権懇談会が開催できるように内容の検討、手法を工夫する。 幼保小中養高人権同和教育研究委員会において、教職員の連携と資質の向上を図るとともに統一単元の運用と検証を行う。 集会所での交流、学習活動を支援する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	人権同和教育推進委員会研修会の開催	回	2	2	2	
特記事項	人権懇談会の開催区数					
			68	68	68	
特記事項	活動指標②「人権同和教育推進委員会(助言者会)の開催」(人権懇談会の充実を図るためには、助言者会を開催し、専門的な意見を集約することが必要だから。:目標3回)を R3年度から「人権懇談会開催区数」に変更 R元年度実績 32区実施(38区申込:コロナウイルスにより6区中止) R2年度 実施中止					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
人権同和教育促進事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課	1:無		
事業概要	・解放子ども会の運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	317 千円	317 千円	317 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	317 千円	317 千円	317 千円	
目的	同和地区の子どもたちが「差別を見抜き、差別を許さず、差別と闘う」力を身につけるとともに、仲間づくりを行う場としての解放子ども会を運営する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会を開催し、差別に負けない子どもを育成する。 ・他の子ども会との交流を図り、多くの仲間づくりを行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	解放子ども会の開催回数(交流会含む)	回	31	31	31
特記事項					

事務事業名				新規・継続
人権同和政策総務費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		4,244 千円	4,244 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		4,244 千円	4,244 千円	
事務事業名				新規・継続
人権同和政策総務費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		22,636 千円	22,636 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		22,636 千円	22,636 千円	

実施計画書 兼 事業説明書

【政策2：環境】

自然環境を守り、循環型社会の進んだまち

【施策2-1】 ごみの減量と再資源化を進めます

【施策2-2】 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

【施策2-3】 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

◆ミッション

雄大な浅間山、清流千曲川など人々を感動させる景観や、豊かな森や水資源を守り育み、活かすことにより、住む人・訪れる人が住み心地・居心地の良い環境づくりを進める。

- ◎人を感動させ、癒す力を持つ景観や自然環境を、積極的に活用することにより保全につなげる。
- ◎ごみの減量と再資源化を進め、資源を大切に利用する循環型社会を目指す。
- ◎今ある豊かな自然と環境を、健全な形で未来につなげる。
- ◎水源地域の環境を保全し、適正な排水処理により公共用水域を守る。

◆方 針

- ◎人を感動させ、癒す力を持つ景観や自然環境を、積極的に活用することにより保全につなげる。
小諸の貴重な財産である景観や自然環境を各種事業等で積極的に活用し、自然環境の持つ「人々を感動させ、癒す」力などについて、住む人・訪れる人と一緒に楽しみ・考え・行動することにより、自然環境の健康(育成・保全)へとつなげる。さらに市民の環境意識の向上のため、市民・事業者等の主体的な参加と協働により、市内全域で景観美化活動に取り組み、住む人も訪れる人にとっても住みたくなる美しい環境を維持・保全する。
- ◎ごみの減量と再資源化を進め、資源を大切に利用する循環型社会を目指す。
かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、環境への負荷に配慮し、ごみの減量と再資源化を進めるとともに、廃棄物の適正処理の徹底や不法投棄防止のための取り組みを強化し、循環型社会の構築に努める。
- ◎今ある豊かな自然と環境を、健全な形で未来につなげる。
景観条例等各種法令の遵守や「太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン」等に基づき再生可能エネルギーを推進することにより、小諸の美しい景観や豊かな自然環境及び市民の安全で安心な生活環境との調和を図り、現在の環境を健全な形で未来へつなげる。
また、「小諸市気候非常事態宣言」に沿って、市民、事業者、行政が一丸となって、地球温暖化対策に取り組み、持続可能な地域社会を目指す。
- ◎水源地域の環境を保全し、適正な排水処理により公共用水域を守る。
水資源の確保、水の安定供給を図るため、水源地域の環境を保全する。また公共水域の保全のため、地域の状況に応じた水洗化を推進するとともに、水質調査を行い、かけがえのない地下水の汚染を未然に防止する。

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-1	ごみの減量と再資源化を進めます

所 管	生活環境課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

ごみの総排出量は、平成28年度以降、ほぼ横ばいでの推移となっており、クリーンヒルこもろの稼働により、安定的にごみ処理ができるようになったが、しかし、可燃ごみの排出量は年々増加しており、それに伴いごみ処理経費も増加傾向となっている。また、資源物の再資源化は、店頭での回収などを含め定着してきているが、可燃ごみへの混入が見られることから、ごみの分別の徹底と減量に早急に取り組む必要がある。

不法投棄の防止に向けては、定期的なパトロールの実施や監視カメラの設置、啓発などの活動を行っているが、なかなか無くならないため、対策についての早急な検討が必要。

◆方針

目的
豊かな自然環境を守り、循環型社会を形成するため、市民、事業者と行政が連携、協力し、食品ロスの削減への取り組みと、3R(Reduce、Reuse、Recycle)の徹底により、ごみの減量と再資源化を積極的に推進する。このことにより、ごみ処理費用の抑制と温室効果ガスの発生抑制に努める。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

ごみ減量アドバイザー、衛生自治会と連携し各区での分別指導や広報等をととして市民への情報提供を行い、食品ロスの削減や資源化を進め、ごみ排出量の削減を図る。合わせて、廃棄物減量再資源等推進市民会議において、次期ごみ処理基本計画策定に向け現状分析を進める。

不法投棄防止に向け、広報での啓発を行うとともに、有効策の研究を行う。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
① ごみの分別の徹底が市民や事業者に浸透し、再資源化が推進され、ごみの排出量が年々減少している状態。
② 不法投棄が無くなり、ごみの無いきれいな街や、郊外の景観が保たれている状態。
③ クリーンヒルこもろへのごみの搬入量が減少し、安定的かつ経済的に運営され、周辺への環境負荷が低い状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	一人一日当たりごみの排出量(家庭系ごみ、括弧内は事業系ごみを含めた値)					
設定理由	ごみを減らすことにより処理費用の削減と処理時に発生する温室効果ガスの削減につながるから。					
算式						単位 g
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	595(803)	計画	594(800)	593(797)	592(794)	591(791)
		実績				
指標名	燃やすごみに含まれる資源物の割合(家庭系ごみ)					
設定理由	ごみをきちんと分別すれば、資源として循環させることができ、ごみ処理経費等の削減につながるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	28.7	計画	28.4	27.6	26.8	26.0
		実績				
指標名	事業系ごみの年間排出量					
設定理由	ごみを減らすことにより処理費用の削減と処理時に発生する温室効果ガスの削減につながるから					
算式						単位 t
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	3310	計画	3270	3230	3190	3150
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ①ごみ減量アドバイザーや衛生自治会と連携し、各区での分別指導の徹底や、出前講座の実施、広報等の活用により市民への情報提供を図り、食品ロスの削減や再資源化に取り組みごみ排出量の削減を進める。
- ②事業系ごみの展開調査などにより、事業者への分別指導を徹底し食品ロスの削減や再資源化の推進によりごみの排出量の削減を進める。
- ③クリーンヒルこもろへの定期及び随時の運営モニタリングにより、計画に基づく業務の履行を確認し運営の安定化を図る。
- ④不法投棄の防止に向け、市民への情報提供と有効な防止策について研究を行う。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

<p>ゴール12「つくる責任つかう責任」</p> <p>市民への情報提供と啓発により、一人ひとりが毎日の生活の中で、ごみを出さない(リデュース)、繰り返し使用する(リユース)、資源として再利用する(リサイクル)の3Rの実践により、ごみの減量と循環型社会の実現を図る。</p> <p>ゴール13「気候変動に具体的な対策を」</p> <p>3Rの実践により、資源やエネルギーの無駄を減らすとともに、ごみの減量を図ることにより、ごみ処理で発生する温室効果ガスの削減に努め、地球温暖化の防止を図る。</p> <p>ゴール14「海の豊かさを守ろう」</p> <p>海洋へ注ぐ河川の上流の自治体の責任として、河川パトロールや環境学習などを通し、河川の汚染防止と自然環境を保全し、海と海洋資源の保全を図る。</p>
--

◆個別計画

ごみ処理基本計画／分別収集計画／一般廃棄物処理実施計画

◆特記事項

--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
清掃総務費運営費		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正処理及び資源化に関する的確な情報収集と市民への周知 ・災害廃棄物対策の推進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	15,181 千円	15,188 千円	15,188 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	6,167 千円	6,453 千円	6,453 千円	
一般財源	9,014 千円	8,735 千円	8,735 千円		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量や資源化に関する情報を「ごみ資源収集カレンダー」等に掲載するとともに、あらゆるメディアを活用して市民に周知する。 ・災害廃棄物の迅速、円滑かつ適正な処理のため、国の指針や県の計画等と整合性をとり、災害廃棄物対策を推進する。 				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ資源収集カレンダー」「ごみ資源分別ガイドブック」「市公式ホームページ」のほか、コミュニティテレビこもろ等あらゆるメディアを活用し、ごみの減量化に関する啓発及び排出基準等の周知を行う。 ・小諸市衛生自治会へ交付金を交付し、市民協働による地域の環境美化活動（不法投棄監視及び回収、集積所の維持管理等）を推進する。また、衛生委員の役割や活動内容について理解を深めるため、衛生委員研修会を開催する。 ・災害廃棄物処理計画の実効性を高めるため、机上訓練の実施や、研修参加等による情報収集、担当職員のスキルアップ等を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項	「ごみ資源収集カレンダー」の発行部数	部	26,300	26,300	26,300
	衛生委員研修会の開催数	回	2	2	2
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
浅麓環境施設組合運営費分担金		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物（し尿及び生ごみ）の適正処理 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	278,128 千円	291,484 千円	291,553 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	278,128 千円	291,484 千円	291,553 千円		
目的	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物（し尿及び生ごみ）を広域で適正に処理する。 				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安定稼働や運営改善について構成市町として検証し、処理経費の削減を図る。 ・生ごみの分別徹底や減量、浅麓エココンポの利用促進について住民へ周知する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項	生ごみの処理単価	円/t	43,800	43,600	43,400

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
収集運搬運営事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無			
事業概要	・一般廃棄物等の収集運搬					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	137,797 千円	137,537 千円	137,537 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	530 千円	550 千円	550 千円	
		一般財源	137,267 千円	136,987 千円	136,987 千円	
目的	一般廃棄物等の収集及び運搬業務を継続的かつ安定的に実施し、併せて一般廃棄物等の適正排出の徹底や減量化を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・収集ルート及び収集方法の研究を行い、収集業務の効率化を図る。 ・集積所における不適正排出のごみについて、メディアやお知らせシールを活用し、住民に正しい分別を呼び掛ける。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	収集及び運搬単価	円/t	14,800	14,600	14,400	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
塵芥処理施設管理事業		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無			
事業概要	・一般廃棄物の最終処分及び水処理等の適正処理					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	5,496 千円	5,496 千円	3,059 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,496 千円	5,496 千円	3,059 千円	
目的	野火附廃棄物埋立処理場を適正に管理する。					
令和3年度の目標						
野火附廃棄物埋立処理場(エコパークみかげを含む)の適正な維持管理を行う。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	残渣の埋立量	t	0	0	0	
特記事項						

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
不法投棄対策事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	2:有		
事業概要	・不法投棄の防止対策				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,887 千円	561 千円	561 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,887 千円	561 千円	561 千円		
目的	不法投棄を防止することにより、地域の生活環境の保全を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な不法投棄監視パトロールや不法投棄防止啓発看板、監視カメラの設置により、不法投棄の防止を図る。 不法投棄多発箇所のパトロールを強化し、関係機関や衛生自治会、区と連携して対策を講じる。 不法投棄の防止について衛生自治会を通して住民に啓発を行い、地域ごとにごみを捨てられない環境づくりを進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	不法投棄ごみの回収量	kg	14,000	13,000	12,500
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
廃棄物減量リサイクル事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な減量、再資源化施策を検討する市民会議の開催 容器包装物等資源物の適正なりサイクル処理 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,619 千円	7,909 千円	7,909 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	8,619 千円	7,909 千円	7,909 千円		
目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民会議でごみの減量等の施策を検討し、市の施策へ反映させる。 ごみ減量アドバイザーの活動を地域に定着させ、ごみの減量等への市民意識を高める。 適正なりサイクルや食品ロス削減によりごみの減量を図る。 				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 市民会議において、燃やすごみの増加等、当市が抱える課題について検討する。 ごみ減量アドバイザーを地域の各世代が集まる集会や場所(区総会、各種団体会議、イベント等)に派遣し、多くの市民に環境学習等を行うとともに、出前講座の利用促進を図るため、PRを行う。 ごみ減量アドバイザーの養成を行う。 資源物の安定的かつ経済的なリサイクルルートの調査研究を行う。 県の「食べ残しを減らそう県民運動~e-プロジェクト」と連携し、ごみ減量アドバイザーを中心に市民や事業者への啓発活動を行うとともに、その一環である「残さず食べよう!30・10運動」の普及を図るため、飲食店に協力を呼びかける。 資源回収報奨金制度の今後のあり方について、廃止も視野に、ごみ減量アドバイザーや衛生自治会等の意見を参考に、市民会議で検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ごみ減量アドバイザーの人数	人	15	17	19
特記事項					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
クリーンヒルこもろ運営事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無		
事業概要	燃やすごみの焼却及び資源物のリサイクル処理				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	294,871 千円	283,190 千円	287,739 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	119,825 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	175,046 千円	283,190 千円	287,739 千円	
目的	ごみ処理施設クリーンヒルこもろの適正な管理運営				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス自主規制値を順守した施設運営を行う。 ・定期的に運営モニタリング会議を開催する。 ・クリーンヒルこもろの環境学習スペースを活用した環境学習を行う。 ・事業系ごみ(燃やすごみ)の施設搬入時に展開検査を実施し、事業者に分別指導を行い、燃やすごみの減量を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	家庭系燃やすごみの年間排出量	t	4,880	4,995	4,990
	事業系燃やすごみの年間排出量	t	1,970	1,990	1,980
特記事項					

事務事業名			新規・継続		
清掃総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費			生活環境課		
投入 指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費	44,438 千円	67,785 千円	67,785 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	44,438 千円	67,785 千円	67,785 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-2	持続可能な地球環境にやさしいまちづくりを目指します

所 管	生活環境課
関 連	都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

地球温暖化の影響とみられる気候変動による異常気象が、世界各地で報告され、国内においても、近年類をみない気象異常が頻発し、小諸市にとっても極めて深刻な脅威となっている。未来を担う世代に、持続可能な社会を引き継ぐためには、市民、事業者、行政それぞれが危機感を共有し、地球温暖化の原因であるCO2の削減に向けた取り組みを行うことが求められている。

そのためには、市民・事業者への情報提供と啓発により、環境に対する意識を高めていく必要がある。また、再生可能エネルギーの推進は、住民の合意形成を図り、今ある自然環境や景観との調和を図る必要がある。

◆方針

目的
今ある自然景観を守り育て、地球温暖化防止に努めるなど事前環境にやさしいまちづくりを推進する。そのために、市民・事業者・行政が環境に対する意識を高め、それぞれの役割と責任を認識し、省エネルギーの徹底や環境や景観、地域との調和を図りながら、再生可能エネルギーの活用を促進し、CO2 の削減に取り組む。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

①太陽光発電設備設置事業者に対しガイドラインに沿った事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成され自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。

②環境に対する市民の意識を高めるため、クリーンヒルこもろでの環境学習や、環境フェアなど関係機関等と連携し環境学習の機会を確保する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①地球温暖化など、市民の環境に対する意識が高まっている状態。
②小諸の美しい景観や豊かな自然環境が保全されている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	長野県SDGs推進企業登録制度に登録している企業の数					
設定理由	各企業が、自らの事業活動が地域に及ぼす影響と社会的責任の重要性を認識し、環境に配慮した事業活動を展開することが重要であるから。					
算式						単位 団体
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	3	計画	15	25	35	45
		実績				
指標名	市民が学ぶ環境学習の人数					
設定理由	環境に対する市民の意識を高めていくには、環境学習を進めることが重要であるから					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	481	計画	500	1,100	1,200	1,300
		実績				
指標名	環境保全やごみ対策など環境衛生の取り組みに対する市民満足度					
設定理由	市民の満足度が高ければ、環境施策が住民のニーズに沿っている割合が高いから。					
算式	市民満足度調査					単位
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	76.8%	計画	77.6%	78.4%	79.2%	80.0%
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①太陽光発電設備設置事業者に対しガイドライン・指導要綱に沿った事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成された自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。
 ②CO2削減に向け、クリーンヒルこもろでの環境学習や環境フェアなど関係機関との連携を図り環境教育を推進するとともに、市内事業者を対象に県のSDGs推進企業登録制度への登録やISO等の認証取得を推進し、環境に配慮した事業環境への転換を目指す。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」
 自然環境や景観との調和を重視しつつ、住民の合意形成を前提に、太陽光発電を中心とする再生可能エネルギーの普及を進めることにより、二酸化炭素(CO2)の削減を図る。
 ゴール13「気候変動に具体的な対策を」
 環境教育の充実や、事業者への長野県SDGs推進企業登録制度等の説明を通し、エネルギー消費の削減や自然環境保全についての啓発、活動支援を行うことにより、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減を図る。
 ゴール15「陸の豊かさを守ろう」
 水質検査や大気汚染調査等の結果の情報提供や環境学習などを通し、生物多様性や自然環境の保全を図る。

◆個別計画

環境基本計画／共に取り組むCO2削減計画こもろ(地球温暖化対策地域推進計画)

◆特記事項

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
環境対策費運営費		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・4環境対策費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車騒音、河川や地下水の水質、大気汚染等の調査の実施 ・再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進 ・公害防止監視活動の実施 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,351 千円	3,285 千円	3,285 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,636 千円	1,695 千円	1,695 千円	
	一般財源	1,715 千円	1,590 千円	1,590 千円	
目的	<p>今ある自然景観を守り育て、環境にやさしいまちづくりを推進するため、水質や大気等の実態把握のほか、地球温暖化防止に関する取り組みを実施する。</p> <p style="text-align: center;">令和3年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児・小学生と保護者を対象とした省エネルギー教室・環境教室を開催する。 ・オオキンケイギクなどの特定外来植物の駆除に向けた啓発活動を行う。 ・今ある自然環境や景観と調和を図りながら、再生可能エネルギーの導入推進に努める。 ・太陽光発電設備設置については、適正な事業実施や地域住民との合意形成等、事業者に適切な指導を行う。 ・地球温暖化(気候変動)対策に関する啓発を実施する。 				
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	水質や大気等の検査総検体数(年間)	箇所	169	169	169
	省エネルギー教室・環境学習の参加人数	人	100	150	170
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
環境衛生費運営費		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久広域連合への負担金の交付 ・浅籠水道企業団への負担金の交付 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	71,522 千円	39,240 千円	42,446 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	534 千円	500 千円	500 千円	
	一般財源	70,988 千円	38,740 千円	41,946 千円	
目的	<p>市民の衛生的で快適な生活を維持するため、佐久広域連合、浅籠水道企業団等に対して必要な経費を負担する。</p> <p style="text-align: center;">令和3年度の目標</p> <p>関係機関に対して継続して必要な経費を負担する。 猫の不適切管理に基づく生活環境の悪化を防ぐため、飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金を用いて適切な飼育管理および動物愛護の意識高揚を図る。</p>				
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	関係機関が主催する会議の出席回数	回	2	2	2
	飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金交付件数	件	50	50	50
特記事項					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
狂犬病予防事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課	1:無			
事業概要	・犬の登録及び狂犬病予防注射の実施					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	881 千円	881 千円	881 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	881 千円	881 千円	881 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	狂犬病の脅威から市民を守るため、犬の登録の徹底と狂犬病予防注射の実施率向上を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・犬の登録の徹底と狂犬病予防注射の実施率向上のための啓発を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射未実施者に対して、獣医師会と協力して個別勧奨を実施し、実施率の向上を図る。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	狂犬病予防注射の実施率	%	94	94	94	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
高峯聖地公園費運営費		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・6高峯聖地公園費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高峯聖地公園の管理運営 ・一般聖地及び合葬式聖地の貸付 ・清掃手数料の徴収 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	9,124 千円	12,482 千円	10,482 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	9,124 千円	10,000 千円	10,000 千円	
		一般財源	0 千円	2,482 千円	482 千円	
目的	霊園にふさわしい環境を維持するため、使用者から清掃手数料を徴収し、高峯聖地公園内の植栽の手入れやトイレ・ゴミ箱の清掃等を中心に適正な管理を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の彼岸やお盆の時期を中心に、聖地公園内の適正な維持管理を行う。 ・清掃手数料未納者と接触する機会を増やし、未納の解消を図る。 ・聖地完成から年数が経過しているため、適切な改修を実施する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	維持管理業務に係る月平均作業回数	回	6	6	6	
特記事項	清掃手数料未納者の人数	人	8	8	8	

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
景観まちづくり事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画・景観条例・県屋外広告物条例による調整 ・小諸市景観審議会の運営 ・花いっぱい運動の実施 ・公園クリーン活動奨励金の交付 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,827 千円	2,827 千円	2,827 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	2,827 千円	2,827 千円	2,827 千円		
目的	住民の景観に対する意識を高めるため、景観形成活動に参加する場を設ける。 市内各地域の景観に配慮した建築物・工作物の設置の推進				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・市内各地域の景観に配慮した建築物・工作物の設置の推進するため、景観計画・景観条例・県屋外広告物条例による調整を行う。 ・大規模な建築工事や景観計画の見直しなど、必要に応じ、景観審議会を開催する。 ・花いっぱい運動について、運動の改善やPRなどに取り組む。また、引き続き市民の方の緑に対する意識の高揚を図るため、参加者からアンケートを取り、今後の取組みについて検討する。 ・市民協働による地域に密着した公園管理を推進するため、公園クリーン活動奨励金制度の周知を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	市民団体による景観まちづくりの活動回数	回	250	250	250
特記事項	令和3年度より事務事業名を「景観まちづくり事業」に変更。(市民の景観意識の醸成・高揚、将来的な市民活動団体の育成につながる事業をまとめる)				

事務事業名			新規・継続		
環境衛生費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費			生活環境課		
投入 指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費	28,566 千円	28,566 千円	28,566 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	2,542 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	26,024 千円	28,566 千円	28,566 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-3	市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

所 管	下水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市内の生活排水処理事業は、7つの処理場、310kmを超える下水道管と、約2,100基の合併処理浄化槽により運営している。整備状況の指標となる‘汚水処理人口普及率’は98.7%、利用状況を示す‘快適生活率’は91.8%と、整備拡大の時代から利用拡大と施設管理の時代に移り変わってきている。

今後は、未普及地域152haの利用密度が低い地区での施設整備方法と、利用拡大を目的とした普及促進方法の検討と実施から、利用人口の拡大を図り、効率化と危機分散の相反する課題を整理しながら処理区統合計画を実行するとともに、膨大な下水道施設を持続可能な設備としていくために、適切な点検・調査と更新をサイクルとした計画の運用を軌道に乗せる必要がある。

◆方針

目的
地理的条件と利用者意向との調整から、未普及地域内の整備方針を見直すとともに、効果的な普及促進活動を模索しながら利用拡大に努め、施設整備の概成と使用料収入の維持・拡大を図る。県単位で取り組む「水循環・資源循環のみち2015」構想の定期的見直し結果に基づく処理区統合計画を推進し、施設管理計画である「ストックマネジメント計画」の実行と併せて、事業の経営基盤の強化を図る。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- 未普及地域の整備方針を決定する。
- ‘水循環・資源循環のみち2015’構想の見直しを長野県と連携しながら実施する。
- ストックマネジメント計画に基づき、支援制度を利用した点検・調査業務に着手する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市内のすべての地域において、生活排水処理サービスを受けられる状態。
②生活排水処理サービス未利用者が、サービスの内容を知り、利用に向けた具体的検討ができる状態。
③‘水循環・資源循環のみち2015’構想が地域状況を反映して見直しされ、構想に沿った統合計画が実行されている状態。
④すべての汚水管路において、停滞なく汚水が流れている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	快適生活率(長野県下共通の指標の一つ)						
設定理由	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽による汚水処理施設の利用を促進し、暮らしの快適さ満足度の向上と、汚水放流の更なる減少を目指すため。						
算式	計画処理方式による水洗化人口÷行政人口×100＝					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	91.8	計画	92.5	93.0	93.5	94.0	
		実績					
指標名	松井川雨水排水路(総合体育館付近)の水質調査による生物化学的酸素要求量(BOD)測定値						
設定理由	生活排水処理サービスの利用状況を二次的に確認するため。 (生活環境課が行う年4回測定結果の平均値)						
算式						単位	mg/L
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1.23	計画	2mg/l以下	2mg/l以下	2mg/l以下	2mg/l以下	
		実績					
指標名	「下水道・浄化槽などによる水洗化の促進」に対する市民満足度						
設定理由	利用者ニーズに沿った事業運営を行うため。						
算式	‘満足’ + ‘やや満足’ + ‘普通’ =					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	78.1	計画	78.4	78.7	79.0	79.4	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ①未普及地区内関係者の下水道利用意向を把握しながら管路整備計画の調整を図り、結果を次期事業計画に反映させる。
- ②浄化槽利用者リストなどから未利用状況を把握し、有効な普及促進方法を確認した上で実施に移す。
- ③農集八満地区の使用料金制度見直しの意向を排水処理組合との調整で確認するとともに、‘水みち2015’構想の改訂において市内全域の処理区統合方法を検証する。
- ④ストックマネジメント計画による点検・調査と、更新順位に応じた施設更新工事を実施する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

<p>ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」 利用環境に関わらず水洗トイレを利用できるよう、状況に応じた適切な排水処理サービスを提供する。</p> <p>ゴール14「海の豊かさを守ろう」 河川放流される排水の削減を図るため生活排水処理サービスの普及に注力し、公共用水域の保全を図る。</p>

◆個別計画

流域別下水道整備総合計画／‘水循環・資源循環のみち2015’構想／公共下水道事業計画／社会資本総合整備計画／下水道事業経営戦略／公共下水道事業ストックマネジメント計画

◆特記事項

--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
農業集落排水 収益的事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
集排		下水道課	1:無		
事業概要	農業集落排水事業における経営活動に関すること。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	303,836 千円	242,545 千円	241,505 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	303,836 千円	242,545 千円	241,505 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	今後到来する使用料収入の減少に向け、ストックの適正化を図ることで維持管理の軽減を実現化し、持続的に効率良く生活排水等の処理を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・未接続組合員の現況調査を行って普及活動につなげる。 ・使用料等未納者に対する催告書の送付と訪問による滞納整理を定期的に行い、現年収納率の向上を図る。 ・八満地区使用料の従量制移行について、地元排水組合の総代会等において移行同意を得る。 ・職員によるマンホールの定期巡視作業を実施する。 ・令和3年度末、森山地区の特環への統合を完了する。 ・森山地区処理場後利用工事の設計業務を実施する。 ・「水循環・資源循環のみち2015」構想の見直し結果に基づき、次期統合協議計画の策定を開始する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	水洗化率	%	90	91	92
特記事項	農業集落排水施設使用料収納率(現年度)	%	99.5	99.5	99.5
	平成30年度から公営企業会計に移行したため「一般管理費運営費」を「農業集落排水 収益的事業」に変更した。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
農業集落排水 資本的事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
集排		下水道課	1:無		
事業概要	農業集落排水事業における施設整備と企業債元金の償還に関すること。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	111,001 千円	105,974 千円	96,012 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	62,904 千円	44,267 千円	30,589 千円		
一般財源	48,097 千円	61,707 千円	65,423 千円		
目的	今後想定される有収水量の減少に伴う料金収入減や施設の老朽化に伴う更新費用の増大を見据え、経済的効果を検証した上で、計画的に公共下水道に統合し処理施設の管理数を減少していく。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・森山地区の接続工事等が円滑に進むよう関係機関と連携して計画的に進め、令和3年度末に特環への統合を完了する。 ・「水循環・資源循環のみち2015」構想の見直し結果に基づき、次期統合協議計画の策定を開始する。 ・森山処理施設の後利用工事に関する設計業務を実施する。 ・起債残高の管理と起債償還表に基づき企業債元金の償還を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	処理施設管理数	施設	5	4	4
特記事項	平成30年度から公営企業会計に移行したため「施設管理費運営費」を「農業集落排水 資本的事業」に変更した。				

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
浄化槽設置・維持管理促進事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課	1:無		
事業概要	公共下水道の認可区域及び農業集落排水の整備区域以外(浄化槽整備区域)で生活排水の処理を行うには、合併処理浄化槽の設置が必要となる。当事業は、この区域内において合併処理浄化槽の設置や維持管理に要する経費に対する補助を実施することで、生活排水による水資源の汚染を防ぐとともに、快適な住環境の実現を促進する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	53,467 千円	54,054 千円	54,752 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	8,877 千円	8,667 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	53,467 千円	45,177 千円	46,085 千円		
目的	浄化槽設置整備事業補助金により、合併処理浄化槽の新設及び汲取り又は単独浄化槽からの転換を促進する。また、設置された浄化槽に対し、維持管理補助金で浄化槽の保守点検、清掃及び法定検査に要する費用の一部を助成し、浄化槽の適正管理を支援する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 改正した補助金交付規則に基づき合併処理浄化槽の設置に対する補助金を適正に交付する。 助成制度の効果的な周知により合併処理浄化槽の適正な維持管理につなげる。 法定検査不適正判定及び保守点検未実施の浄化槽管理者に対して、県と連携して早期改善を促す。 公共下水道事業及び農業集落排水事業の普及促進と連携し、集合処理区内にある機能低下した浄化槽の設置者に対して下水道への接続を促す。 県が推奨する「浄化槽維持管理に係る一括契約」を含めて、今後の有効な維持管理補助の在り方(補助区分・額)について検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	浄化槽設置後の初回法定検査(11条)適正率	%	100	100	100
	浄化槽保守点検実施率	%	100	100	100
特記事項	令和2年度より「下水道環境費給与費」、「浄化槽設置整備事業」、「浄化槽維持管理補助事業」の3事業を統合し「浄化槽設置・維持管理促進事業」とした。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
下水道事業会計繰出金		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課	1:無		
事業概要	【繰出金】 ・地方公営企業法等の基本原則を堅持しながら、小諸市公共下水道事業及び小諸市農業集落排水事業の経営の安定化を図るため、国の繰出基準に基づき、一般会計から繰出金を支出する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	600,495 千円	565,710 千円	540,540 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	600,495 千円	565,710 千円	540,540 千円		
目的	小諸市公共下水道事業及び小諸市農業集落排水事業の経営の安定化を図るため、国の基準に基づき一般会計から各事業会計に繰出しを行う。				
令和3年度の目標					
小諸市公共下水道事業及び小諸市農業集落排水事業における目標の達成により、一般会計からの繰出金を減らす。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項	令和2年度より「公共下水道事業会計繰出金」と「農業集落排水事業会計繰出金」を統合して「下水道事業会計繰出金」とした。				

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
公共下水道 収益的事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
下水道		下水道課	1:無		
事業概要	公共下水道事業における経営活動に関すること。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,153,891 千円	1,126,009 千円	1,105,041 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	2,000 千円	2,000 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,169,890 千円	1,129,462 千円	1,116,656 千円	
一般財源	-15,999 千円	-5,453 千円	-13,615 千円		
目的	公共用水域の保全と衛生的で快適な生活環境を図るため、普及促進を行い健全な経営と施設の維持管理に努める。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に策定した長寿命化ストックマネジメント計画に伴い適切な施設の維持管理を行う。 ・普及促進活動により下水道使用料の収納率99.5%以上、水洗化率93.0%を目指す。 ・「浅麓地区汚泥処理計画」の見直しを行う中で、運営方針を決定し必要となる事務手続きを行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	下水道使用料収納率(現年度)	%	99.5	99.5	99.5
	公共下水道等接続率	%	94.2	94.9	95.6
特記事項	所管を業務係から施設建設係へ変更しました。 活動指標を変更しました。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
公共下水道 資本的事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
下水道		下水道課	1:無		
事業概要	公共下水道事業における施設整備及び財産管理に関すること。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,223,569 千円	977,718 千円	1,013,248 千円	
	特定財源 国・県支出金	198,900 千円	96,950 千円	132,600 千円	
	地方債	457,000 千円	295,200 千円	313,100 千円	
	その他	133,740 千円	128,126 千円	121,423 千円	
一般財源	433,929 千円	457,442 千円	446,125 千円		
目的	施設を効率的に処理を行うため森山地区の統合を進め、ストックマネジメント計画に基づき施設の更新を行い、未整備地区内の汚水処理サービスを図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・農集森山地区の和田特環への接続に伴い、中継ポンプ場および圧送管渠の工事を完成させる。 ・施設を適切に管理するためストックマネジメントに基づき硫化水素の影響を受けている管路の更新工事を行う。 ・古城地区において松井川改良工事を実施する。 ・未普及地域における整備方針の決定を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	受益者負担金・分担金収納率(現年度)	%	99	99	99
	未普及地域内の汚水処理方法の決定面積	%	94	95.5	97
特記事項	所管を業務係から施設建設係へ変更しました。				

実施計画書 兼 事業説明書

【政策3：健康・福祉】

一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち

【施策3-1】 市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

【施策3-2】 誰もが安心できる福祉環境を整備します

【施策3-3】 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

所 管 保健福祉部

◆ミッション

少子・高齢、人口減少社会が進展する中、「支える側」「受ける側」という一方通行から互いに支え合いながら活躍できる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが必要であり、市民誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける「すべての人のいのちが輝くまち」を目指す。

- ◎子どもから高齢者まですべての市民一人ひとりが健康に心がけ、元気で暮らすための保健予防事業を展開する。
- ◎複雑化かつ深刻化する地域福祉課題に対し、支援が必要な市民を地域全体で支える福祉環境を整備する。
- ◎高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりを推進する。

◆方 針

- ◎子どもから高齢者まですべての市民一人ひとりが健康に心がけ、元気で暮らすための保健予防事業を展開する。
関係機関や地域と連携し、安心して子育てができるよう妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行う。
適度な運動習慣を身につける健康ウォーキングや、生活習慣病を予防するための各種健診(検診)事業を推進するなど、市民が楽しんで健康づくりに取り組めるように生涯を通じた健康づくりの機会や場を提供する。
市民意識調査によると、医療に対する項目は市民評価が高いため、今後も維持・発展させていくとともに、新型コロナウイルス等の拡大を防ぎ、地域医療体制を堅持する。
- ◎複雑化かつ深刻化する地域福祉課題に対し、支援が必要な市民を地域全体で支える福祉環境を整備する。
誰もが地域の中で自分らしく生活していけるよう「お互いさま」の心で支え合う仕組みをつくり、市民、行政、関係機関等が連携し、様々な地域福祉課題の解決を図っていく。また、新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮者の増加が想定される中で、きめ細やかな対応と社会的自立のための支援体制の充実に努める。
障がい者やその家族が安心して健康に地域社会で暮らせるように、保健・医療関係機関、サービス提供事業所との連携強化と福祉サービスの充実に努める。
- ◎高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりを推進する。
高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるように、医療、介護、生活支援、介護予防の充実と、在宅医療・介護の連携強化を図る。また、新型コロナウイルス感染症により、外出や人との交流の機会が減少し心身の機能が低下する「フレイル」(虚弱)の恐れがあることから、予防のための取り組みを行い、健康寿命を延伸させる。

政策 3	一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
施策 3-1	市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

所 管	健康づくり課
関 連	市民課
関 連	厚生課
関 連	高齢福祉課
関 連	子ども育成課
関 連	スポーツ課

◆現状と課題

小諸市は、平均寿命及び平均自立期間(日常生活動作が自立している期間の平均を指標とした健康寿命)は、国を上回り、一人当たりの医療費も低い状況にあるが、特定健診受診率が低いため、今後の健康寿命等への影響が懸念される。また、核家族化等により子育てに不安を抱える家庭が増えていることから、育児不安の解消や虐待予防のために、関係機関との連携による継続した支援が必要となっている。市内の二次医療機関では、医師の確保が課題であるため、医師の定着に向けた効果的な支援策について検討していく必要がある。さらに、感染症等の流行に伴い、医療体制が逼迫する恐れもあることから、感染症の拡大を防ぐ必要がある。

◆方針

目的
<p>健診を受診しやすい環境を整えるとともに、健康づくり事業に多くの方が参加できるような仕組みを構築し、市民一人ひとりが健康に心がけることができるよう促す。</p> <p>安心して妊娠・出産・子育てができるよう、関係機関と連携し、時機を捉えた効果的な支援を行う。</p> <p>誰もが必要なときに必要な医療を受けることができるよう、二次救急医療体制の存続と病診連携への支援を行うとともに、新型コロナウイルス等の拡大を防ぎ地域医療体制を堅持する。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- 健康づくり協力事業所との連携やスマホアプリの利用促進により、健幸マイレージ事業への参加者を増やし、健診受診率の向上を図るとともに、市民の健康意識の向上と健康習慣の定着を図る。
- 関係機関等との連携を密にし、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行う。
- 地域医療体制の存続に向け、より効果的な支援となるよう事業の見直しを行う。
- 感染予防の啓発及び予防接種の体制を整備することにより新型コロナウイルスの拡大を防止する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①市民一人ひとりが健康に心がけ、日々の運動やバランスの良い食事を意識し、実践できている状態。</p> <p>②医療、保健、福祉等が連携し、支援の必要な方への早期介入ができている状態、また妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援ができている状態。</p> <p>③二次救急医療機関が将来にわたり安定して存続し、病院、診療所、薬局などがそれぞれの役割と機能を果たし、連携が図られている状態。新型コロナウイルス等の予防、啓発活動により感染の拡大を防止できている状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	平均自立期間						
設定理由	一人ひとりが健康に心がけ、日々の運動やバランスの良い食事を意識することで自立期間が延びるから。						
算式						単位	歳
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	男性80.0 女性85.1	計画	男性80.25 女性85.40	男性80.31 女性85.65	男性80.37 女性85.90	男性80.43 女性86.15	
		実績					
指標名	特定健康診査(国民健康保険)受診率						
設定理由	一人ひとりが健康に心がけるようになると、自分の健康状態を確認するため健康診断を受けるようになるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	44.8	計画	50	55	60	60	
		実績					
指標名	安心して医療が受けられると感じている人の割合						
設定理由	必要な時に必要な医療が受けることができるようになると医療満足度が上昇するから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	66.3	計画	66.4	66.6	66.8	67.0	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・第3次小諸市健康づくり計画等各種計画に則り、健康づくり事業を着実に推進する。
- ・健康づくり協力事業所の協力のもと、市民の健康意識の向上と健康習慣の定着を図る。
- ・健康マイレージ事業や受診勧奨により健診受診率の向上を図り、生活習慣病の早期発見、早期治療につなげる。
- ・健康マイレージ事業の拡充を図り、健康を意識し、市内を歩く人を増やす。
- ・母子健康包括支援センターを拠点に、関係機関と連携を図りながら妊娠から出産、育児まで切れ目のない支援を行う。
- ・二次救急医療体制の確保と病診連携の推進に向け、必要な支援を行う。
- ・国の動向を注視し、感染予防の啓発を行うとともに、予防接種体制を整備することにより感染症の蔓延防止に取り組む。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール3「すべての人に健康と福祉を」

小さな子どもから高齢の方まで、すべての市民一人ひとりが健康に心がけ、生き生きと生涯を送れるよう関係機関と連携し、様々なサポートを行う。

◆個別計画

健康づくり計画(げんき小諸21)／特定健康診査等実施計画／スポーツ推進計画
／保健事業実施計画(データヘルス計画)／食育推進計画

◆特記事項

--

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-1 市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
地域医療体制整備事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・1保健衛生総務費		健康づくり課	1:無		
事業概要	①医療従事者の確保:奨学金及び就業資金の貸与、小諸看護学校の運営費補助 ②救急医療体制の確保 ・休日当番医制及び二次救急医療圏の病院群輪番制維持のための負担金 ・地域医療体制確保のための支援				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	44,317 千円	44,317 千円	44,317 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	44,317 千円	44,317 千円	44,317 千円		
目的	健康で安心して暮らすことのできる地域をつくるために、医療従事者の確保を図るとともに、救急医療体制、在宅医療体制を確保する。				
令和3年度の目標					
①医師の確保と定着に向けてより効果的な奨学金や就業資金制度となるよう、浅間南麓こもろ医療センターと連携し検討を行う。 ②看護学校の運営支援を行うことにより医療従事者の確保と定着を図る。 ③休日当番制、病院群輪番制等により地域(二次救急)医療体制を維持し、住民の利便性を確保する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	奨学金を貸与する医学生の数	人	4	5	6
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
精神保健福祉事業		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・1保健衛生総務費		健康づくり課	1:無		
事業概要	①精神障がい者等の支援:健康相談、訪問、通所費用の助成、家族会の連携支援 ②自殺対策:ゲートキーパー養成講座の開催、心の健康づくり講演会の開催、啓発				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,124 千円	1,100 千円	1,100 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	688 千円	690 千円	690 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	436 千円	410 千円	410 千円		
目的	①精神障がい者が地域で自分らしい生活を送るために必要な環境があり、それらを適切に利用できるようにする。 ②精神疾患や自殺予防について、正しい知識や理解が広がり、誰もが生きやすい地域にする。				
令和3年度の目標					
①相談支援、ワークポート野岸の丘指定管理、家族会の事業補助を行う。 ②感染予防対策を講じながら、ゲートキーパー養成講座を1コース開催する。 ③つらい時にSOSが出せるよう、中学校と連携し、1年生を対象に相談窓口の周知のためのグッズを配布するとともに授業等で啓発を行う。 ④若者のひきこもりについて、相談できる機会と孤立しないための居場所づくりを行う。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ゲートキーパー養成講座の修了者数	人	20	20	20
特記事項					

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-1 市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
予防接種事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・2予防費		健康づくり課	1:無		
事業概要	<p>・予防接種法に基づく定期予防接種の実施及び任意予防接種の費用助成等 定期個別接種:四種混合、三種混合、二種混合、日本脳炎、不活化ポリオ、風疹、麻しん、MR混合、BCG、高齢者インフルエンザ H25年度追加:ヒブワクチン、小児用肺炎球菌、子宮頸がん H26年度追加:水痘、高齢者肺炎球菌 H28年度追加:B型肝炎 R1年度追加:成人用風疹(抗体検査含む。3年間のみ) R2年度追加:ロタウイルス 任意接種:成人用風疹(H26年度から費用助成)</p>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	108,053 千円	108,053 千円	108,053 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	4,035 千円	45 千円	45 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	104,018 千円	108,008 千円	108,008 千円	
目的	生涯を通じた健康管理を支援するために、予防接種を実施する。また、費用助成することにより接種を促し、市民の各種感染症を防ぐ。				
令和3年度の目標					
<p>・市内の医療機関で現行の個別接種ができる体制を維持するとともに、保護者に十分な情報提供を行うことにより、不適切接種の防止と接種率の維持向上を図る。 ・各種ワクチンが不足しないよう関係機関と連絡を密にする。 ・風しんの発生とまん延の予防のための成人風しん抗体検査及び予防接種が最終年度となるため、未受診者への接種勧奨を積極的に行う。 ・新型コロナウイルス感染症のまん延防止に向け、適切にワクチン接種ができるよう取り組む。</p>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	個別の予防接種の実施医療機関の数(延べ)	数	263	263	263
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
健康診査事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・2予防費		健康づくり課	1:無		
事業概要	<p>各種検診、健康診査を実施する。 検診(結核、肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、肝炎ウイルス、歯周病)、健康診査(後期高齢者健診)、35歳無料健康診査</p>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	48,570 千円	48,000 千円	48,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	3,442 千円	3,500 千円	3,500 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	10,132 千円	10,130 千円	10,130 千円	
	一般財源	34,996 千円	34,370 千円	34,370 千円	
目的	各種検診、健康診査を受診して疾病を早期に発見し重症化予防につなげる。また、健診受診を生活習慣を振り返る機会として健康づくりに生かすことで、生涯を通じて健康を維持できるようにする。				
令和3年度の目標					
<p>①受診対象の全世帯に対して、引き続き健康診断およびがん検診の受診勧奨を行う。 ②市民が安心して検診を受診できるよう、感染予防に留意して検診を実施する。 ③SNSを積極的に活用し、情報を発信する。 ④健幸マイレージを拡充し、健診受診者を増やす。</p>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	胸部レントゲン検診の推計受診率	%	20	21	21
	後期高齢者健康診査の受診率	%	14	14	14
特記事項					

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-1 市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
健康づくり事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・2予防費		健康づくり課	2:有			
事業概要	①健康づくり組織の育成支援 ②運動習慣定着に向けた啓発・体験 運動習慣に関して啓発する体験付き講座の開催、地域でのウォーキンググループの育成支援、健康づくりの普及 ③関係課と連携した食育推進					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	3,047 千円	3,200 千円	3,200 千円		
	特定財源	国・県支出金	86 千円	80 千円	80 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	2,961 千円	3,120 千円	3,120 千円			
目的	健康意識が向上し、適切な健康行動ができる市民を増やす。					
令和3年度の目標						
①保健推進委員は、感染予防に留意しつつ、健康づくり啓発のための活動ができるよう支援する。 ②健幸マイレージはアプリを導入し、広く市民に浸透するよう周知啓発に力を入れる。 ③「こもろ健幸応援団」協力事業所と連携し、健康づくりを広げる。また、「てくてく小諸人」については、身近な地域での開催を継続し、参加者が増えるよう取り組む。 ④第3次食育計画に基づき、関係者と連携し食育を推進する。 ⑤がん共生について理解が広がるよう、関係機関と連携し啓発を行う。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	健康づくり講座の開催回数	回	7	7	7	
	保健推進員地域健康セミナーの開催回数	回	9	9	9	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
母子保健事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・3母子保健費		健康づくり課	1:無			
事業概要	・妊婦、両親教室の開催 ・母子訪問、乳幼児教室、乳幼児相談等の開催 ・母子保健法に基づく養育医療費(低体重出生児等の入院医療費の一部給付)等の給付 ・産後ケア事業として、出産後安心して子育てができるよう、医療機関や助産所等で相談等を受ける場合に利用できる助成券を交付するとともに、出産後の育児不安等により特に保健指導等が必要な産婦と乳幼児を対象とし、医療機関又は助産所で母体の管理や育児指導を行う。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	7,360 千円	7,360 千円	7,360 千円		
	特定財源	国・県支出金	2,686 千円	2,686 千円	2,686 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	388 千円	388 千円	388 千円	
一般財源	4,286 千円	4,286 千円	4,286 千円			
目的	・乳幼児期に個別訪問や相談、教室を開催することで、子育てへの安心感を高めるとともに、生涯を通じた健康管理ができるようにする。					
令和3年度の目標						
・妊婦、両親学級を実施し、安心安全な出産に向けた支援を行う。 ・すべての新生児に対して新生児訪問を行い、健康管理と育児支援に繋げる。 ・各種相談、フォロー教室を実施し、発達障害等にてフォローが必要なケースを関係機関と連携し早期療育につなげる。 ・産後ケア事業を行い、産後の子育て不安等の早期解決につなげ、子育てを前向きに取り組めるよう支援する。 ・言語・心理・身体発達面への支援が適切な時期に実施できるよう相談体制を維持していく。 ・子どもの歯質強化とむし歯予防のため、幼稚園、保育園、小学校に続き中学校でのフッ化物洗口の支援を行う。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	新生児訪問の実施率	%	100	100	100	
	母子保健に対する乳幼児健診時アンケートによる満足度	%	92.2	92.4	92.6	
特記事項						

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-1 市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
乳幼児健診事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・3母子保健費		健康づくり課	1:無			
事業概要	母子保健法に基づき、乳幼児(4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児)に対し、健康診査を実施する。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	3,416 千円	3,416 千円	3,416 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	3,416 千円	3,416 千円	3,416 千円			
目的	市民が生涯を通じた健康管理ができるよう法に基づく乳幼児健診を実施し、乳幼児の健康管理を支援する。また、虐待予防なども含め保護者への育児支援の機会とする。 子どもの頃から健康を意識した良い生活習慣を身に付ける。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく乳幼児健診を各年齢月齢に対応するように実施する。【4か月児健診:18回、10か月児健診:20回、1歳6か月児健診:21回、3歳児健診:22回】 ・社会性の発達を評価するツール(M-CHAT)の活用と成長発達の段階より支援の必要性を判断し、発達障害の早期発見と早期介入に努める。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	母子保健に対する乳幼児健診時アンケートによる満足度	%	92.2	92.4	92.6	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診受診率向上の活動指標を追加 ・活動指標①の指標名称変更(他の指標名称と統一するため) 					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
妊産婦等支援事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・3母子保健費		健康づくり課	1:無			
事業概要	①妊産婦健康診査の委託実施及び、補助金の交付 ③不妊治療助成金の交付					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	44,746 千円	44,746 千円	44,746 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,410 千円	1,410 千円	1,410 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	43,336 千円	43,336 千円	43,336 千円			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦・両親教室の開催を通じて妊娠出産に向けた支援を行うとともに、妊産婦の健康診査費用を補助することで安全な出産に結びつける。 ・不妊治療の費用を助成し、経済的負担の軽減を図り治療を受け易くする。 					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ①妊婦健康診査については、全ての妊娠届提出者に受診券を交付し、受診勧奨をする。 ②不妊治療助成金の交付により、妊娠を希望する方の経済的な負担を軽減するとともに、早期治療を促し事業効果を上げる。 ③産後うつ予防や早期発見及び新生児への虐待予防等の観点より、産婦健康診査の助成を行う。産科医療機関と連携を取り、産後早期の母子への支援を強化する。 ④望まない妊娠や妊娠継続に関する相談先の周知を行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	母子保健に対する乳幼児健診時アンケートによる満足度	%	92.2	92.4	92.6	
特記事項	初妊婦のプレママスクールへの参加率(里帰り等の者を除く)					
		%	95	95	95	

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-1 市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
子育て世代包括支援センター運営事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・3母子保健費		健康づくり課	2:有		
事業概要	国の子育て支援策の一環として妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対して、総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」を運営し、妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援を行い、妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,621 千円	2,621 千円	2,621 千円	
	特定財源 国・県支出金	1,482 千円	1,482 千円	1,482 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,139 千円	1,139 千円	1,139 千円		
目的	・妊娠、出産、子育て中の妊産婦・保護者等が、孤立感や負担感の解消につながるよう切れ目のない支援をする。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実施する。 ・妊娠期から個別ニーズを把握し、支援の必要性に応じた相談体制をとる。 ・適切な支援が行えるよう関係機関と定期的に連携会議を開催する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	母子保健に対する乳幼児健診時のアンケートによる不満足度	%	92.2	92.4	92.6
特記事項	活動指標の名称変更(他の指標名称と統一するため)				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
賦課徴税费(国保)		継続	11		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市国民健康保険事業特別会計・1総務費・2徴税费・1賦課徴税费		市民課	1:無		
事業概要	国保税の賦課徴収に関する事務				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	7,903 千円	8,000 千円	8,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	307 千円	300 千円	300 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	7,596 千円	7,700 千円	7,700 千円	
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	国保会計の安定運営及び被保険者間の負担の公平性を確保する。				
令和3年度の目標					
現年度分の収納率について、前年度目標を上回るよう収納業務に取り組む。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	国保税現年度収納率	%	94.4	94.5	94.6
特記事項	税務課・収納管理室 保険者努力支援制度評価対象(収納率)				

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-1 市民一人ひとりが健康に心がけ、生涯元気で暮らすことができるよう支援します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
特定健康診査等事業費		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市国民健康保険事業特別会計・4保健事業費・2特定健康診査等事業費・1特定健康診査等事業費		市民課	1:無		
事業概要	小諸市国民健康保険に加入する40歳から74歳までの者を対象に、特定健診及び特定保健指導を実施する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	36,909 千円	37,000 千円	37,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	22,084 千円	22,000 千円	22,000 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	14,825 千円	15,000 千円	15,000 千円		
目的	生活習慣病の早期発見、早期治療により医療費の適正化を図る。				
令和3年度の目標					
特定健診未受診者へ勧奨通知の発送、電話・臨戸訪問等を実施する。 生活習慣病ハイリスク者に対し、個別・集団指導を実施する。 特定保健指導実施者に対し、生活改善プログラムの管理等を実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	特定健康診査受診率	%	47	48	49
特記事項	健康づくり課 保険者努力支援制度評価指標 特定健診受診率、特定保健指導終了率				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
徴収費運営費(後期)		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市後期高齢者医療特別会計・1総務費・2徴収費・1徴収費		市民課	1:無		
事業概要	後期高齢者医療保険料徴収のための運営費				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,947 千円	3,000 千円	3,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	2,947 千円	3,000 千円	3,000 千円	
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	後期高齢者医療制度の安定運営及び被保険者間の負担の公平を図る。				
令和3年度の目標					
現年度収納率を前年度実績と同水準を維持する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	後期高齢者医療保険料現年度収納率	%	99.6	99.6	99.6
特記事項					

事務事業名				新規・継続
国民健康保険事業特別会計繰出金				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・1社会福祉費・2国保・年金事業費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		339,660 千円	347,649 千円
	特定 財源	国・県支出金	171,133 千円	177,053 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		168,527 千円	170,596 千円	
事務事業名				新規・継続
後期高齢者医療広域連合負担金				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・3後期高齢者医療事業費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		453,449 千円	468,635 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		453,449 千円	468,635 千円	
事務事業名				新規・継続
人間ドック補助金(後期)				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・3後期高齢者医療事業費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		4,000 千円	5,190 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	2,400 千円	2,595 千円
一般財源		1,600 千円	2,595 千円	
事務事業名				新規・継続
後期高齢者医療特別会計繰出金				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・3後期高齢者医療事業費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		141,706 千円	156,265 千円
	特定 財源	国・県支出金	91,790 千円	104,599 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		49,916 千円	51,666 千円	
事務事業名				新規・継続
一般管理費(国保)				継続
会計・款・項・目				所管課
小諸市国民健康保険事業特別会計・1総務費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		35,934 千円	36,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	2,576 千円	2,500 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	33,358 千円	33,500 千円
一般財源		0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続
保険給付費				継続
会計・款・項・目				所管課
小諸市国民健康保険事業特別会計・2保険給付費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		2,993,088 千円	2,994,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	2,972,356 千円	2,972,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	12,324 千円	13,000 千円
一般財源		8,408 千円	9,000 千円	
事務事業名				新規・継続
国民健康保険事業費納付金				継続
会計・款・項・目				所管課
小諸市国民健康保険事業特別会計・3国民健康保険事業費納付金				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		1,093,933 千円	1,094,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	56,325 千円	56,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	291,033 千円	291,000 千円
一般財源		746,575 千円	747,000 千円	

事務事業名				新規・継続	
保健衛生普及費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市国民健康保険事業特別会計・4保健事業費・1保健事業費・1保健衛生普及費				市民課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		5,213 千円	5,300 千円	5,300 千円
	特定 財源	国・県支出金	2,343 千円	2,300 千円	2,300 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	666 千円	670 千円	670 千円
一般財源		2,204 千円	2,330 千円	2,330 千円	
事務事業名				新規・継続	
人間ドック補助金(国保)				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市国民健康保険事業特別会計・4保健事業費・1保健事業費・2疾病予防費				市民課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		10,415 千円	10,500 千円	10,500 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		10,415 千円	10,500 千円	10,500 千円	
事務事業名				新規・継続	
公債費・諸支出金・予備費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市国民健康保険事業特別会計				市民課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		28,605 千円	29,000 千円	29,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	10 千円	10 千円	10 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		28,595 千円	28,990 千円	28,990 千円	
事務事業名				新規・継続	
一般管理等(後期)				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市後期高齢者医療特別会計				市民課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		527,053 千円	528,000 千円	528,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	139,362 千円	140,000 千円	140,000 千円
一般財源		387,691 千円	388,000 千円	388,000 千円	
事務事業名				新規・継続	
保健衛生総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・1保健衛生総務費				健康づくり課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		28,386 千円	28,288 千円	28,288 千円
	特定 財源	国・県支出金	245 千円	94 千円	94 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		28,141 千円	28,194 千円	28,194 千円	
事務事業名				新規・継続	
保健衛生総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・1保健衛生総務費				健康づくり課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		101,160 千円	101,520 千円	101,520 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		101,160 千円	101,520 千円	101,520 千円	

政策 3	一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
施策 3-2	誰もが安心できる福祉環境を整備します

所 管	厚生課
関 連	健康づくり課
関 連	高齢福祉課
関 連	子ども育成課
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

高齢世帯の増加や核家族化・少子化が急速に進展し、社会構造の変化・人口減少等により、地域コミュニティの持続性の低下や弱体化が懸念されている。また、複雑化している様々な社会的・経済的要因により、格差の拡大、生活困窮や住居確保、家族構成の多様化に対応する地域福祉課題は増加している。

このような状況のもと、住民間の支え合いの機運は幾分高まりつつあるが、民生児童委員など中心的担い手不足も課題となっている。

地域福祉を地域全体で支えていくためには、地域の各主体間の連携体制をより一層充実させると共に、地域住民一人ひとりが支援の必要な住民に寄り添う意識の醸成と、行政等による福祉環境の整備が必要である。

◆方針

目的
だれもが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で支え合う地域コミュニティの強化・充実を図ると共に、支援が必要となった場合の生活や福祉について、関連する庁内部課および関係機関、団体等が有機的に連携することで、安心して相談や支援を受けることのできる体制を整備し、社会的弱者や生活困窮者等の社会的自立に向けた支援を行う。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活困窮者や、また、日頃から支援が必要な方への支援体制を整備する。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

新型コロナウイルス感染症の拡大、自然災害時での民生児童委員の活動は、平常時の活動の延長であることを意識し、そのための知識習得の支援と情報提供を行い、委員間および関係機関、団体との連携体制を強化していく。

ひとり親、生活困窮者等の相談および生活保護申請に対し、各支援制度の活用を適正かつ迅速に実施し、被支援者の早期自立更生および必要な健康管理支援に取り組む。

また、支援制度の周知に努め、支援内容の充実とともに適正化を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①民生児童委員などの地域福祉の担い手や、区、地域住民、社会福祉協議会等、各種団体が連携を強化し、それぞれが活発に活動できる状態。
②生活困窮者、ひとり親等への自立支援が充実した状態。
③障がい者等、支援を必要としている住民を地域全体で支える意識の醸成と、地域体制、サービス体制が整備された状態。
④新型コロナウイルス等感染症が拡大した場合に対応する適切な支援体制が整備された状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	地域で支え合っていると感じている人の割合(市民意識調査)					
設定理由	目標である地域福祉の担い手や各団体の支援活動が活発に行われていれば、「地域で支え合っていると感じている人の割合」に反映されるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	44.2	計画	46	48	50	54
		実績				
指標名	小諸市生活就労支援センター(まいさぼ小諸)での自立相談計画の最終者数					
設定理由	まいさぼ小諸での自立支援計画が最終し、次のステップに移行できた人が多ければ生活困窮者の社会的自立支援が充実していることにつながるため。					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	11	計画	13	15	18	18
		実績				
指標名	障がいのある人への福祉サービスに対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	目標である障がい者等、支援を必要としている住民を地域で支える意識と地域体制、サービス体制が整備されていれば、福祉サービス満足度に反映されるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	46.8	計画	49	52	55	58
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・改選後の民生児童委員に対する相談支援の知識向上等の研修会を行い、地域住民に対する支援体制を整え、あわせて各種団体との連携を行う。
- ・民生児童委員の改選期の課題である、なり手不足解消に向け、関係機関等と連携する。
- ・まいさぼ、ハローワーク、就労支援員、ケースワーカーが緊密な連携により、自立に向けた支援を行う。
- ・障がい者等の重度化、高齢化による「親亡き後」に備え、地域で支える体制づくりを佐久圏域で進め、利用者ニーズの把握とサービス事業者との連携を引き続き行う。
- ・ウィルス感染症の拡大時における非接触型の地域支援のあり方について、地域の実情に照らし早期に関係機関等と検討する。
- ・児童発達支援センターの設置準備は、広域設置も視野に含めて、利用者ニーズや近隣施設の状況を引き続き研究していく。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

- ゴール1「貧困をなくそう」
国内の経済・雇用状況の変化や、家族構成、心身の障害または健康状態等により生活困窮の状況にある方に対して、福祉・医療・住居・就労等に関するサービス体制の連携により、あらゆる貧困状態から脱する支援を実施する。
- ゴール3「すべての人に健康と福祉を」
すべての市民が自分らしく、健康で豊かな生活ができるよう、障がい、生活困窮等にある方も、生き生きと生活できる福祉支援が行き届く体制を整備する。

◆個別計画

地域福祉計画・地域福祉活動計画／障がい者プラン(福祉行動計画)／障害福祉計画/障害児福祉計画

◆特記事項

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-2 誰もが安心できる福祉環境を整備します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
社会福祉総務費運営費		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・1社会福祉総務費		厚生課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員・児童委員(福祉委員)事務、小諸市民生児童(福祉)委員協議会の事務局運営 地域福祉の推進、青少年の犯罪・再犯防止の更生保護活動など、安心安全な街づくりを担う団体への財政的支援 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	38,012 千円	21,665 千円	21,665 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	7,399 千円	7,399 千円	7,399 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	20 千円	20 千円	20 千円	
	一般財源	30,593 千円	14,246 千円	14,246 千円	
目的	誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、住民に最も身近な民生児童委員活動の円滑な推進を確保する。また、地域全体で支え合う他地域コミュニティの強化・充実を図る域福祉増進に取り組む団体への支援を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員の相談支援に必要な知識及び技術の習得のため、各部会研修会や情報交換会(理事会・地区会)を開催するとともに、活動状況が市民に理解されるよう広報紙を定期的に発行する。 社会福祉法第107条に定める「地域福祉計画」の進行管理をする。 建物総合管理計画に基づき、適切に施設を管理する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	民生児童委員の訪問回数	回	20,000	20,000	20,000
	協議会全体、高齢者福祉部会、児童福祉部会による研修会の開催回数	回	3	3	3
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 27年12月北佐久地区更生保護サポートセンター設置(小諸市与良6-5-4)(旧福祉サービスステーション) 30年度より活動指標No1を「理事会・地区会の民生児童委員出席率」から変更した。 31年度より厚生諸費運営費事業を統合。 R01年度に地域福祉計画を策定。 				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
総合福祉センター運営費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・1社会福祉総務費		厚生課	1:無		
事業概要	市民福祉の向上を総合的に推進する拠点として活用する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	505 千円	505 千円	505 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	505 千円	505 千円	505 千円	
目的	地域福祉、高齢者福祉及び障がい者福祉等に関する市の事業を実施する拠点として運営する。				
令和3年度の目標					
市が小諸市社会福祉協議会に事業委託する生活困窮者自立相談支援事業等と、社協が行う各種福祉事業とが相互連携・補完しながら、地域福祉、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉の拠点として一層の福祉サービスを充実させる。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	会議室等利用率	%	100	100	100
特記事項					

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-2 誰もが安心できる福祉環境を整備します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
自立相談支援事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・1社会福祉費・1社会福祉総務費		厚生課	1:無			
事業概要	生活困窮者自立支援法により、生活保護に至る前段での自立支援策を強化するもので、生活困窮者の様々な課題に一元的に対応し、的確な評価・分析に基づいて支援計画を策定し、関係機関との調整などを行う。 住居確保給付金は、離職により住居を喪失、又はそのおそれの高い困窮者に対し家賃相当額を支給。就労準備支援は、直ちに一般就労への移行が困難な困窮者に対し、多面的な就労訓練を支援する。家計改善支援は債務問題等により家計に課題のある困窮者に対し、解決支援をする。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	30,623 千円	30,623 千円	30,623 千円		
	特定財源	国・県支出金	21,768 千円	21,768 千円	21,768 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	8,855 千円	8,855 千円	8,855 千円	
目的	生活困窮者の自立意識を保持し、安定した生活と就労ができるよう支援する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・必須事業である自立相談支援事業と、任意事業である家計改善支援事業、就労準備支援事業を効果的に組み合わせる。 ・事業委託先の支援担当者の専門的知識、相談技術の向上を図る。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	自立支援計画が終了した者の数	人	15	18	18	
特記事項	30年度から活動指標を「自立支援計画が終了した者の割合」から変更した。					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
障害者援護費運営費		継続	-			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・1社会福祉費・3心身障害者援護費		厚生課	1:無			
事業概要	・障がい者福祉、難病患者等支援、医療費給付全般の事務的経費					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	1,593 千円	1,593 千円	1,593 千円		
	特定財源	国・県支出金	348 千円	348 千円	348 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,245 千円	1,245 千円	1,245 千円	
目的	・各種事業に必要な消耗品の調達等					
令和3年度の目標						
各事業が適正かつ円滑に実施されるよう必要な調達等を行い、適正な事業運営に努める。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	福祉有償運送運営協議会の開催回数	回	1	1	1	
特記事項	障害者計画等審議会の開催回数	回	1	1	1	
	令和元年度から活動指標を追加					

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-2 誰もが安心できる福祉環境を整備します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
障害者地域生活支援事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・3心身障害者援護費		厚生課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・者の社会参加を促進するためのコミュニケーション、外出、見守り等に対する支援の提供 障がい児・者の日常生活に必要な用具の給付 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	51,385 千円	51,385 千円	51,385 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	21,000 千円	21,000 千円	21,000 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	30,385 千円	30,385 千円	30,385 千円	
目的	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・者が自立した社会生活や日常生活を営むことができるよう各種サービスを提供する。 				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援センターを運営し、障がいのある人もない人も共に助け合える繋がりのできる場を提供する。 障がい児・者が地域での日常生活や社会生活を安心して生きがいを持って営めるよう支援する。 障がい児・者が地域で安心して暮らせるよう佐久圏域で実施する地域生活支援拠点等整備事業を引き続き推進する。 障がい児・者のニーズに応じた、地域生活支援事業を給付する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	日中一時支援事業利用者数	人	100	100	100
	地域活動支援センター利用者数	人	30	30	30
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
障害者福祉医療等給付事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・3心身障害者援護費		厚生課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者、母子・父子家庭、乳幼児・児童に対する医療費の給付 障がい児・者に対する各種手当の給付 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	260,126 千円	258,627 千円	258,627 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	90,079 千円	90,079 千円	90,079 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	600 千円	600 千円	600 千円	
	一般財源	169,447 千円	167,948 千円	167,948 千円	
目的	福祉増進を図るため、医療費の給付による負担軽減を行い、適切な医療受診を促す。				
令和3年度の目標					
高校3年生までの子どもについて、現物給付方式による医療費給付を行い、医療費支払の負担軽減を図る。 障がい者・母子父子の母・父について、自動給付方式による医療費給付を行い、医療費負担の軽減を図る。 福祉医療制度の継続のため、広報等で制度内容の周知とあわせて適正受診の啓発をする。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	福祉医療制度周知のための広報誌への記事掲載	回	1	1	1
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年8月診療分から高校3年生までの子どもの福祉医療費について、現物給付方式による給付を開始。 令和元年度から、活動指標を「受給対象者に対する給付率」から「福祉医療制度周知のための広報誌への記事掲載」に修正 				

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-2 誰もが安心できる福祉環境を整備します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
障害者援助事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・1社会福祉費・3心身障害者援護費		厚生課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児・者及びその介護者に対し居住環境や日常生活に関するサービスの提供 ・障がい児・者に対する各種手当の給付 ・障がい児・者関係団体に対する支援 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	24,602 千円	24,602 千円	24,602 千円		
	特定財源	国・県支出金	14,974 千円	14,974 千円	14,974 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	9,628 千円	9,628 千円	9,628 千円	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉の向上を図るため、障がい児・者に対し各種手当を給付するとともに、介護者の負担軽減や関係団体に対する活動支援等を行う。 					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児・者の介護者に対する経済的支援を実施し、負担を軽減する。 ・障がい児・者の負担軽減として、法に基づき各種手当を給付する。 ・関係団体を支援し、障がい児・者への理解を深めるための協働体制の維持発展に努める。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	障がい福祉サービス(タイムケア)の利用時間	時間	2,900	2,900	2,900	
特記事項	令和2年度に特別障害者手当、障害児福祉手当、重度障がい児年金を障害者福祉医療等給付事業から移行					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
障害者総合支援給付事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・1社会福祉費・3心身障害者援護費		厚生課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法に基づく障がい児・者への障害福祉サービスの提供 ・障害者総合支援法に基づく補装具、医療費等の給付 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	998,829 千円	998,829 千円	998,829 千円		
	特定財源	国・県支出金	744,471 千円	744,471 千円	744,471 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	254,358 千円	254,358 千円	254,358 千円	
目的	障がいのある人々が地域で自立した生活をするために必要となるサービスを一元的に提供する					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児・者が地域で自立した生活が送れるよう、佐久圏域で実施する地域生活支援拠点等整備を引き続き推進する。 ・小諸市障がい福祉事業所等連絡会等と連携し、様々なニーズに対応した必要なサービスが提供されるよう環境の整備に引き続き努める。 ・身体機能を補完する補装具支給や障がいを除去、改善するための医療給付を実施する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	障害福祉サービス(居宅介護)利用者数	人	60	60	60	
	障害児通所支援(児童発達支援)利用者数	人	35	35	35	
特記事項						

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-2 誰もが安心できる福祉環境を整備します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
社会事業授産施設事業費運営費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・4社会事業授産施設事業費		厚生課	1:無		
事業概要	<p>・生活困窮者(要保護者・準要保護者)と心身障がい者(精神障がい者・知的障がい者・身体障がい者)等への就労の場の提供</p> <p>・一般就労に向けての自立助長訓練、自立支援も提供する。</p>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,450 千円	2,450 千円	2,450 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,450 千円	2,450 千円	2,450 千円		
目的	生活困窮者及び心身障がい者等の社会的・経済的な自立を促進するため、就労や技能習得の機会等を提供し、経済的な保護を行う。				
令和3年度の目標					
<p>・指定管理者のノウハウによる企業開拓、自主製品の発案・製品化により作業員賃金を向上させ、利用者の経済的自立を促進する。</p> <p>・事業経営の収支状況により、指定管理委託料を算定する。</p>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	利用者数	人	50	50	50
特記事項	28年度から活動指標を見直した。 30年度から活動指標を「指定管理料」から見直した。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
ひとり親福祉事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・2ひとり親福祉費		厚生課	1:無		
事業概要	<p>ひとり親家庭(母子・父子)等の、児童の健全な育成を図るため、母子・父子自立支援員を配置して、自立支援等の相談業務を行う。</p> <p>女性相談員を配置し、DV等女性に関わる相談業務を行う。</p> <p>国で定められた要件により、所得等に応じた児童扶養手当の支給を行う。</p>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	218,494 千円	218,494 千円	218,494 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	75,962 千円	75,962 千円	75,962 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	300 千円	300 千円	300 千円		
一般財源	142,232 千円	142,232 千円	142,232 千円		
目的	ひとり親家庭は、児童の養育や健康に不安を抱えている場合が多く、就労先の確保など経済的に困難な状況がある。就労や生活面での相談業務を行い、必要な支援をすることにより自立の助長に努める。				
令和3年度の目標					
<p>相談事業の充実に努め、不安等について解消できるよう支援する。</p> <p>保健師、ハローワーク、警察、児童相談所等関係機関と連携を密にし総合的に支援を行う。</p> <p>ひとり親の生活向上に向けた支援の充実に努める。</p> <p>ひとり親相談、女性相談ともに多様化、複雑化している。様々な相談に対応すべく、研修会等へ積極的に参加し専門的な知識を深める。</p>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相談件数に対する年度内終結の割合	%	80	80	80
特記事項	・令和元年度より活動指標を「それぞれの相談内容に対する支援や制度、機関等の紹介」から「相談件数に対する年度内終結の割合」に修正				

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-2 誰もが安心できる福祉環境を整備します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
児童発達支援事業運営費		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・4児童発達支援事業費		厚生課	1:無		
事業概要	・児童発達支援施設「ひまわり園」の運営(児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	6,365 千円	6,200 千円	6,365 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	6,365 千円	6,200 千円	6,365 千円		
目的	発達に遅れや心配のある児童に対し訓練等の支援を行うとともに、安心して過ごせる場所を提供する。保護者に対する育児支援等を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者との連携により児童発達支援事業や放課後等デイサービス事業等を実施し、療育の充実を図る。 ・児童発達支援センターの設置準備を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	発達支援、放課後等デイサービス等を必要とする児童の実利用者数	人	40	40	40
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
生活保護適正実施推進事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・4生活保護費・1生活保護総務費		厚生課	1:無		
事業概要	・国の補助金を活用したレセプト点検、扶養義務調査、関係職員等研修、生活保護システムの活用等。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	7,357 千円	7,357 千円	7,357 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	134 千円	134 千円	134 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	7,223 千円	7,223 千円	7,223 千円		
目的	生活保護の適正な運営を確保するため、レセプト点検、扶養義務調査、生活保護システムの活用等を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・専門業者によるレセプト点検を実施し医療扶助費の適正化を図る。 ・生活保護システムを活用し、効率的な事務処理を実施する。 ・必須事業となる健康管理支援事業を実施する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ジェネリック医薬品の使用割合	%	85	85	85
特記事項	毎年度、「生活保護業務実施方針及び事業計画」を策定し、生活保護業務を実施。30年度より、活動指標(アウトプット)を「レセプト点検の実施率」から「ジェネリック医薬品の使用割合」に変更した。				

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-2 誰もが安心できる福祉環境を整備します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
生活保護受給者就労支援事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・4生活保護費・1生活保護総務費		厚生課	1:無		
事業概要	<p>・就労能力はあるが就労にあたってのサポートが必要な生活保護受給者等に対して、就労支援員を配置し、ハローワーク等関係機関と連携しながら就労に向けた支援を行う。</p>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,823 千円	1,823 千円	1,823 千円	
	特定財源 国・県支出金	1,367 千円	1,367 千円	1,367 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	456 千円	456 千円	456 千円		
目的	<p>生活保護受給者等の経済的・社会的自立の促進を図るため、就労支援員が支援を必要とする生活保護受給者等に対して専門的な見地から就労支援を行う。</p>				
令和3年度の目標					
<p>・専門の就労支援員を配置し、支援が必要な生活保護受給者等に対して早期就労の喚起と適切な就労支援を行う。 ・直ちに一般就労が困難と思われる被保護者については、生活困窮者就労準備支援事業を取り組む(自立相談支援事業)。</p>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	就労可能な稼働年齢者のうち就労した者の割合	%	30	30	30
特記事項	<p>毎年度、「生活保護業務実施方針及び事業計画」を策定し、生活保護業務を実施。</p>				

事務事業名				新規・継続	
行旅扶助厚生費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・1社会福祉費・1社会福祉総務費				厚生課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		228 千円	228 千円	228 千円
	特定 財源	国・県支出金	176 千円	176 千円	176 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		52 千円	52 千円	52 千円	
事務事業名				新規・継続	
生活保護総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・4生活保護費・1生活保護総務費				厚生課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		4,577 千円	4,577 千円	4,577 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		4,577 千円	4,577 千円	4,577 千円	
事務事業名				新規・継続	
生活保護総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・4生活保護費・1生活保護総務費				厚生課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		44,154 千円	44,154 千円	44,154 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		44,154 千円	44,154 千円	44,154 千円	
事務事業名				新規・継続	
生活保護等扶助費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・4生活保護費・2扶助費				厚生課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		448,803 千円	448,803 千円	448,803 千円
	特定 財源	国・県支出金	341,601 千円	341,601 千円	341,601 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	2,100 千円	2,100 千円	2,100 千円
一般財源		105,102 千円	105,102 千円	105,102 千円	
事務事業名				新規・継続	
災害救助費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・5災害救助費・1災害救助費				厚生課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		2,700 千円	2,700 千円	2,700 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円
一般財源		200 千円	200 千円	200 千円	
事務事業名				新規・継続	
社会福祉総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・1社会福祉費・1社会福祉総務費				厚生課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		80,206 千円	80,206 千円	80,206 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		80,206 千円	80,206 千円	80,206 千円	
事務事業名				新規・継続	
児童手当				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・3児童福祉費・1児童福祉総務費				厚生課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		632,133 千円	625,812 千円	619,554 千円
	特定 財源	国・県支出金	534,680 千円	529,334 千円	524,042 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	70 千円	0 千円	0 千円
一般財源		97,383 千円	96,478 千円	95,512 千円	

政策 3	一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
施策 3-3	高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

所 管	高齢福祉課
関 連	厚生課
関 連	健康づくり課
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

高齢者人口は年々増加し、高齢化率は32%を超え、まもなく市民の3人に1人は高齢者となる。さらに、団塊の世代が2025年には後期高齢者となり、介護サービスを必要とする高齢者が増加することは必至である。
 介護職等の専門職については慢性的な人員不足が続き、今後も人員不足の解消は見込まれない状況の中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築していくと同時に、介護予防事業を充実させ、年々増加していく介護給付サービス費を抑え介護保険制度を持続可能な制度としていかなければならない。

◆方針

目的
<p>高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できる地域づくりを推進するため、小諸北佐久医療・介護連携推進協議会、地域ケア会議などの開催により多職種の連携強化を図る。</p> <p>また、高齢に伴う外出機会の減少に加え、新型コロナウイルス感染症による外出制限などにより、社会参加の場が減少し、心身の機能が低下する「フレイル」(虚弱)が心配されるため、各種健康教室や専門職による訪問指導の実施、各地区で行われる介護予防事業の支援など、要介護者の増加を抑えるための事業を進め、健康寿命の延伸を図る。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

第9期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステムを推進し、高齢者を支える地域のネットワーク構築のための事業を進める。
 健康教室の開催及び各地区で行われる介護予防事業の支援、フレイル(虚弱)の要因である低栄養、口腔機能や運動機能の低下のリスクのある高齢者を中心に保健指導を実施し、要介護状態になることの予防に取り組む。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①支え合いの充実により、安心して地域で生活できる高齢者が増えた状態。</p> <p>②介護予防事業、各種健康教室などの充実により健康な高齢者を増やし、そのことにより、介護給付サービス費の増加を抑制し、介護保険制度を持続可能なものとしていく状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	介護申請(65歳以上)の初回申請平均年齢						
設定理由	介護予防の充実により、初回介護申請の平均年齢を維持する。						
算式						単位	歳
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	男性83.6 女性85.1	計画	男性83.6以上 女性85.1以上	男性83.6以上 女性85.1以上	男性83.6以上 女性85.1以上	男性83.6以上 女性85.1以上	
		実績					
指標名	要介護認定率						
設定理由	介護予防事業が充実すると、高齢者人口に対する要介護者(要支援1～要介護5)の割合が増えないから。						
算式	要介護認定者数(支援含)／高齢者人口					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	13.2	計画	13.2以内	13.2以内	13.2以内	13.2以内	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<p>①健康教室・フレイル予防のための訪問指導を継続するとともに、特に後期高齢者においても健康づくり・生活習慣病の重症化予防を推進し、要介護状態になることを防ぐ。</p> <p>②各地区で行われる介護予防事業への支援、また、広報こもろへ介護予防に関する記事を掲載していく。</p> <p>③地域ケア会議、小諸北佐久医療・介護連携推進協議会、在宅サービス調整会議等の開催に加え、生活支援コーディネーターと協議体を活用し、地域包括ケアシステムの推進に取り組む。</p>
--

◆SDGsの推進に向けた取り組み

<p>ゴール3「すべての人に健康と福祉を」 高齢者の生きがいづくりのための支援や介護予防事業の実施により、健康な高齢者を増やす。</p> <p>ゴール11「住み続けられるまちづくりを」 在宅医療・介護の連携、支援を必要とする高齢者及び認知症高齢者やその家族の支援など支え合う地域づくりを推進し、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整備する。</p>

◆個別計画

地域福祉計画・地域福祉活動計画／高齢者福祉計画・介護保険事業計画

◆特記事項

--

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高齢福祉総務費運営費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・1高齢福祉総務費		高齢福祉課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市高齢者福祉事業及び介護保険事業等運営協議会の運営 ・研修による職員の福祉的資質の向上 ・その他高齢福祉課に係る総務事務 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,005 千円	405 千円	405 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	300 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	705 千円	405 千円	405 千円	
目的	高齢者を保健・医療・福祉が連携し地域全体で支える「地域包括ケアシステム」を推進する。				
令和3年度の目標					
高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステム構築のための事業を推進する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸市高齢者福祉事業及び介護保険事業等運営協議会の開催	回	3	3	3
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高齢者保護支援費		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・2高齢福祉費		高齢福祉課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的及び環境上の理由から在宅生活が困難な高齢者の老人ホーム入所対応を行う ・災害時等要援護者支援制度の実施や、災害時における介護保険事業者との連携体制の整備 ・高齢者等見守り事業所登録の推進 ・行方不明高齢者発生時の捜索対応(捜索活動、FAX・メール配信等情報発信) 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	88,448 千円	88,448 千円	88,448 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	16,380 千円	16,380 千円	16,380 千円	
	一般財源	72,068 千円	72,068 千円	72,068 千円	
目的	在宅生活が困難な高齢者が安心して生活できるよう、老人ホーム入所の措置や入所施設の確保を行う。また災害時や緊急時における高齢者等の要援護者に対する支援基盤の整備を推進する。高齢者の地域での見守り体制を確立する。				
令和3年度の目標					
老人福祉法による措置等必要な対応をする。また、災害時等要援護者の新規登録や登録情報の更新、それに伴うあんしんカプセル内の情報の入れ替えを行う。民生委員や区、社協および庁内関係部署(障害者支援、防災)等の支援機関と情報を共有し、要援護者の支援体制整備を進める。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	災害時等要援護者台帳登録率	%	70	70	70
	養護老人ホームの受入数	人	39	39	39
特記事項					

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
在宅福祉サービス事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・2高齢福祉費		高齢福祉課	1:無		
事業概要	介護保険によらない高齢者の在宅福祉支援のための事業 ・養護老人ホーム短期宿泊事業・友愛訪問事業 ・独り暮らし安心コール事業・軽度援助事業・日常生活用具給付事業・訪問理美容事業 ・社会福祉法人等介護サービス利用者負担軽減事業・介護保険利用者負担援護金給付事業 ・重度要介護高齢者家庭介護慰労金				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	10,486 千円	10,486 千円	10,486 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	416 千円	416 千円	416 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	245 千円	245 千円	245 千円	
	一般財源	9,825 千円	9,825 千円	9,825 千円	
目的	高齢者の自立に必要な福祉サービスを整備し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活続けることができるよう支援する。				
令和3年度の目標					
地域包括ケアシステムの構築の一環として、高齢者のニーズにあった多様な生活支援サービスをボランティアや事業者等の多様な主体で提供する体制の整備を進める。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	養護老人ホーム短期宿泊事業利用申請受け入れ率	%	100	100	100
特記事項	R2年度をもって見守り配食サービス事業、日常生活用具給付事業(火災報知器、消火器)は終了。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
介護予防事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・2高齢福祉費		高齢福祉課	1:無		
事業概要	高齢者の運動機能や栄養状態の改善、閉じこもりやうつ、認知症予防等を目的に、介護予防教室をはじめとした介護予防事業を実施する。(介護保険事業特別会計の一般介護予防事業とあわせて実施)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	4,799 千円	4,799 千円	4,799 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	4,000 千円	924 千円	924 千円	
	一般財源	799 千円	3,875 千円	3,875 千円	
目的	介護予防の推進により、地域の中で高齢者が個々の心身の状況に合った自分らしい生活を、自立して送れるよう支援する。その結果として健康寿命の延伸、及び要介護者の増加や重度化を抑制する。				
令和3年度の目標					
引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に留意しながら地域の通いの場の開催・新規参加者の増加に努める。また、後期高齢者を対象に、フレイル(虚弱)のリスクのある方への個別相談・指導を実施するとともに、地域の通いの場においても専門職がフレイル予防の啓発・フレイル状態にある高齢者を把握し保健指導を行い、要介護状態になることを予防する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	フレイル介入群の下腿周囲径の維持改善率	%	80	80	80
特記事項	介護予防事業は、本事業および介護保険事業特別会計の一般介護予防事業と合わせて実施している。指標は体重の維持改善率から下腿周囲径の維持改善率に変更。体重はフレイルの指標として使用されるが、季節変動が大きく、また生来の体形により改善が難しい場合が多い。下腿周囲径はフレイルの原因である加齢に伴う筋肉量の減少を示す指標として使用されており、より具体的な指標に変更した。				

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
生きがい対策支援事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・2高齢福祉費		高齢福祉課	1:無		
事業概要	介護保険によらない高齢者の生きがい支援のための事業 ・高齢者福祉センターの運営 ・高齢者クラブの補助及び育成 ・シルバー人材センター補助 ・高齢者祝い金等を交付				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	25,549 千円	25,549 千円	25,549 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	926 千円	926 千円	926 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	24,623 千円	24,623 千円	24,623 千円	
目的	高齢者が生きがいを持って生活するために、自らコミュニケーションを図り社会参加することを促進する。				
令和3年度の目標					
高齢者が生きがいを持って生活できるよう各種支援を実施する。併せてシルバー人材センターや高齢者クラブ等の活動が、高齢者の生活を支援する多様なサービスへとつながり、介護予防や日常の高齢者の生活支援体制の充実へ展開を図る。また、本人自身や家族などの支える人が長寿を喜ぶことができるよう市民への意識啓発を進める。複合型中心拠点誘導施設内に設置する高齢者福祉センターについて、開館後の利用の促進に努める。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	高齢者福祉センター利用者数	人	22,000	25,000	25,000
特記事項	・活動指標「高齢者福祉センター利用者数」について、直近の利用実態により、R元年度以降の目標数を変更 ・R2年度をもって高齢者タクシー利用助成事業は終了				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
賦課徴収費運営費		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市介護保険事業特別会計・1総務費・2徴収費・1賦課徴収費		高齢福祉課	1:無		
事業概要	介護保険法に基づく介護保険事業の運営のための介護保険料賦課徴収運営費 ・普通徴収保険料徴収及び制度説明員 1名				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,806 千円	3,806 千円	3,806 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	3,806 千円	3,806 千円	3,806 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	介護や日常の支援が必要な高齢者が、自身が持つ心身の能力を活かし自立した日常生活を営めるよう、必要な福祉サービス及び保健医療サービスを一体的に提供するために、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険料等を財源として、介護保険事業を適正に運営する。				
令和3年度の目標					
介護保険制度の仕組みと介護保険料の納付の必要性を理解してもらうよう広報等により市民周知を図る。未納者へは、徴収員による自宅訪問、催告書等により早期に対応するよう努める。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	介護保険料収納率	%	99	99	99
特記事項					

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
一般介護予防事業		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
小諸市介護保険事業特別会計・4地域支援事業費・3一般介護予防事業費・1一般介護予防事業費		高齢福祉課		2:有		
事業概要	高齢者が要介護状態等となることの予防及び生活機能の改善や向上を図ることにより、家庭や社会へ役割を持って参加することができるようになり、また、その改善した状態を維持できるような取り組みを進める。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	23,304 千円	23,304 千円	23,304 千円		
	特定財源	国・県支出金	13,200 千円	13,200 千円	13,200 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	9,205 千円	9,205 千円	9,205 千円	
一般財源	899 千円	899 千円	899 千円			
目的	高齢者が要介護状態となることを予防し要介護状態の軽減及び悪化の防止を図る。また、地域での通いの場を充実させ、高齢者の社会参加を促す。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室や地域の通いの場において、参加者に地域での支え合いの大切さと介護予防の重要性を啓発する。 ・地域の通いの場において新規参加者増に努める。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	住民主体の通いの場(地域交流事業)への参加者数	人	17,900	18,000	18,100	
特記事項	地域における通いの場の開催回数	回	1,650	1,650	1,650	
	一般会計の「介護予防事業」とあわせて実施。活動指標「1住民主体の通いの場への参加者数」についてH30年度は実人数としたが、正確な把握が困難なためR元年度は延べ人数とした。また「2地域における通いの場の開催回数」は、計画値を変更した。					
事務事業名		新規・継続		施策内順位		
包括的支援事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
小諸市介護保険事業特別会計・4地域支援事業費・1包括的支援・任意事業費・1包括的支援事業費		高齢福祉課		1:無		
事業概要	介護保険法に基づく介護保険事業の地域支援事業包括的支援事業の 1総合相談事業 2権利擁護事業 3包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 地域包括支援センターへ業務委託					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	60,872 千円	60,872 千円	60,872 千円		
	特定財源	国・県支出金	36,788 千円	36,788 千円	36,788 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	11,716 千円	11,716 千円	11,716 千円	
一般財源	12,368 千円	12,368 千円	12,368 千円			
目的	介護や日常の支援が必要な高齢者が、自身が持つ心身の能力を活かし自立した日常生活を営めるよう、必要な福祉サービス及び保健医療サービスを一体的に提供するために、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険料等を財源として、介護保険事業を適正に運営する。					
令和3年度の目標						
市と地域包括支援センターが連携し、包括的支援事業の適正な執行に努める。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
特記事項						

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
任意事業		継続	-			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
小諸市介護保険事業特別会計・4地域支援事業費・1包括的支援・任意事業費・2任意事業費		高齢福祉課	1:無			
事業概要	介護保険法に基づく介護保険事業の地域支援事業任意事業 (1)介護相談員派遣事業…入所施設への介護相談員派遣 (2)介護家族支援事業…在宅要介護高齢者介護用品支給、介護者家族のつらい (3)介護給付費適正化事業…ケアプラン点検、介護給付費通知 (4)成年後見制度利用支援事業					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	2,377 千円	2,377 千円	2,377 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,368 千円	1,368 千円	1,368 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	455 千円	455 千円	455 千円	
一般財源	554 千円	554 千円	554 千円			
目的	介護や日常の支援が必要となった高齢者が、その人が持つ心身の能力を活かし自立した日常生活を営めるよう、必要な福祉サービス及び保健医療サービスを一体的に提供するために、介護保険料及び公費を財源として、介護保険事業の適正な運営を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・介護相談派遣事業を継続実施。 ・ケアプラン点検を継続実施。 ・成年後見制度利用支援事業は必要時適正に利用する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
特記事項	重度要介護高齢者家庭介護者慰労金及び友愛訪問は、R元年度より一般会計に移行。					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
新包括的支援事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
小諸市介護保険事業特別会計・4地域支援事業費・1包括的支援・任意事業費・3新包括的支援事業費		高齢福祉課	2:有			
事業概要	支援が必要な高齢者の生活を身近な地域で支えるため、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援のサービスを一体的に提供する仕組みである「地域包括ケアシステム」のさらなる推進に向けた取り組みを進める。 ・在宅医療・介護連携推進事業 ・認知症総合支援事業 ・生活支援体制整備事業 ・地域ケア会議推進事業					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	18,505 千円	18,505 千円	18,505 千円		
	特定財源	国・県支出金	11,176 千円	11,176 千円	11,176 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	3,561 千円	3,561 千円	3,561 千円	
一般財源	3,768 千円	3,768 千円	3,768 千円			
目的	高齢者の尊厳の保持と自立した生活の支援をすすめ、介護を必要とする状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにする。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・人生の最終段階における医療・ケアについて本人や家族が意思決定できるよう、あらゆる機会を通じてACP(アドバンスケアプランニング)について啓発する。 ・認知症の理解を広めるため、講演会の開催や認知症ガイドブック・認知症ケアパス等を活用し相談を行う。 ・生活支援体制整備事業では、第2層(中学校区)協議体において地域の関係機関の参画によるネットワークの構築を進める。 ・地域ケア推進会議にて地域課題を継続的に検討する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
特記事項	認知症サポーター登録数	人	2,400	2,500	2,600	
	在宅医療情報共有システムの登録事業所数	事業所	40	40	40	
地域ケア個別会議の開催回数の指標を削除。件数としては伸びない(H30 5件、R元 4件)が、個別課題がこれまでの会議実績の中で抽出されたものと共通する内容もあり、さらに日常的に支援関係者間のネットワーク構築のための相談・会議件数は年々増加して支援者間の連携や課題の認識が把握できている(H30 47人、R元 74人)ことから、地域ケア個別会議回数の増加が指標としては適切ではないと判断。						

政策 3 一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち
 施策 3-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します

事務事業名		新規・継続		施策内順位	
介護予防・生活支援サービス事業		継続		-	
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項	
小諸市介護保険事業特別会計・4地域支援事業費・2介護予防・生活支援サービス事業費・1介護予防・生活支援サービス事業費		高齢福祉課		1:無	
事業概要	介護保険法に基づく介護保険事業の地域支援事業の総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)サービス費用				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	83,307 千円	83,307 千円	83,307 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	34,314 千円	34,314 千円	34,314 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	32,903 千円	32,903 千円	32,903 千円		
一般財源	16,090 千円	16,090 千円	16,090 千円		
目的	軽度の介護や日常の支援が必要な高齢者の状態悪化を予防し、その人が持つ心身の能力を活かし自立した日常生活を営めるよう、国民の共同連帯の理念に基づき、介護保険料及び公費を財源として総合事業の適正な運営を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・サービスC事業を継続する。 ・住民主体による通所型サービスの構築(通所型サービスB:住民ボランティア主体で高齢者の通いの場を設け、体操等の活動を行うサービス) 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	サービスCの延べ終了者数	人	70	90	110
特記事項	介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスCは、H30年度から実施(H30年度 10人、R元年度 19人)				

事務事業名				新規・継続	
社会福祉施設建設工事等助成事業				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・2高齢福祉費				高齢福祉課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	28,338 千円	1,170 千円	1,122 千円
		国・県支出金	27,120 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	1,218 千円	1,170 千円	1,122 千円	
事務事業名				新規・継続	
介護保険事業特別会計繰出金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・2高齢福祉費				高齢福祉課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	633,487 千円	633,487 千円	633,487 千円
		国・県支出金	39,156 千円	39,156 千円	39,156 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	594,331 千円	594,331 千円	594,331 千円	
事務事業名				新規・継続	
一般管理費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・1総務費・1総務管理費・1一般管理費				高齢福祉課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	13,326 千円	13,326 千円	13,326 千円
		国・県支出金	1,513 千円	1,513 千円	1,513 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	11,813 千円	11,813 千円	11,813 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
一般管理費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・1総務費・1総務管理費・1一般管理費				高齢福祉課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	50,405 千円	50,405 千円	50,405 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	50,405 千円	50,405 千円	50,405 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
介護認定審査会費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・1総務費・3介護認定審査会費・1介護認定審査会費				高齢福祉課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	15,657 千円	15,657 千円	15,657 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	15,657 千円	15,657 千円	15,657 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
認定調査費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・1総務費・3介護認定審査会費・2認定調査費				高齢福祉課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	22,561 千円	22,561 千円	22,561 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	22,561 千円	22,561 千円	22,561 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
介護保険支払準備基金積立金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・3基金積立金・1基金積立金・1介護保険支払準備基金積立金				高齢福祉課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	324 千円	50 千円	50 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	324 千円	50 千円	50 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	

事務事業名				新規・継続	
過年度第1号被保険者保険料還付金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・5諸支出金・1償還金及び還付加算金・1第1号被保険者保険料還付金				高齢福祉課	
投入 指標	特定 財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	580 千円	580 千円	580 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	580 千円	580 千円	580 千円	
事務事業名				新規・継続	
予備費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・6予備費・1予備費・1予備費				高齢福祉課	
投入 指標	特定 財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	17,797 千円	17,797 千円	17,797 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	17,797 千円	17,797 千円	17,797 千円	
事務事業名				新規・継続	
保険給付費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・2保険給付費・1保険給付費・1介護サービス等諸費				高齢福祉課	
投入 指標	特定 財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	3,580,000 千円	3,580,000 千円	3,580,000 千円
		国・県支出金	1,340,217 千円	1,340,217 千円	1,340,217 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	1,473,975 千円	1,473,975 千円	1,473,975 千円	
	一般財源	765,808 千円	765,808 千円	765,808 千円	
事務事業名				新規・継続	
過年度国県等支出金返納金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・5諸支出金・1償還金及び還付加算金・2国県等支出金返納金				高齢福祉課	
投入 指標	特定 財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	120 千円	120 千円	120 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	120 千円	120 千円	120 千円	
事務事業名				新規・継続	
高齢福祉総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・2高齢福祉費・1高齢福祉総務費				高齢福祉課	
投入 指標	特定 財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	33,554 千円	36,630 千円	36,630 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	5,800 千円	8,876 千円	8,876 千円	
	一般財源	27,754 千円	27,754 千円	27,754 千円	
事務事業名				新規・継続	
新包括的支援事業費給与費				新規	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市介護保険事業特別会計・4地域支援事業費・1包括的支援・任意事業費・3新包括的支援事業費				高齢福祉課	
投入 指標	特定 財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	7,059 千円	7,059 千円	7,059 千円
		国・県支出金	4,075 千円	4,075 千円	4,075 千円
		地方債	0 千円	0 千円	1,358 千円
	その他	1,358 千円	1,358 千円	0 千円	
	一般財源	1,626 千円	1,626 千円	1,626 千円	

実施計画書 兼 事業説明書

【政策4：産業・交流】

地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち

【施策4-1】 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

【施策4-2】 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

【施策4-3】 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

◆ミッション

豊かな暮らしを創出するため、「稼ぐ力」を意識した戦略的な産業振興策を展開し、移住・定住促進策と併せ、魅力ある「商都・農都・住都 小諸」を創る強い推進力とし、人口減少対策につなげる。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に人々の意識や社会のシステムが大きく変革し、新たな局面に入ったことを強く意識して政策を進める。

- ◎農と食のブランド化を推進し、農業の生産性向上を進めることで、農家の所得向上を図る。
- ◎地域の強みを活かした企業誘致を積極的に推進し、既存企業・事業者、新規起業者への支援を強化する。
- ◎こもろ観光局と連携し、観光地域づくりと懐古園の魅力アップを図る。
- ◎人口減少に歯止めをかけるため移住・定住を促進する。
- ◎新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済の回復を図る。

◆方 針

◎農と食のブランド化を推進し、農業の生産性向上を進めることで、農家の所得向上を図る。
小諸市の歴史・文化・風土を活かした農と食のブランド化による農産物の高付加価値化を推進するとともに、生産性向上のための農地の利用集積や基盤整備を進めることで、農家の所得向上を図る。そして、魅力ある農業、稼げる農業となることで、農家の経営安定と新規就農者の増加や、荒廃地の解消を目指す。

◎地域の強みを活かした企業誘致を積極的に推進し、既存企業・事業者、新規起業者への支援を強化する。
小諸市の立地特性と新型コロナウイルス感染症の影響による企業の新たなニーズを踏まえる中で、小諸としての強みを活かした企業誘致を積極的に推進する。また、既存企業・事業者に対しては生産性の向上や経営・資金面での支援を行うとともに、新たな起業チャレンジへの支援を商工会議所と連携して進める。

◎こもろ観光局と連携し、観光地域づくりと懐古園の魅力アップを図る。
こもろ観光局と密接に連携・協力し、小諸の自然や歴史・文化を活かした効果的なプロモーションを展開するとともに、地域の魅力を掘り起こし、市全体で来訪者を受け入れる「観光による地域づくり」に取り組み、インバウンドも含めた交流人口の増加を目指す。また、動物園再整備などにより入園者が減少している懐古園の魅力アップを進め、入園者の増加を目指す。

◎人口減少に歯止めをかけるため移住・定住を促進する。
引き続き、空き家バンクの充実や移住相談会の開催、民間宅地開発の誘導、交流人口・関係人口の拡大等により移住・定住者の増加を図る。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた「新しい生活様式」を踏まえ、テレワークやサテライトオフィス等の新たな地方移住の需要取り込みを積極的に進める。

◎新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済の回復を図る。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、落ち込んだ地域経済の回復を図ることを最優先に取り組むこととし、市内事業者の状況把握に努めるとともに、感染の状況や収束後を見据える中で、地域の実情に応じた適時的確な経済対策を実施する。

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-1	農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

所 管	農林課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

農業は小諸市の基幹産業であるが、ほ場の傾斜がきつく面積も小規模な中山間地という立地条件に恵まれていない状況もあり、農家数の減少、農業従事者の高齢化、後継者・担い手不足及び遊休荒廃地の増大などが課題となっている。担い手の育成や確保については、新規就農者や振興作物等への支援など、多様な経営体による営農の維持・発展が不可欠であり、稼ぐ力を意識した魅力ある農業への変革が必要である。

◆方針

目的
<p>農業が儲かる産業となり夢が持てるようにならないと、後継者や新規参入者等の担い手は育たない。そこで、農地の利用集積や基盤整備を進める中で、気候変動に対応した優良産地の団地化により、農産物の競争力を高めるとともに、「農」と「土壌」に着目したアグリシフトの推進を図る。また、生産するだけでなく「どう売るか」を農商工業者とマーケティング専門家との協働により、「小諸ブランド」を創造し強化を図ることで、儲かる農業を目指す。また、既に生産物の販路が確立された地域においては、農業の生産性をさらに向上させ、儲かり続ける農業を目指す。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- 早期災害復旧及び農業用施設(特定農業用ため池)の防災減災対策を実施する。
- 農地利用最適化の推進により荒廃農地の解消を目指す。
- 農と食のブランド化の推進と優良産地の団地化を目指す。また、農村資源活用交流施設の安定経営を目指す。
- 指定管理化へ向けた野生鳥獣商品化施設の運営体制の確立を図るため新たな商品開発や販売体制の構築を目指す。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①農地・農道・水路等の基盤整備が進み、農地が保全され、効率的な農業ができている状態。</p> <p>②農地の利用集積が進み、耕作放棄地が増えない状態。</p> <p>③農産物等における小諸ブランドが確立され、ビジネスとして成り立っている状態。</p> <p>④森林が整備され、野生鳥獣による農業被害が増えていかない状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	基幹的農業従事者の農業所得(年間200万円以上)						
設定理由	農家所得の向上が魅力ある持続可能な農業につながるため。						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	93	計画	93	96	99	102	
		実績					
指標名	再生利用が可能な荒廃農地面積						
設定理由	年々増加する農地の荒廃化を防ぎ、荒廃農地のうち再生可能な農地を賃貸借の推進により再生する必要があるため。						
算式						単位	ha
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	306	計画	306以下	306以下	306以下	306以下	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<p>①令和元年東日本台風による災害の早期復旧に取り組むとともに、防災重点ため池のハザードマップ作成に取り組む。</p> <p>②人・農地プランの実質化を進め、中間管理事業の活用による利用集積の推進と耕作放棄地の解消に取り組む。</p> <p>③アグリシフトプロジェクトの推進と、農村資源活用交流施設の運営改善に取り組む。</p> <p>④令和4年度に開催予定の「米食味分析鑑定コンクール国際大会」へ向けたブレ大会や米作り研修会等を開催し、生産者や地域の気運の醸成を目指す。</p> <p>⑤森林環境譲与税を活用した森林整備向け「実施方針」の策定に取り組む。また、野生鳥獣商品化施設の指定管理化を目指す。</p>
--

◆SDGsの推進に向けた取り組み

<p>ゴール2「飢餓をゼロに」 環境と調和した持続可能な農業を推進し、生産技術の向上やスマート農業の導入により、農地や労働力を確保し食料自給率の向上を目指すとともに、生産者の所得の確保・向上を図るなど、食料生産システムの確立と安定的な農業経営を目指す。</p> <p>ゴール13「気候変動に具体的な対策を」 ゴール15「陸の豊かさも守ろう」 森林や農地等の適切な維持管理や、水路等の農業用施設の強靱化を推進するなど、良好な環境を保持していくことで、気候変動等による悪影響を最小限に抑制し、自然災害等から地域を守る。</p>

◆個別計画

農業振興地域整備計画／農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想／森林整備計画
--

◆特記事項

--

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
農業委員会運営費		継続	13		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費		農林課	1:無		
事業概要	【運営費】 農地法等の法令業務の執行等、農業委員会活動にかかる運営費				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	16,119 千円	16,786 千円	16,786 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	4,973 千円	6,000 千円	6,000 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	540 千円	560 千円	560 千円	
	一般財源	10,606 千円	10,226 千円	10,226 千円	
目的	農地法等の法令業務の適正な執行、優良農地の確保及び農業振興。				
令和3年度の目標					
農地法等の法令業務の適正な執行及び優良農地の確保を行う。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	農業委員会の開催数	回	12	12	12
	農業者との話し合い	回	7	7	7
特記事項	第24期農業委員会の任期は令和2年7月20日～令和5年7月19日				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
機構集積支援事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費		農林課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 農地の利用状況調査をもとに、耕作放棄地の所有者等に利用意向調査を行う。 農地集積推進員を設置し、利用意向調査の結果をもとに農地の利用関係の調整を行う。 農地の有効活用を促進するため、耕作放棄地対策事業を実施する。 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,591 千円	5,686 千円	5,686 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	2,746 千円	2,670 千円	2,670 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	300 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	5,545 千円	3,016 千円	3,016 千円	
目的	優良農地の確保及び食糧自給率の向上を図るため、耕作可能農地の確保を行う。 農地の有効利用を図るため、担い手への農地の集積を図る。				
令和3年度の目標					
農業委員、農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構が連携し、農地を担い手へ集積させ農地利用の最適化を図る。 利用状況調査に基づき、遊休農地の解消に至らない場合については農地法に基づく勧告を適切に実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	再生利用が可能な荒廃農地面積	ha	306以下	306以下	306以下
	耕作放棄地所有者等の利用意向調査	件	300	300	300
特記事項					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
農業農村振興事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・農業生産の拡大や各作物の振興を図ることを目的に、農業者や各種団体等への負担金、補助金、交付金を支出 ・農林課所管の行政財産(小諸大橋記念公園、みまき大池及びみまき大池周辺市有地)の適切な維持及び管理 ・市民農園貸付により、非農家の家庭菜園ニーズに応える市民農園の運営及び管理				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	13,660 千円	14,557 千円	14,557 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	5,361 千円	4,000 千円	4,000 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	360 千円	360 千円		
一般財源	8,299 千円	10,197 千円	10,197 千円		
目的	農業農村振興に寄与する各種団体への補助金の交付により、農業者の経営安定と農業構造の改善を図り、もって、農業の活性化を推進する。				
令和3年度の目標					
・直面する課題等を分析し、負担金、補助金、交付金等が効果的、効率的に施行できるよう関係団体等との協議を継続的に行う。 ・農家の経営安定、構造改善につながるよう適正に執行する。(継続)					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	水稻作付目安値状況(100%以下)	%	100	100	100
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
畜産振興事業		継続	17		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課	1:無		
事業概要	安全安心な畜産物の生産供給を図るために、小諸市家畜自営防疫推進協会を組織し、関係機関と連携し生産者が行う自衛防疫活動支援等を推進する。 ・各種予防注射・消毒等の推進 ・畜産衛生広報の推進等				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,169 千円	1,800 千円	1,700 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	688 千円	855 千円	724 千円		
一般財源	1,481 千円	945 千円	976 千円		
目的	生産者が行う予防注射や消毒などの自営防疫活動を支援することにより、安全安心な畜産物の生産供給及び、畜産業の活性化、農業者の所得の向上を図る。				
令和3年度の目標					
・伝染病の病気発生等の危機管理を徹底するとともに、関係する情報を適時に発信する。 ・TPP等の情勢や、国の新規制度等を迅速に把握し、農家に的確な指導をする。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	牛予防注射・検査実施率	%	100	100	100
特記事項					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
農村資源活用施設管理事業		継続	10			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通称「あぐりの湯こもろ」「みはらし交流館」「小諸すみれ」等の適切な維持管理 ・温泉の活用による市民の健康福祉の向上 ・各施設の特長を生かした農産物のブランド化や6次産業化等により、農業農村の活性化を図り、農家所得の向上につなげる 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	35,131 千円	35,000 千円	35,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	35,131 千円	35,000 千円	35,000 千円			
目的	通称「あぐりの湯こもろ」「みはらし交流館」「小諸すみれ」等の適切な維持管理で、利用客を確保するとともに、地産地消推進・地域雇用拡大・6次産業化推進等で地元農業者の所得増加を図る。					
令和3年度の目標						
<p>あぐりの湯：農産物等の情報発信拠点としての品揃え等の充実を図る。 みはらし交流館：関係人口の増加に向け、地域資源と連携し取り組みを行う 小諸すみれ：後継者等の問題解決の研究を共同して取り組む</p>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	あぐりの湯こもろ 入浴者数	人	200,000	200,000	200,000	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中山間地域等直接支払事業		継続	14			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課	1:無			
事業概要	<p>中山間地域における農業生産条件の不利による耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図るため、農業生産条件の不利を補正することを目的に、国が維持管理など共同作業の推進に要する経費を交付金として支出する中山間地域等直接支払事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金の交付事務 ・協定集落(交付団体)の活動の管理 ・集落営農組織等の育成 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	65,915 千円	60,600 千円	60,600 千円		
	特定財源	国・県支出金	47,662 千円	44,316 千円	44,316 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	18,253 千円	16,284 千円	16,284 千円			
目的	中山間地域では、農業生産条件の不利に加え、農業者の高齢化・担い手不足が課題となっており、事業を行うことにより耕作放棄地の発生が抑制されるとともに、共同活動による地域の活性化並びに農村景観・国土保全に寄与する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・地区協定の維持・確保 ・組織的な営農活動の推進 ・第5期対策の適切な実施 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	集落協定面積	ha	300	300	300	
特記事項						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
農業人材育成事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課	2:有			
事業概要	農業の担い手を確保し、持続的な農業生産と農業農村の振興を推進する。 ・認定農業者の確保と営農支援 ・新規就農者の確保と就農支援 ・持続可能な農業展開に向けた総合的な農業・農村振興の推進					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	9,810 千円	12,000 千円	12,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	9,750 千円	11,250 千円	11,250 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	60 千円	750 千円	750 千円			
目的	夢の持てる農業の実現に向け、担い手の確保・育成や新規就農者の確保を進めるとともに、持続可能な農業生産のための仕組みづくりの関係機関等による農業者支援を推進する。					
令和3年度の目標						
【担い手確保】地域農業の担い手である認定農業者及び新規就農者の増加 【経営体育成支援事業】意欲ある経営体が規模の拡大や経営の多角化を図るために、農業機械等の整備を支援する。 【農村女性活動】女性でも収入の得やすい作物栽培を学ぶ機会を造る。農村女性活動が活発化するよう支援する。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	農業生産法人及び農業生産組織(集落営農等)数	組織	19	20	20	
	新規就農者(農業者子弟を含む)数	人	3	3	3	
特記事項	活動指標修正:理由 計画策定時のデータを精査し、件数が減少したため					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
農産物ブランド化事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課	2:有			
事業概要	・小諸市農業のファンを増やす(=小諸農業の地域ブランド化を推進する) ・「ワイン(ぶどう栽培)」「そば」等個別の農産物の差別化(=個別農産物のブランド商品化)することで、販売向上と観光資源化を図る ・6次産業化の推進により、農業者の収入増加を図る					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	15,468 千円	30,000 千円	15,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	800 千円	8,000 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	14,668 千円	22,000 千円	15,000 千円			
目的	農家の収入(販売額)を増加させるため、特長的な農産物の振興や小諸市農業の地域ブランド化や6次産業化の取り組みで農業所得の向上と農業経営の安定化及び農村地域の活性化を目指す。					
令和3年度の目標						
・小諸市農業の地域ブランド化(=ファンづくり)を推進する。 ・農産物の販路拡大や6次産業化の推進による高付加価値化を図り、個別農産物のブランド商品化を推進する。 ・個別産品(ブランド産品)の生産確保を図る。 ・そばの生産支援と加工販売を含めたそば振興との連携・連動不足を観光局等との連携を強化し改善を図る。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小諸の農のブランド(商品)化推進組織数	組織	2	2	2	
	市内ワイナリー数	件	4	5	5	
特記事項	令和元年度予算から6次産業化の取組みが、ブランド化の取組みに重複する部分も多いことから、農産物ブランド化事業(当事業)へ統合					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
市単土地改良事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課	1:無			
事業概要	小諸市が事業主体となり、土地改良事業等分担金徴収条例に基づく分担金等を徴収して、農業生産基盤である、農道、用排水施設、基幹水利施設、暗渠排水、畑地かんがい、ため池、農地等の整備を行う。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	19,679 千円	20,000 千円	20,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	6,000 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	900 千円	1,000 千円	1,000 千円	
		一般財源	12,779 千円	19,000 千円	19,000 千円	
目的	農業の生産性向上及び、農業構造(農地耕作条件)の改善を図るために必要な農業生産基盤の整備を行う。					
令和3年度の目標						
各区、農業団体からの事業要望について現地調査等を行い、農業の生産性向上及び、農業構造(農地耕作条件)の改善に効果のある整備を行う。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	農作業道整備延長	m	200	150	150	
	用水路整備延長	m	155	100	100	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
土地改良区等補助金交付事業		継続	20			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課	1:無			
事業概要	土地改良区等への事務的経費支援					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	19,995 千円	19,895 千円	19,895 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	19,995 千円	19,895 千円	19,895 千円	
目的	土地改良区等の安定的・効率的な運営の確保のため。					
令和3年度の目標						
諸団体の定款による経費賦課金及び、総会の議決に基づく経常賦課金並びに、維持管理適正化計画に基づく負担金について適正な予算執行を図る。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小諸市土地改良連合会への補助金額	千円	5,985	5,985	5,985	
	千ヶ滝湯川土地改良区への補助金額	千円	2,332	2,332	2,332	
特記事項						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
維持管理適正化事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課	1:無		
事業概要	小諸市が事業主体となり、適正化事業に加入して、整備補修に必要な費用の一定額を拠出金として長土連に拠出し、事業実施時に助成を受け、整備補修を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	6,364 千円	2,700 千円	2,700 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	6,364 千円	2,700 千円	2,700 千円		
目的	土地改良施設の維持管理において、数年に一度行うような施設の整備補修を行い、施設の機能の保持と耐用年数を確保する。				
令和3年度の目標					
土地改良施設維持管理適正化事業計画に基づく適切な予算執行を図る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	整備件数	件	1	1	1
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
農地保全協働事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課	1:無		
事業概要	農業農村振興対策事業補助金交付要綱等に基づき、農業者等が自ら農業の生産性向上及び、農業構造(農地耕作条件)の改善を図るために必要な農業生産基盤の整備に取り組むことに対し支援を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	10,852 千円	12,000 千円	12,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	10,852 千円	12,000 千円	12,000 千円		
目的	地域の特性に応じた農業生産活動に係る支援を行うことにより、地域資源の適切な保全管理の推進と効果的な農業基盤整備及び協働活動という構造改革を後押しするものである。				
令和3年度の目標					
各区、農業団体からの申請に基づき、適切な予算執行を図る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	原材料支給実施箇所	件	51	51	51
	機械借上げ実施箇所	件	8	8	8
特記事項					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
多面的機能支払交付金事業		継続	15			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課	1:無			
事業概要	<p>農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援を行う。 農地維持支払として、地域資源の基礎的保全活動、多面的機能を支える共同活動の支援。 資源向上支払として、地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援します。</p>					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	13,175 千円	13,175 千円	13,175 千円		
	特定財源	国・県支出金	9,880 千円	9,880 千円	9,880 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,295 千円	3,295 千円	3,295 千円	
目的	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるようにする。</p>					
令和3年度の目標						
個別活動計画に基づく適切な予算執行を図る						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	田における活動面積	ha	90	90	90	
	畑における活動面積	ha	165	165	165	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
林業振興事業		継続	21			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課	1:無			
事業概要	<p>・林業振興のため必要な事業を各種団体へ委託し活性化、又は被害防除を行う。 ・林地台帳管理システムの精度向上を図り、森林所有者に公表を行う。</p>					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	7,553 千円	4,000 千円	4,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	7,553 千円	4,000 千円	4,000 千円	
目的	<p>・林地台帳管理システムの整備 ・深沢施設の適正な維持管理</p>					
令和3年度の目標						
<p>・林地台帳管理システムの精度向上を図り、森林所有者に公表を行う。 ・深沢管理施設の適切な維持管理を推進する。</p>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	深沢管理施設のパトロール回数	回	4	4	4	
	特記事項	<p>平成28年度の森林法改正に伴い、森林所有者の情報を林地台帳として整備し公表する制度が創設されたことを受け、林地台帳管理システムの構築を行い、公表に向けた森林所有者情報等の精度向上を行う必要がある。</p>				

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
治山林道施設維持管理事業		継続	19		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課	1:無		
事業概要	・林道の維持管理事業 林道布引線 延長2.4km 林道浅間線 延長4.2km				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,645 千円	3,500 千円	3,500 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	3,645 千円	3,500 千円	3,500 千円		
目的	林業者の森林整備を推進するために必要となる林道の適切な維持管理を行う				
令和3年度の目標					
林道の機能維持及び適正管理と美観保全					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	林道のパトロール回数	回	12	12	12
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
松くい虫対策事業		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課	1:無		
事業概要	・松くい虫被害木の分布状況を調査し、経年変化を把握する。 ・松くい虫被害を受けた枯損木の倒壊による二次被害を予防するため、伐採処理に係る委託経費を補助する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	4,539 千円	4,500 千円	4,500 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,200 千円	1,200 千円	1,200 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	3,339 千円	3,300 千円	3,300 千円		
目的	荒廃地に根付き、土壌流出を防ぎながら景観形成にも貢献する赤松林を守るため、また被害拡散防止のため松くい虫被害減少を目指す。松くい虫被害木の倒木による二次被害を予防するため、伐採処理委託費用を補助することで、枯損木の処理を促す。				
令和3年度の目標					
・被害調査結果に基づき、被害木被害地域の把握を行う。 ・松くい虫等による枯損木処理への補助金を交付することによって、処理を進め二次被害を防止する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	松くい虫被害木処理本数	本	260	280	300
特記事項	平成30年度から活動指標の指標名を、地区保全森林面積から、松くい虫被害木処理本数に変更。				

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
野生鳥獣保護・管理事業		継続	18		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課	1:無		
事業概要	野生鳥獣対策実施隊による野生鳥獣の適正な捕獲及び被害防止対策の実施。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	15,688 千円	18,000 千円	18,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	2,739 千円	2,500 千円	2,500 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	2,300 千円	2,000 千円	2,000 千円		
一般財源	10,649 千円	13,500 千円	13,500 千円		
目的	野生鳥獣による人的被害・農林水産業被害等を軽減することを主たる目的としつつ、生物多様性保全・景観保全の観点から科学的なマネジメントを行うとともに、市民の野生鳥獣への意識向上を図る。				
令和3年度の目標					
・鳥獣被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲計画数200頭+保護区内捕獲頭数100頭					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ニホンジカ捕獲頭数	頭	330	340	340
	有害鳥獣による農業被害額	千円	2,100	2,000	2,000
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
森林(もり)の里親事業		継続	16		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課	1:無		
事業概要	長野県が推進する森林の里親促進事業により、環境保全活動に熱心に取り組む企業と共に協働の森づくりを行う森林の里親契約を締結し、企業支援による協働の森づくりを行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	500 千円	500 千円	500 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	500 千円	500 千円	500 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	森林をキッカケとした企業との様々な交流から、当市のシティプロモーションを進め、農林商工観光を含めた経済振興へと発展させる。				
令和3年度の目標					
・森林の里親企業と協働し森林整備を進めながら、様々な交流活動へと発展させる。 ・活動計画及び寄附金による森林整備計画を具体化し提案することで、里親企業との信頼関係の強化を図る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	森林整備体験学習の実施回数	回	6	6	6
特記事項					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
森林整備促進事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課	1:無		
事業概要	森林の多面的な機能を発揮させ持続可能な社会を実現するため、森林を取り巻く環境整備(間伐・除伐・下刈り等)を促進させるとともに、森林環境譲与税を活用した事業を推進することで、森林の循環サイクルを推進していく。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,556 千円	5,200 千円	5,200 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	678 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,878 千円	5,200 千円	5,200 千円		
目的	森林の持つ多面的機能(生物多様性や水資源の保全、土砂災害を防止する等)の発揮と、森林の循環サイクルの促進				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用した事業内容を検討し、効率的な森林整備に向けて関係団体と調整を行う。 ・森林環境譲与税を活用した新たな森林管理システムを構築し、森林所有者に意向調査を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	森林環境譲与税を活用した森林整備面積	ha	5	5	5
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
施設運営事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計・1施設費・1施設費・1施設費		農林課	1:無		
事業概要	<p>駆除したシカを有効活用しオリジナルの製品化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シカ肉を用いたペットフードとして、精肉及び加工商品の販売。 ・シカ皮及び角等を用いた商品開発。 ・施設の安定的な経営のため、商品等の原料となるニホンジカの安定供給の仕組みを確立する。 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	33,000 千円	30,000 千円	0 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	31,200 千円	29,000 千円	0 千円		
一般財源	1,800 千円	1,000 千円	0 千円		
目的	農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣(シカ)の駆除個体を有効活用し、ペットフードへと加工し商品化するためのシステム作りの構築、近隣自治体との広域的な連携の構築、さらには解体及び加工の為に人材を確保し雇用の創出を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・加工製品の専門知識を有する者による販路拡大及び新製品の開発を行う。 ・原料となるニホンジカの安定供給を図る。 ・指定管理に向けた準備を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ニホンジカの加工個体数	頭	1,400	1,400	1,400
特記事項					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高峰財産区事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
高峰財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費		農林課	1:無		
事業概要	高峰財産区管理会による財産区の財産の管理と運用				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,043 千円	2,000 千円	2,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	3 千円	3 千円	3 千円		
一般財源	2,040 千円	1,997 千円	1,997 千円		
目的	財産区の財産又は公の財産の適切な管理等を行うため				
令和3年度の目標					
適切な維持管理を行う					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	2	2	2
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
御牧ヶ原財産区事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
御牧ヶ原財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費		農林課	1:無		
事業概要	御牧ヶ原財産区管理会による財産区財産の管理と運用				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	18,465 千円	15,000 千円	15,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	6,465 千円	7,000 千円	7,000 千円		
一般財源	12,000 千円	8,000 千円	8,000 千円		
目的	財産区の財産又は公の財産の適切な管理等を行うため				
令和3年度の目標					
適切な維持管理を行う					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	3	3	3
特記事項					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
古牧財産区事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
古牧財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費		農林課	1:無		
事業概要	古牧財産区管理会による財産区財産の管理と運用				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,657 千円	1,400 千円	1,400 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	78 千円	78 千円	78 千円	
	一般財源	3,579 千円	1,322 千円	1,322 千円	
目的	財産区の財産又は公の財産の適切な管理等を行うため				
令和3年度の目標					
適切な維持管理を行う					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	3	3	3
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
滋野財産区事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市滋野財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費		農林課	1:無		
事業概要	滋野財産区管理会による財産区財産の管理と運用				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	562 千円	500 千円	500 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1 千円	1 千円	1 千円	
	一般財源	561 千円	499 千円	499 千円	
目的	財産区の財産又は公の財産の適切な管理等を行うため				
令和3年度の目標					
適切な維持管理を行う					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	2	2	2
特記事項					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
乗瀬地区市有地管理事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
乗瀬地区市有地管理事業特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費		農林課	1:無		
事業概要	乗瀬区市有地管理委員会による所管財産の管理と運用				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	141 千円	140 千円	140 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	41 千円	40 千円	40 千円	
	一般財源	100 千円	100 千円	100 千円	
目的	管理委員会の所管財産又は公の財産の適切な管理等を行うため				
令和3年度の目標					
適切な維持管理を行う					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	管理委員会の所管財産(山林)の維持管理回数	回	2	2	2
特記事項					

事務事業名				新規・継続
農地費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		4,918 千円	850 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		4,918 千円	850 千円	
事務事業名				新規・継続
県営農業農村整備事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		11,246 千円	31,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	9,900 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		1,346 千円	31,000 千円	
事務事業名				新規・継続
農業用施設維持補修事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		12,000 千円	13,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		12,000 千円	13,000 千円	
事務事業名				新規・継続
農業総務費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費				農林課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		331 千円	2,370 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		331 千円	2,370 千円	
事務事業名				新規・継続
農業総務費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費				農林課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		133,409 千円	130,135 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		133,409 千円	130,135 千円	
事務事業名				新規・継続
令和元年発生農地農業用施設単独災害復旧事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・11災害復旧費・1農林水産施設災害復旧費・1農地農業用施設災害復旧費				農林課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		33,174 千円	0 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		33,174 千円	0 千円	

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-2	地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

所 管	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

首都圏からの良好なアクセスとリスク分散の適地としての認知度、豊かな自然環境と軽井沢エリアとしてのブランド力など、企業が求める一定条件を備えた地域として積極的な企業誘致を進めているが、提供できる商品として自己所有地がないため、企業からの引き合いに対する競争力を失っている。持続的な地域経済を構築するために不可欠な既存企業や新規起業者の支援は、地域外の人材誘致など新たな視点で取り組む必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響は、多くの業種の事業活動にこれまで経験したことのない停滞をもたらしており、継続した支援を必要とする。

◆方針

目的

企業誘致は引き続き地域の強みを活かして取り組み、外国籍企業やアフターコロナを見据えたサテライトオフィスなどを新たなターゲットに加え進めるが、これまで課題であった競争力を高めるため、まずは既存工業団地の未造成、未分譲地を早期に買収、商品化するとともに、次期工業団地計画に着手する。既存企業の事業拡大や技術力向上への支援に引き続き注力するほか、事業者の自主的な取り組みへの支援や事業承継等の課題にも対応する。また、起業・創業は地域内人材だけに頼らず、新たな経済の担い手づくりとして人材誘致にも積極的に関わり、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復と地域経済の活性化につなげる。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者継続的な支援を行う。
- ・積極的な企業誘致と既存工業団地の造成、分譲を進め、新たな工業団地計画の具体的検討に入る。
- ・企業訪問や情報交換を通じて既存企業のニーズを把握し、事業拡大や課題解決などへの支援を行う。
- ・商工会議所等と連携して新規起業者の育成、支援に取り組み、空き物件への事業誘致など、経済やまちづくりの人材誘致、担い手育成を進める。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

①地域住民だけでなく、移住者など地域外ニーズにも応えられる就業先がある状態。
 ②起業・創業により新たな事業活動の発生や遊休不動産等の活用などの経済効果が生じる状態。
 ③継続的な支援により、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の落ち込みを改善した状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	企業立地数						
設定理由	新規企業の立地や既存企業の増設は、新たな雇用の創出と税収確保など財政力の強化に直結するから						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	4	計画	5以上	5以上	5以上	5以上	
		実績					
指標名	市内での起業・創業件数						
設定理由	起業・創業により経済の担い手が増え、事業活動や消費行動が広がることで地域経済が活性化するから						
算式	小諸商工会議所「創業塾」「チャレンジ起業相談室」における件数					単位	件
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	16	計画	16以上	16以上	16以上	16以上	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

・新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への支援を継続的に行い、地域経済の回復を図る。
 ・引き続き積極的な企業誘致や既存企業への支援を進め、雇用の場の確保、拡大を図るとともに、テレワークの定着に伴うサテライトオフィスなど新たな企業ニーズの取り込みを強化する。
 ・新たな工業団地計画を策定し事業着手する。
 ・商工会議所と連携して新規起業家に対する支援に取り組むほか、新たな事業活動や人材など、地域経済活性化につながる誘致、育成を積極的に行う。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール8「働きがいも経済成長も」
 ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
 豊かな自然環境や気候風土など地域の特色を活かした経済活動の定着を図るため、企業誘致や企業・事業者支援に取り組み、安定した雇用環境を生み出す。

◆個別計画

◆特記事項

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-2 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
労働振興事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・5労働費・1労働費・1労働諸費		商工観光課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用促進や就労支援のための就職相談会、事業所視察会等の実施 ・勤労者の福利増進のため生活資金融資制度の実施 ・勤労者の福利増進のための事業支援 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	71,888 千円	71,888 千円	71,888 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	70,121 千円	70,121 千円	70,121 千円	
一般財源	1,767 千円	1,767 千円	1,767 千円			
目的	雇用の促進と勤労者の福利増進を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・例年行っている小諸北佐久勤労者互助会への加入促進と加入者の福利厚生事業の更なる向上を目指す。 ・労政審議会の開催に加え、職業安定協会、佐久地域振興局等の関係機関と連携した子育て期の女性や若年者の雇用促進と就労支援に向けた取組みの周知を図る。 ・小諸市の企業を高校生に知ってもらうために、佐久地域の高校と連携し情報提供を図る。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	労政審議会の開催	回	1	1	1	
特記事項	小諸北佐久勤労者互助会へ新規加入した市内事業所数	事業所	3	3	3	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸・北佐久勤労者互助会として、立科町、御代田町、軽井沢町の会員数の増加についても、各町の事務局担当課を通じて引き続き働きかけを行っていく。 					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
商工業総合振興事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が行う事業に対する助成 ・商店会連合会への助成 ・空き店舗の活用促進 ・起業への支援 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	27,970 千円	27,970 千円	27,970 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	27,970 千円	27,970 千円	27,970 千円			
目的	商工会議所が実施する経営指導、起業相談に助成を行い、商工業の振興を図る。商店街の活性化により中心市街地の賑いを創出する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市の商工業の振興や課題解決のため中小企業振興審議会を開催し、振興策について議論を進める。 ・チャレンジ起業相談室を通じ16件の起業を実現させる。 ・商店街が活性化されるような各種イベントや既存店舗の活性化を支援する。 ・チャレンジ起業相談室及び創業塾と連携し空き店舗等の活用を促進するとともに、小諸での起業を実現できるよう支援する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	中小企業振興審議会の開催	回	2	2	2	
特記事項	チャレンジ起業相談室を通じた起業数	件	20	20	20	

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-2 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
制度融資事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課	1:無			
事業概要	・中小企業者に対する制度融資の実施					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	776,747 千円	744,940 千円	727,694 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	702,000 千円	702,500 千円	702,500 千円	
	一般財源	74,747 千円	42,440 千円	25,194 千円		
目的	融資あっせん及び融資保証料の補給を行い、中小企業者の経営安定を図る					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化した中小企業にとって利用しやすく効果的な融資制度とする。 ・各金融機関の担当者の意見や経営相談員との連携を図る。また、次年度の融資制度について検討するために、年度末に融資あっせん委員会を開催する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	融資あっせん委員会の開催	回	1	1	1	
	市制度融資実績	千円	300,000	300,000	300,000	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
企業立地推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企業の誘致 ・既存企業の支援 ・産業団地に関すること 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	95,888 千円	157,667 千円	123,208 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	30,282 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	65,606 千円	157,667 千円	123,208 千円		
目的	市民の生活基盤となる雇用の場の確保と商工業の振興・発展のため、企業の新規誘致及び既存企業の支援を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における企業のニーズを把握し企業支援、企業誘致に取り組む。 ・インター小諸工業団地の商品化を進める。 ・経済産業省及びJETROの支援による「サポートプログラム」を活用し、外国企業も含めた企業誘致を行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	企業支援助成金交付件数	件	50	50	50	
	企業相談訪問件数	件	150	150	150	
特記事項	令和元年度から活動指標を「企業立地件数」から「企業相談訪問件数」に変更					

事務事業名			新規・継続		
商工総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・7商工費・1商工費・1商工総務費			商工観光課		
投入 指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費	88,968 千円	88,968 千円	88,968 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	904 千円	904 千円	904 千円
		一般財源	88,064 千円	88,064 千円	88,064 千円

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-3	暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

所 管	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

良好なアクセスと豊かな自然環境、軽井沢エリアとしてのブランド力など、観光誘客や移住・定住につながる地域の魅力は一定の評価を受けているが、効果的なプロモーションなど情報発信や素材づくりに課題がある。観光面では、こもろ観光局と連携した「観光地域づくり」の具体化と動物園再整備による懐古園の魅力アップなど素材の魅力づくりを進め、各事業者が一体となった誘客の取り組みが必要である。新型コロナウイルス感染症の影響は、観光関連産業にこれまで経験したことのない停滞をもたらしており、引き続き事業継続や誘客への支援を必要とする。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響で移住ニーズが高まっているが、人口減少対策として移住・定住をさらに進めるためには、充実した素材の提供が課題であり、事業者との連携など新たな視点を持ち、より踏み込んだ取り組みとする必要がある。

◆方針

目的
こもろ観光局と連携し、地域が持つ魅力を効果的に伝える手法の検討とブランド力を活かした情報発信を進め観光誘客を図るとともに、地域資源の活用による新たな観光素材の掘り起こしなど、観光地域づくりを進め地域の誘客力向上を図る。新型コロナウイルス感染症の影響からの事業継続、消費回復に取り組み地域経済の活性化につなげる。
移住・定住促進では、「ほどよい田舎での暮らし方」や素材の提案に民間事業者の視点を加え、誘致活動や体験事業などで希望者が具体的な検討をしやすい環境整備を図る。また、人口減少対策を見据えたまちづくりの担い手育成として、人材誘致の観点をもち積極的に進める。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者継続的な支援を行う。
- ・外部コンサルの分析結果などを踏まえた、こもろ観光局の組織体制や事業内容の見直しを支援し、地方創生推進交付金終了後の行政と観光局の役割分担を明確にする。
- ・動物園再整備(第1期)を着実に進めるとともに、財源確保の取り組みを進める。
- ・民間事業者と連携した体験事業の実施や効果的なイベント開催など、移住定住促進の取り組みを強化する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①事業関係者や地域住民が地域の強みや魅力を認識し、連携した誘客に取り組む状態。
②新築住宅着工数や空き家バンク物件成約件数の向上により移住・定住が増え、移住者を中心とした事業活動や地域活動が発生した状態。
③継続的な支援により、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の落ち込みを改善した状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	新築住宅着工数と空き家バンク契約数						
設定理由	この数値の向上が定住人口の増加につながるため						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	171(内空き家バンク契約数26件)	計画	160	160	160	160	
		実績					
指標名	市内宿泊者数						
設定理由	市内の宿泊者数を観光やビジネス活動の物差しとして捉えると、観光産業等の回復を図るためには、この数値の回復、増加が必要となるから						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	165,120 ※平成30年度数値	計画	90,000	130,000	165,000	166,000	
		実績					
指標名	地域ブランド調査の魅力度全国順位						
設定理由	客観的に小諸市を評価する調査であるため						
算式						単位	位
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	185	計画	180以内	180以内	180以内	180以内	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・こもろ観光局と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響が深刻な観光産業を支援する。
- ・こもろ観光局の組織や運営方法などの具体的な見直しに伴い、行政との役割分担を明確にする。
- ・財源確保を図りつつ、動物園再整備を着実に進める。
- ・体験ツアーや相談会など、民間事業者と連携して移住ニーズの取り込みを図る。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール8「働きがいも経済成長も」

地域が持つ魅力とブランド力を活かし観光関連産業の振興により、地方文化の振興や地場産品の販売促進につなげ、地域の特色を活かした経済活動の定着を図る。また、人口減少対策として移住・定住を推進し、地位経済の安定や担い手確保を進める。

◆個別計画

観光地域づくりビジョン／動物園再整備基本計画

◆特記事項

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
布引温泉管理事業		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課	1:無			
事業概要	布引温泉源泉の維持管理					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	996 千円	996 千円	996 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	996 千円	996 千円	996 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	「日帰り温泉施設 あぐりの湯こもろ」及び「布引温泉こもろ」に安定的に送湯するため、維持管理を適切に行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 定期的に源泉ポンプ4基の維持管理を行う。 安定した湧出量を確保し必要な送湯を行うため、月2回源泉の湧出量等の確認と適正な管理を行う。 法定検査ではないが、源泉の安全性を保つため年1回の自主的検査を行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	源泉の湧出量と温度の確認回数	回	24	24	24	
	源泉の衛生検査の回数	回	1	1	1	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
まちなか活性化施設運営事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課	1:無			
事業概要	駅前前の賑わいを創出している「市民ガーデン」と旧北国街道沿いのまちづくりに寄与している「ほんまち町屋館」「与良館」等の交流拠点施設を指定管理方式で管理運営する。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	14,611 千円	14,611 千円	14,611 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	14,611 千円	14,611 千円	14,611 千円	
目的	交流人口の増加を図るため、各施設の特徴を活かした交流拠点となるように施設の運営を行うと共に、施設の在り方についても検討する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 市民ガーデン、ほんまち町屋館、与良館の管理運営をする指定管理者が各施設の設置目的に沿った管理と各種講座及びイベント等が開催できるよう、指定管理者と連携を図り、維持管理に努める。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	市民ガーデンのレジ利用者の人数	人	22,000	22,330	22,664	
	ほんまち町屋館のイベント・地域交流日数	日	50	50	50	
特記事項						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
観光振興事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課	2:有			
事業概要	こもろ観光局と連携し地域が持つ魅力の効果的な情報発信により観光誘客を図る。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・こもろ観光局と連携し観光振興につながる事業実施 ・関係団体のイベント開催等の支援 ・観光情報の収集と発信 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	36,513 千円	36,513 千円	36,513 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	36,513 千円	36,513 千円	36,513 千円		
目的	こもろ観光局と連携し、ブランド力を活かした情報発信により観光誘客を図るとともに、新たな観光素材の掘り起こしなど地域経済の活性化につなげる。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・こもろ観光局と連携し戦略的で効果的な観光事業を実施する。 ・関係団体、庁内関係部署と連携し小諸ブランドを発信する。 ・新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、訪日旅行誘客(インバウンド)拡大に向けた事業の検討を行い、可能であれば実施する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	こもろ観光局(日本版DMO)との連携に係る推進会議の開催数	回	12	12	12	
特記事項	ICT(ホームページ等)を活用した観光情報の発信回数		回	52	52	
	H31から観光宣伝事業を観光振興事業に統合した。					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
観光施設運営事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課	1:無			
事業概要	旧脇本陣滞在型交流施設(桑屋)及び観光施設付属トイレの適正な運営及び維持管理を行う。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市旧脇本陣滞在型交流施設(桑屋) ・火山館(バイオトイレ設置) ・トイレ3箇所(浅間山荘公衆トイレ、車坂峠公衆トイレ、布引観音公衆トイレ) ※創造の森トイレはR2年度閉鎖 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	8,063 千円	8,063 千円	8,063 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	429 千円	429 千円	429 千円	
	一般財源	7,634 千円	7,634 千円	7,634 千円		
目的	交流人口、関係人口の増加を図るため、利用しやすい観光施設の管理運営を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の定期的な巡回に努め、消耗品の補充や補修等が必要な場合は迅速に対応する。 ・旧脇本陣桑屋の適正な運営及び適切な建物の維持管理を図るため、指定管理者である「こもろ観光局」と定期的な打ち合わせを行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	観光施設(トイレ等)の見回り数	回	4	4	4	
特記事項	火山館の訪問数		回	4	4	

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
移住・定住促進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課	2:有			
事業概要	移住・定住を促進する事業の推進 ・移住・定住促進に係る支援業務 ・移住定住人口の増加に向けた情報の収集と発信 ・空き家バンクの運営					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	9,290 千円	8,254 千円	8,200 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,200 千円	1,200 千円	1,200 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	8,090 千円	7,054 千円	7,000 千円			
目的	市外からの移住者等の流入促進と市外への流出の抑制を図り定住者を増やすことで人口減少に歯止めをかける。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの状況を考慮しながら、ターゲットを絞ったイベント(オンライン含む)等の移住推進の取り組みを行う。 空き店舗活用、創業希望者をターゲットとした移住推進の取り組みを行う。 民間事業者と連携した移住体験施設の運営を開始する。 SNSやメディアを活用し移住が推進するような情報発信を行う。 不動産協会と情報交換等を行い、今後の宅地開発支援の可能性を研究する。 様々な媒体を活用した情報発信や地域での相談会により空き家バンクの登録物件を増やす。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	移住につながる催しへの参加やイベントの開催件数	回	10	10	10	
特記事項	活動指標を令和元年度から下記へ変更 1 移住につながる催しへの参加やイベントの開催件数 目標値 10回 2 空き家バンクへの登録件数 50件					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
観光地域づくり事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課	2:有			
事業概要	こもろ観光局と連携協力し、小諸の自然や歴史・文化を活かした効果的なプロモーションを展開するとともに、地域の魅力を掘り起こし、市全体で来訪者を受け入れる「観光による地域づくり」に取り組み、インバウンドも含めた交流人口の増加を目指す。また、動物園再整備より懐古園の魅力アップを進め入園者の増加を図る。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	286,500 千円	0 千円	0 千円		
	特定財源	国・県支出金	123,100 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	76,000 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	87,400 千円	0 千円	0 千円			
目的	一般社団法人こもろ観光局(観光地域づくり法人)と連携・役割分担により、観光資源、地域資源を活用した観光地域づくりのための各種事業を実施し、懐古園及び地域の活性化を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> こもろ観光局の経営基盤整備を進める。 ブランディングの取り組みを行う。 動物園再整備が適正に実施されるよう進行管理に努める。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	観光地入込数	万人	190	190	190	
特記事項						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
 施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
懐古園運営事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸公園事業特別会計・1公園費・1公園費・1公園費		商工観光課	1:無		
事業概要	・懐古園の維持管理及び運営を行う。(動物園、遊園地、駐車場を含む)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	132,000 千円	132,000 千円	132,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	129 千円	130 千円	130 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	131,871 千円	131,870 千円	131,870 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	観光施設としての懐古園の魅力アップのため、適切な施設整備と維持管理を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・桜の樹勢回復をすすめ、樹木の維持管理を適切に行い懐古園の魅力維持に努める。 ・動物園の再整備工事を行う。 ・動物園再整備計画での財源確保に向けた取り組みを関係課と共にすすめる。 ・こもろ観光局と連携し、観光誘客のための情報発信を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	懐古園への来園者数	人	200,000	220,000	220,000
特記事項	動物園のツイッターのフォロワー数	人	34,000	34,000	36,000

事務事業名		新規・継続			
小諸公園事業特別会計繰出金		継続			
会計・款・項・目		所管課			
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課			
投入 指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費	47,500 千円	10,000 千円	10,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	47,500 千円	10,000 千円	10,000 千円	

実施計画書 兼 事業説明書

【政策5：生活基盤整備】

安心して快適に暮らせるまち

【施策5-1】 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

【施策5-2】 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

【施策5-3】 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

【施策5-4】 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

◆ミッション

人口減少、少子高齢化の進展による社会構造の変化に対応した多極ネットワーク型コンパクトシティによるまちづくりを推進し、市内全域の利便性を高めるとともに、昨今、多発する自然災害対策に積極的に取り組み、地域防災力の向上を図ることで将来にわたって市民が安心して快適に暮らせるまちづくりを進める。

◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。

◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。

◎災害に強いまちづくりを進める。

◆方 針

◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。

利便性の高い都市づくりのため、公共交通の利便性が高い小諸駅・市庁舎周辺地域において、生活に欠かせない都市機能施設の集約・誘導を、様々な主体との公民連携により取り組むとともに、市内のコミュニティ交通の改善や広域的な幹線交通の維持に努め、持続可能な交通ネットワークの構築を行う。

そして、「居心地のよい、ひらかれた」付加価値の高い都市づくりに向け、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる公共交通の利用促進に取り組む。

◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。

市民の生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備・修繕は、将来にわたる持続可能性を考慮した長寿命化計画に沿って着実に進めるとともに、社会基盤の整備を行うことにより移住・定住の促進を図る。

公民共同企業体「株水みらい小諸」への一部業務委託による上水道事業は、民間事業者のノウハウを活用しつつ業務管理を厳格に行うことで、安全で良質な水の安定供給と事業の安定経営を維持する。

◎災害に強いまちづくりを進める。

災害発生時には、人命を保護することが最も優先されなければならない。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、限られた資源で効率的・効果的に強靱化を図るとともに、自身の安全を守る「自助」、地域のつながりを大切にしたい助け合い「共助」の意識を高めるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図る。

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-1	多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

所 管	都市計画課
関 連	施設管理室
関 連	高齢福祉課
関 連	商工観光課
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

立地適正化計画に基づき、利便性が高く、多様性に富んだ活動や交流を促進する、新たな都市づくりへの転換に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備など、利便性の高い拠点形成を図るとともに、交通ネットワークの構築に向け、高齢者を中心に利用が広がっている「こもろ愛のりくん」の持続可能な運行への改善を行う必要がある。

そして、利便性に加え、“居心地のよい、ひらかれた”都市としての付加価値を高めるため、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用促進等に取り組む必要がある。

◆方針

目的
利便性の高い拠点形成のため、令和3年8月供用開始に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備を着実に進めるとともに、民間投資を意識した、都市機能施設の誘導を公民連携により取り組む。また、交通ネットワークの構築に向け、市内の公共交通においては、「こもろ愛のりくん」の利便性と効率性の両立を図るよう、他の公共交通や市民主体の移動サービスとの連携を図りながら、運行改善を実施するとともに、広域的な公共交通においては、鉄道・バス等の幹線交通の維持のため、引き続き、運行事業者との連携・支援を行う。そして、“居心地のよい、ひらかれた”新しい都市づくりとしての付加価値を高めるため、公園や文化施設、駅施設などの公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策を包括的に実施する。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

○複合型中心拠点誘導施設整備を着実に推進し完了させる。

○「こもろ愛のりくん」を中心としたコミュニティ交通の運行改善等を行う。また、高齢者の外出機会の創出につながる利用浸透策を講じる。

○鉄道、バスなど地域幹線公共交通の維持に向け、運行事業者と連携・支援を推進する。

○大手門公園最終工区の整備完了。大手門公園とあいおい公園の活用促進

○都市機能施設や公共的空間などを基盤に、官民連携による中心拠点の形成を促進するための、人材集積の場の形成や将来像の策定活動を実践する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①公共交通の利便性が高い、小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まっている状態。
②交通ネットワークの構築に向け、「こもろ愛のりくん」が、利便性と効率性とを両立して運行している状態。
③小諸駅・市庁舎周辺地域における公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策の実施が包括的に行われ、“居心地のよい、ひらかれた”都市づくりへの転換が進んでいる状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域におけるこもろ愛のりくんの利用頻度						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、「こもろ愛のりくん」による利用割合が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度①】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	22.6	計画	23.0	30.0	35.0	40.0	
		実績					
指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域における市営駐車場の1日の駐車台数						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、市営駐車場の駐車台数が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度②】						
算式						単位	台
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1,510	計画	1,510	2,000	3,000	3,000	
		実績					
指標名	こもろ愛のりくんの年間利用者数						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上すれば、利用者数が増加するため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立①】						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54,145	計画	55,000	56,000	58,000	60,000	
		実績					
指標名	こもろ愛のりくんの収支比率						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上し、利用者数が増加するとともに、効率化を進めることにより、収支比率が改善され、利便性と効率性の両立が図られるため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立②】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	13.0	計画	14.0	20.0	22.0	25.0	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 複合型中心拠点誘導施設整備を着実に推進し完了させる。
- 「こもろ愛のりくん」を中心とした持続可能なコミュニティ交通の構築に向け、運行改善等を進めるとともに、高齢者の外出機会の創出につながる利用浸透策を講じる。
- 鉄道、バスなど地域幹線公共交通の維持に向け、運行事業者と連携・支援を推進する。
- 大手門公園最終工区の整備完了させ、大手門公園とあいおい公園の活用を促進する。
- 都市公園、都市緑地等の適正な維持管理を行う。
- 小諸駅周辺駐車場の適正な維持管理を推進し、利用促進に努める。
- 都市機能施設や公共的空間などを基盤に、官民連携による中心拠点の形成を促進するために、人材集積の場の形成や将来像の策定活動に取り組む。
- 市民の景観や緑地に対する意識の高揚と協働による活動意識の高揚を図るため、景観形成や緑化活動等に参加する場の創出や提供を推進する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

- ゴール3「すべての人に健康と福祉を」
高齢者や交通弱者のニーズに配慮した安全で利便性の高いコミュニティ交通の構築により、高齢者を中心とした道路交通事故の抑制に寄与する。
- ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」
中心市街地に設置された公衆用トイレを適切に維持・管理し、市民や来訪者に快適な衛生環境の提供を図る。また、徒歩による回遊性を高めるために、まちなかで快適に利用できる衛生環境の整備を推進する。
- ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
立地適正化計画に基づき、利便性と快適性を備え、かつ、歩いて回遊できる快適な都市空間を醸成し、市民や来訪者の交流が生まれ、移住・定住に繋がる魅力あるまちづくりを進める。

◆個別計画

都市計画マスタープラン／立地適正化計画／地域公共交通網形成計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
都市計画総務費運営費		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画制度に基づく都市計画の決定、変更、指導 小諸市都市計画審議会の運営 都市計画マスタープランおよび立地適正化計画に基づく、事業の検討と調整 宅地造成等規制法に基づく、大規模盛土造成地等の宅地の安全確保の推進 都市再生特別措置法に基づく、低未利用地の流動化の推進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	12,931 千円	5,300 千円	5,300 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,769 千円	16 千円	16 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	339 千円	203 千円	203 千円	
	一般財源	10,823 千円	5,081 千円	5,081 千円	
目的	市内の各地域のエリア価値の向上に資する、都市計画関連法に基づく手続きを適正に進めること				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 土地利用・都市施設の見直しのための調査検討や開発行為の調整を行う。 都市計画マスタープランおよび立地適正化計画の更新に必要な調査検討を行う。 大規模盛土造成地等宅地の安全性を把握と今後の事業計画をまとめる。 都市計画基礎調査を円滑に実施する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	都市計画法に基づく開発行為(建築工事)の調整件数	回	10	10	10
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中心拠点形成促進事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費		都市計画課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 複合型中心拠点誘導施設整備による都市機能の集約 大手門公園最終工区(駐車場跡地)整備など中心拠点の公共空間の活用 民間の様々な主体と連携した拠点形成の促進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	861,521 千円	30,000 千円	30,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	111,194 千円	15,000 千円	15,000 千円	
	地方債	379,600 千円	13,500 千円	13,500 千円	
	その他	251,257 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	119,470 千円	1,500 千円	1,500 千円	
目的	多極ネットワーク型コンパクトシティの中心拠点となる小諸駅・市庁舎周辺地域において、“利便性の高い、居心地のよい、ひらかれた”都市づくりに必要となる社会基盤の整備を進めるとともに、社会基盤を活用した官民連携による拠点の形成を促進する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 複合型中心拠点誘導施設の整備完了 大手門公園最終工区の整備完了と大手門公園とあいおい公園の活用 官民連携による拠点形成を促進するため、“場(プラットフォーム)”の形成と“将来像(エリアの未来ビジョン)”の策定 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸駅・市庁舎周辺地域におけるこもろ愛のりくんの利用頻度	%	30	35	40
	小諸駅・市庁舎周辺地域における市営駐車場の1日の駐車台数	台	2,000	3,000	3,000
特記事項	令和3年度から事務事業名の変更(国の補助事業名の変更への対応)				

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸駅周辺駐車場管理事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	1:無		
事業概要	・市営小諸駅駐車場及び市営大手門公園有料駐車場における、適正な点検・管理による利便性の確保				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	6,515 千円	6,515 千円	6,515 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	5,984 千円	5,984 千円	5,984 千円		
一般財源	531 千円	531 千円	531 千円		
目的	・適正な点検・管理により、駅周辺の市営駐車場としての利便性を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・常時良好な状態に保つように維持管理を行う。 ・市営小諸駅駐車場及び大手門公園有料駐車場の駐車台数、収入額等の分析を実施するとともに、利用方法等について検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場施設の定期点検回数	回	12	12	12
特記事項	緊急連絡機器の定期点検回数				
	回 12 12 12				
令和3年度から事務事業名の変更。(集約駐車場管理事業が施設管理室へ移行されたことによるもの)					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
交通政策費運営費		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会事業(小諸・軽井沢間の増便)への負担金の交付 ・しなの鉄道の鉄道軌道安全施設(車両、保安施設等)整備への負担金の交付 ・千曲バス佐久上田線への補助金の交付 ・小諸高等学校、水明小学校のスクールバス運行 ・JR小海線各駅の附属施設(トイレ、駐車場・駐輪場)の維持管理 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	77,292 千円	66,940 千円	66,226 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	21,000 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	56,292 千円	66,940 千円	66,226 千円		
目的	幹線的な公共交通(鉄道・路線バス)の維持・確保により、広域的な交通ネットワークの構築を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会事業(小諸・軽井沢間の増便)の継続 ・しなの鉄道の鉄道軌道安全施設(車両、保安施設等)整備の継続 ・千曲バス佐久上田線へ支援継続 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸駅(しなの鉄道)の年間乗降客延べ人数	人	1,190,000	1,190,000	1,190,000
特記事項	小諸駅(JR小海線)の年間乗降客延べ人数				
	人 540,000 540,000 540,000				
R1～R9しなの鉄道車両更新(9年間 負担額合計 1億4千1百万円)					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
公共交通事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	2:有		
事業概要	予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」を基本としたコミュニティ交通の運行				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	80,130 千円	75,000 千円	75,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	296 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	79,834 千円	75,000 千円	75,000 千円		
目的	利便性と効率性を両立した持続可能な市コミュニティ交通を運行し、市内の公共交通ネットワークを構築するため				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・「こもろ愛のりくん」の運行改善の実施 ・高齢者の外出機会の創出につながる利用浸透策の実施 ・「こもろ愛のりくん」の包括的な利用浸透策および様々なニーズに柔軟に対応する試験運行の検討・実施 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	こもろ愛のりくんの年間利用者数	人	56,000	58,000	60,000
特記事項	こもろ愛のりくんの収支比率	%	20	22	25

事務事業名				新規・継続
都市計画総務費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費				都市計画課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		66,280 千円	66,280 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		66,280 千円	66,280 千円	
事務事業名				新規・継続
県街路事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費				都市計画課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		0 千円	10,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	10,000 千円	

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-2	社会基盤の整備と長寿命化を進めます

所 管	建設課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

社会基盤である道路や橋梁、河川は、必要な機能を維持するための修繕が中心となっており、事業要望による生活道路の整備や幹線道路の舗装改良、橋梁の修繕・耐震補強、河川の護岸保全など、計画的な整備ができていない状況にある。このような状況のなか、生活道路の整備は、新設や拡幅改良などは必要箇所の精査により道路整備を実施することとし、生活に密着した維持修繕として対応する必要がある。また、舗装改良や橋梁の修繕・耐震補強は、長寿命化修繕計画に基づき、より効果的に進める必要がある。

◆方針

目的
市民生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備において、生活道路の新設や拡幅改良は、評価項目に基づき、効率的で効果のある整備を計画的に行い、即効性のある維持修繕を主体的に行い道路の安全性を確保する。また、幹線道路の舗装改良は長寿命化修繕計画に基づき計画的に行う。 橋梁修繕等の整備は、将来への持続を考えた長寿命化修繕計画に基づき、効果のある整備を行う。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- 社会基盤整備として、長寿命化修繕計画に基づき、舗装改良及び橋梁の修繕を行う。
- 生活道路等の整備は、評価基準に基づいた優先順位により事業を実施する。また、維持補修により、生活道路の維持・長寿命化と通行の安全性の確保を図る。
- 特定空家等の解消のため、所有者に対し指導を行い、空家の適正な管理を促すため、相談会等の支援を行う。
- 老朽化している市営住宅の集約化に向け取り組む。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①生活道路の維持・修繕を行い、通行の安全性が確保された状態。 ②橋梁及び横断歩道橋が、長寿命化修繕計画に基づき適正に維持管理されている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	道路改良・改修、維持修繕への対応割合						
設定理由	市民生活に密着した道路機能維持のため。						
算式	実施数／要望数					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	46	計画	50	50	50	50	
		実績					
指標名	生活道路の維持・補修に対する市民満足度						
設定理由	市民の満足度が高ければ、環境施策が住民ニーズに沿っている割合が高いから。						
算式	市民意識調査					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	45.5	計画	47	48	49	50	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 社会基盤整備として、舗装長寿命化修繕計画、橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、施設の長寿命化、コストの縮減を目的に舗装改良及び橋梁の修繕を実施する。
- 生活道路等の整備は、評価基準に基づいた優先順位により事業を実施する。また、維持補修により、生活道路の維持長寿命化と通行の安全性の確保を図る。
- 特定空家等の解消を図るため、所有者に対し粘り強く指導を行うとともに、空家の適正な管理を促すため、相談会等の支援を行う。
- 老朽化している市営住宅の集約化に向け取り組む。
- 地域の皆様との協働による道路管理をめざし、地域協働道ぶしんクリーン事業を進める。
- 国土地籍調査は、引き続き4地区の調査を行い、1地区の登記を完了させる。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
 社会基盤の整備として、道路や橋梁等の維持・修繕を行うことにより、安全性が確保され快適に暮らせるまちづくりを推進する。

◆個別計画

舗装長寿命化修繕計画／橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画／トンネル長寿命化修繕計画／耐震改修促進計画／公営住宅等長寿命化変更計画／空家等対策計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
国土地籍調査事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・1土木管理費・2国土調査費		建設課	1:無		
事業概要	地籍調査未実施地区18km ² において ・土地を一筆ごとに所在、所有者、地番及び地目の調査を実施 ・境界及び地積に関する測量 ・地籍簿と地籍図を作成				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	61,885 千円	69,000 千円	58,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	29,715 千円	32,250 千円	26,250 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	10 千円	10 千円	10 千円	
	一般財源	32,160 千円	36,740 千円	31,740 千円	
目的	社会基盤の整備を効率的に進めるために、明治時代に作られた地図(土地の境界や測量が不正確な部分がある地図)を正確な地図に作り替える。				
令和3年度の目標					
令和2年度継続事業の中央10区、中央11区、中央12区、更に中央13区を新規着手する。 令和2年度に認証された中央9区の成果を法務局に送付し登記完了する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	境界立会いする面積	ha	25	39	25
特記事項	登記完了する地区数	地区	1	1	1
	平成27年度以降の境界立会い実施地区(中央4区以降)については、人口集中地区(DID)のため土地所有者の権利意識が強く、境界立会いに難航することが多くなっている。また、新型コロナウイルス感染症対策により、県外土地所有者の境界立会いを予定どおりに行うことが出来ず、事業遅滞が懸念される。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
道路台帳補正業務費		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・1道路橋梁総務費		建設課	1:無		
事業概要	・道路法第28条に基づく道路台帳の調整を行う。道路の現況を把握し道路台帳へ反映させる。 ・すでに道路として利用されているが、所有権移転がなされていない認定道路敷地(未登記道路)が存在しており、その部分の寄附をいただくなど、市民の理解と協力を得ながら積極的に解消を推進する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	16,771 千円	24,074 千円	17,026 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	16,771 千円	24,074 千円	17,026 千円	
目的	・市民の安全安心を確保するために、道路の現況を正確に把握する。 ・適切な管理を行うため、未登記道路敷の解消を図る。				
令和3年度の目標					
道路台帳補正漏れを把握するとともに、工事による変更を正確に反映させ、適正に補正を行う。 未登記道路敷70筆の解消を図る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	正確な道路台帳の補正	回	1	1	1
特記事項	未登記解消筆数	筆	70	70	70

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市道維持補修事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課	1:無		
事業概要	パトロール等による状況把握と維持補修作業を組み合わせ、建設施設の機能保全を図る。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	47,930 千円	47,930 千円	47,930 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	5,608 千円	5,608 千円	5,608 千円		
一般財源	42,322 千円	42,322 千円	42,322 千円		
目的	道路を常時良好な状態にたもつように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないよう、適切な道路の維持修繕を行う(道路法第42条第1項)				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・道ぶしんクリーン事業・ごみゼロ活動への参加を推進する。 ・施設破損個所の30日以内での作業完了率を90%以上にする。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	区の道ぶしんクリーン事業参加率	区	68	68	68
特記事項	施設破損個所の30日以内での作業完了率				
		%	90	90	90
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市道除融雪事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課	1:無		
事業概要	指定する除融雪路線の積雪や凍結による危険を、協力業者との調整により排除する。生活道路の積雪や凍結による危険を、委託業者との調整と地域の協力により排除する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	56,962 千円	82,746 千円	82,746 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	56,962 千円	82,746 千円	82,746 千円		
目的	積雪や凍結による道路での危険を排除することで、利用者の安全性と地域で暮らす満足度を向上させる。				
令和3年度の目標					
業務目的を、協力業者との調整と地域の応援体制の喚起により達成する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	除融雪実施路線の延長	km	216	216	216
特記事項	業務への協力業者数				
		事業所	36	36	36
特記事項	H28年度除雪担当業者24社・凍結防止剤散布担当業者10社(3社兼務) H29年度除雪担当業者30社・凍結防止剤散布担当業者10社(4社兼務) ■H31年度計画より、活動指標に「業務への協力業者数」を追加(協力業者数は業務量に影響し、これを確保することが業務の早期完了に繋がるから)				

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市単道路等整備事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	2:有		
事業概要	区からの建設事業申請箇所及び各長寿命化修繕計画等による事業の推進 ・市道の用地測量、詳細設計等の業務委託 ・市道の道路改良、舗装改良、側溝改良等の工事 ・市道の舗装修繕、側溝修繕等の工事 ・道路用地等の買収、工作物等の移転補償				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	215,278 千円	233,230 千円	233,230 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	58,500 千円	72,000 千円	72,000 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	156,778 千円	161,230 千円	161,230 千円	
目的	区からの建設事業申請箇所について効率的・計画的に市道の道路改良、舗装改良、側溝改良、維持補修等を行う。また、道路施設の長寿命化及び修繕を行い、持続可能な道路網の構築を確保する。				
令和3年度の目標					
○改良申請箇所は、総合的に検討し優先順位に基づいた道路改良工事の実施 ○維持補修申請箇所は、速やかな修繕工事の実施 ○各施設の長寿命化修繕計画に基づいた修繕工事 ○佐久平駅アクセス道路新設整備推進協議会、長野県及び佐久市等と連携し佐久平駅アクセス道路の整備構想の策定					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	生活道路の新設、改良申請実施率(実施数/要望数)	%	20	20	20
	生活道路の維持・補修、維持補修申請実施率(実施数/要望数)	%	60	60	60
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市単河川整備事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無		
事業概要	・準用河川N=10箇所、普通河川N=3箇所の未整備箇所及び老朽化した護岸等の河川整備工事 ・上記河川の維持管理工事				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	10,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	0 千円	8,000 千円	8,000 千円	
目的	近年全国的に多発している豪雨災害による被害を少なくするため、国土強靱化を図り、着実に護岸整備等の河川改修及びしゅんせつ工事等の維持管理を実施する。				
令和3年度の目標					
○(準)松井川・(準)栃木川の護岸整備計画の策定及び護岸整備 ○(準)北川等のしゅんせつ工事					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	安全な河川対策、施工延長	m	20	20	20
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市単交通安全通学路整備事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無		
事業概要	区からの建設事業申請箇所及び通学路点検の要対策箇所等の事業の推進 ・歩道設置工事 ・グリーンベルト、区画線設置工事 ・防護柵、安全施設、警戒標識設置工事等				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円		
目的	区からの建設事業申請箇所、通学路要対策箇所の歩道整備等の安全対策を行い、危険箇所の解消を図る。				
令和3年度の目標					
○歩道設置工事 N=3件					
○令和元年度通学路点検箇所 N=27箇所のうち19箇所					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	通学路合同点検に基づく実施率(実施数/要望数)	%	60	60	60
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
道路メンテナンス事業(老朽化道路インフラ)		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	2:有		
事業概要	・橋梁、横断歩道橋及びトンネル長寿命化修繕計画に基づく詳細設計、修繕工事 ・道路法施工規則に基づく道路施設の定期点検				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	214,000 千円	294,000 千円	284,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	117,700 千円	161,700 千円	156,200 千円	
	地方債	78,500 千円	105,300 千円	97,200 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	17,800 千円	27,000 千円	30,600 千円		
目的	小諸市の管理する今後老朽化する道路構造物の増大に対応するため、策定した各施設の長寿命化修繕計画において橋梁等の長寿命化並びに修繕に係る費用の縮減を図りつつ、道路網の安全性・信頼性を確保する。				
令和3年度の目標					
○小原黒第一橋の詳細設計、狐原橋ほか3橋の補修工事					
○狐原橋ほかN=50橋の点検委託及び直営点検					
○赤坂トンネルの詳細設計					
○0114横断歩道橋の補修工事					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	老朽化した橋梁、横断歩道橋及びトンネル修繕実施箇所数	箇所	2	2	2
	定期点検要領に基づく定期点検の実施率	%	60	80	100
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災・安全交付金事業(舗装修繕)		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無		
事業概要	・舗装長寿命化修繕計画に基づいた、幹線道路の舗装修繕工事				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	45,000 千円	180,000 千円	180,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	22,500 千円	90,000 千円	90,000 千円	
	地方債	20,200 千円	81,000 千円	81,000 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	2,300 千円	9,000 千円	9,000 千円		
目的	舗装長寿命化計画に基づき適切な道路管理を複合的に行い、安全で快適な道路環境整備を推進する。				
令和3年度の目標					
○市道0141号線(千曲ビューライン谷地原) ○市道0141号線(千曲ビューライン 市)					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	道路利用者の安心度の向上、実施箇所	箇所	1	1	1
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災・安全交付金事業(歩道整備)		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無		
事業概要	・通学路点検により要対策箇所となった箇所の歩道整備工事				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	50,300 千円	63,000 千円	82,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	27,665 千円	34,650 千円	45,100 千円	
	地方債	20,300 千円	25,515 千円	33,210 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	2,335 千円	2,835 千円	3,690 千円		
目的	通学路点検により通学路要対策箇所となった歩道整備を実施する。				
令和3年度の目標					
○市道0146号線(和田)歩道改良工事 L=23m ○市道0146号線(市)測量設計業務、歩道改良工事 L=180m					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	通学路の安全空間確保の向上、歩道改良延長	m	150	150	150
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
都市公園維持管理事業		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・4都市公園事業費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理 遊具点検 公園施設長寿命化計画の実施 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,337 千円	8,337 千円	8,337 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,965 千円	1,965 千円	1,965 千円	
	一般財源	6,372 千円	6,372 千円	6,372 千円	
目的	市民が安全で安心して暮らせる状態にするため、公園施設の安全性の確保や機能の保全、利用効果を最大限に発揮させるための物的条件の整備・維持を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 現行の維持管理水準を確保する。 公園施設長寿命化計画に基づき、施設の予防保全を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	職員による日常点検及び清掃	回	480	480	480
	専門業者による遊具定期点検	回	18	18	18
特記事項	【R3年度からの変更点】 <ul style="list-style-type: none"> 公園クリーン活動関係を「景観まちづくり事業」へ移行 「あいおい公園」「大手門公園」の管理等については「中心拠点形成促進事業」へ移行 				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
住宅管理費運営費		継続	—		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・4住宅費・1住宅管理費		建設課	1:無		
事業概要	【運営費】 公営住宅法、小諸市営住宅条例等に基づき、低所得者のための市営住宅(768戸)を供給する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	59,877 千円	63,820 千円	63,820 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	5,930 千円	5,930 千円	5,930 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	48,947 千円	57,890 千円	57,890 千円	
	一般財源	5,000 千円	0 千円	0 千円	
目的	社会基盤を整備し市民の安全安心を確保するため、住宅に困窮する低所得者に対し低廉な住居を提供する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 施設の破損等に対し、迅速で確実な補修を行う。 計画修繕の実施(火災感知器改修工事) 囃団地2棟の外壁及び屋根の改修工事を行う。 市営住宅集約化に向けた取り組みを行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
住宅耐震化事業		継続	11		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・4住宅費・2住宅政策費		建設課	1:無		
事業概要	市内の既存住宅・建築物の耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,800 千円	5,800 千円	5,800 千円	
	特定財源 国・県支出金	3,975 千円	3,975 千円	3,975 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,825 千円	1,825 千円	1,825 千円		
目的	社会基盤を整備し市民の安全安心を確保するため、今後予想される地震災害に対して、市民の防災意識の高揚と既存建築物の耐震性能の向上を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・精密耐震診断件数 20 件 ・耐震改修補助件数 4 件 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	精密耐震診断件数	件	20	20	20
	耐震改修事業補助件数	件	4	4	4
特記事項	建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律(耐震改修促進法)が平成25年11月25日に施行され、「全ての住宅・建築物に対して耐震診断・耐震改修を努力義務化」、「大規模な特定建築物、地震対策上特に重要な建築物に対して、耐震診断を義務化、結果公表」等、耐震化促進のための規制が強化された。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
特定空家対策事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・4住宅費・3空家対策費		建設課	1:無		
事業概要	空家建築物等の実態把握を行ない、所有者の特定・改善依頼をはじめ、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等対策計画の策定・特定空家の除去等を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	290 千円	290 千円	290 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	290 千円	290 千円	290 千円		
目的	居住環境等の整備改善を図るため、空家等の対応を実施する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・特定空家等の解消を図るため、法に基づき行政指導を行う。 ・空家等所有者に対し、問題解決に向けた支援を行う。 ・空家対策協議会、空家対策連絡会の構成員との連携を強化する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	空家相談会の実施	棟	4	4	4
特記事項	小諸市空家等対策計画の見直しを行う。				

事務事業名				新規・継続	
土木総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	8,077 千円	7,875 千円	7,875 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	823 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	7,254 千円	7,875 千円	7,875 千円	
事務事業名				新規・継続	
土木総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	125,747 千円	125,747 千円	0 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	21,773 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	103,974 千円	125,747 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
単独公共土木施設災害復旧事業				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・11災害復旧費・2公共土木施設災害復旧費・1公共土木施設災害復旧費				建設課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	50 千円	50 千円	50 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	50 千円	50 千円	50 千円	
事務事業名				新規・継続	
事務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・1事務費・1事務費・1事務費				建設課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	9,099 千円	9,099 千円	9,099 千円
		国・県支出金	825 千円	876 千円	876 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	8,274 千円	8,223 千円	8,223 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
住宅新築資金等貸付事業債元金償還金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・1元金				建設課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	324 千円	0 千円	0 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	324 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
住宅新築資金等貸付事業債利子償還金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・2利子				建設課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	7 千円	0 千円	0 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	7 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
予備費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・3予備費・1予備費・1予備費				建設課	
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	
		令和5年度			
		年度別事業費	43,570 千円	43,570 千円	43,570 千円
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	43,570 千円	43,570 千円	43,570 千円	

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-3	安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

所 管	上水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市の水道水源は湧水と深井戸のみで、水量・水質共に安定した供給を行っているが、高度成長期以降に整備された施設が法定耐用年数を迎え始め、水道施設の老朽化が進み更新が必要である。加えて近年の異常気象による水質悪化の懸念もあり、対策を図る必要がある。

水源地や配水池など施設数が多く複雑化しており、維持管理における技術の継承など人材育成も図る必要があったため、公民共同企業体を設立し、指定管理者制度により一部の業務を委託した。

今後、人口減少問題等により料金収入の減少も見込まれ、施設の更新や浄化施設の新設とその財源確保が大きな課題となっている。

◆方針

目的
<p>小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、事業推進を図り、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。</p> <p>公民共同企業体「株水みらい小諸」へ指定管理制度により委託した一部業務を、厳格に業務管理を行うことで、水道水の安定供給と事業の継続的な安定経営を図るとともに使用者に適切な情報提供を行い、水道事業の理解度を深める。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画の実行
- ②小諸市水道施設等の指定管理者である公民共同企業体「株水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金徴収関連業務、給水申請関連業務等について、厳格な業務管理(モニタリング)の実施
- ③使用者に適切な情報提供の実施

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①小諸市上水道事業基本計画に基づく実施計画により計画的に施設の整備を行い、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築するとともに、計画の進捗状況のチェックや業務状況の確認を行い、効率的な計画実施が図れる状態。</p> <p>②事業主体として小諸市水道施設等の指定管理者への厳格な業務管理(モニタリング)を行い、効率的な施設の維持管理が図れる状態。</p> <p>③適切な情報提供により、水道使用者の水道事業に対する理解度が深まる状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	安定した水道水の供給に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、安定した水道水の供給ができている割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	83.5	計画	84.0	84.5	85.0	85.0	
		実績					
指標名	総収支比率						
設定理由	100以上が望ましく、計画的な経営ができていないか分かるから。						
算式	総収支比率(総収益/総費用)×100					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	117.8	計画	116	104	106	105	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、引き続き事業推進を図る。
 ②指定管理者「㈱水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金徴収関連業務、給水申請関連業務等について、良好な運営が出来ているか事業主体として厳格なモニタリングを行う。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」
 自然豊かで安全なおいしい水道水を、水道法に基づいた水質管理を行いつつ、いつでもどこでも水道水を得られる環境を整備し、安定した供給を図る。

◆個別計画

地域防災計画/上水道事業基本計画/水道ビジョン/上水道事業実施計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸市水道事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
水道		上水道課	2:有		
事業概要	・小諸市水道事業				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,600,508 千円	1,415,190 千円	1,584,746 千円	
	特定財源 国・県支出金	9,515 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	343,200 千円	380,000 千円	490,000 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	1,247,793 千円	1,035,190 千円	1,094,746 千円	
目的	安全・安心な水を、安定的かつ安価に供給できるよう水道施設の適切な維持管理を行い、健全な財政運営を行うと共に、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市上水道事業実施計画により、計画的な施設更新等を進める。 ・小諸市水道施設等の指定管理者である公民共同企業体「株水みらい小諸」の業務状況について、厳格なモニタリングを行い、広報等により水道使用者への定着を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総収支比率	%	104	106	105
特記事項	管路更新率	%	0.3	0.3	0.3

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-4	安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

所 管	危機管理課
関 連	生活環境課
関 連	消防課
関 連	市民課
関 連	
関 連	—

◆現状と課題

災害による被害を減らすため、市内68区に自主防災組織の設立を目指しているが、「共助」のための自主防災組織については、未だ組織化されていない行政区がある。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、被害を最小限にとどめる「自助・共助」を中心とした「減災」の取り組みが必要である。また、災害時の防災、減災のため、地域防災の要である消防団員の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団と自主防災組織との連携を強化していく必要がある。

高齢社会となるなかで、高齢者の交通事故が増えている。交通事故を減らす取り組みと併せて、高齢者に対する啓発活動を強化していく必要がある。

防犯については、犯罪の未然防止の役割を果たしている防犯カメラの設置や運用、LED防犯灯への切替や、耐用年数が10年と言われているLEDの交換時期の検討が必要である。

◆方針

目的
<p>地域全体で安全安心なまちをつくるため、関係機関との連携強化と住民意識の高揚を図り、すべての市民が安全で安心して生活できる住みよい地域社会の実現を進める。</p> <p>あらゆる災害に対応するため、佐久広域連合消防本部が行う消防・救急業務を支援するとともに、消防団活動の充実を図る。</p> <p>交通事故の発生件数を減らすため、関係機関・関係団体と連携し、啓発活動を推進していく。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難訓練が自主的に行われるよう、住民の方々の認識の状況を確認しながら、様々な避難先の確保を促す周知・広報を行い、とるべき行動の効果的な理解の促進に努める。

交通事故の被害に逢いやすい子供や高齢者に向けて、関係機関と連携し交通安全教室を開催し、交通事故の予防を図る。

消防団や自主防災組織及び民間事業所も含め災害対応を行い、更なる連携の強化及び協力体制の構築を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①すべての地域で様々な手段により防災行政情報を入手でき、市民が避難方法や避難場所等を熟知して、防災・防犯意識が高まっている状態。</p> <p>②交通事故発生件数が減少し、かつ、交通死亡事故がゼロになり、安全で安心に暮らせる状態。</p> <p>③災害時に備え、地域において、自助・共助の理念のもと地域防災力の向上に積極的に取り組んでいる状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	防災への取り組みに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、防災施策が住民のニーズに沿って高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	71	計画	72.0	73.0	74.0	75.0	
		実績					
指標名	交通事故死者数						
設定理由	死亡事故がなくなれば、交通安全に関する啓発が適切に行われ、市民の安全が確保されていると考えられるから。						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	計画	0	0	0	0	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

68区全てにおいて自主防災組織の組織化及び継続した取り組みが行われることを目指し、被害を最小限にとどめる「自助・共助」を中心とした「減災」の取り組みを進める。

交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係機関と連携し交通安全啓発活動を実施する。

引き続き団員確保に向けた取り組みを進めるとともに、研修会・各種訓練を積極的に行うことにより、消防団員の災害対応能力向上に繋げる。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール3 「すべての人に健康と福祉を」

近年、子どもや高齢者が絡む交通事故の割合は多くなっているため、市民や関係団体などと連携し、交通安全運動を推進することにより、交通事故のない安全で快適な社会の実現を図る。

ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」

地域住民、自主防災組織等の協力を得ながら、特に支援を要する者を守るための防災対策の充実を図る。

◆個別計画

地域防災計画／国土強靱化地域計画／交通安全基本計画

◆特記事項

--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防犯事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		危機管理課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 区等の要望に基づく防犯灯のLED灯への切り替え及び防犯灯電気料への補助 区等による小諸市安全で安心なまちづくり事業(防犯活動等)に係る経費への支援 防犯関係機関・団体との連携による組織横断的な活動の推進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	21,841 千円	21,856 千円	21,860 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	21,841 千円	21,856 千円	21,860 千円	
目的	地域の安全・安心の確保の取り組みを推進し、市民が安全で安心して生活できる住みよい地域社会の実現を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 区から要望される防犯灯のLED灯への切替えについて現地調査を行ない、優先度が高い防犯灯の切替え工事を実施する。 警察等と連携し、防犯等に係る事項について広報誌等を活用した啓発を行う。 安全で安心なまちづくり事業補助金等を適正に交付し、地域の安全・安心の確保の取り組みを支援する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	100W以上の既設防犯灯等のLED灯への切替数	基	20	20	20
	安全・安心の確保に係る事項や取組みの啓発回数	回	4	4	4
特記事項	活動指標(アウトプット)について、「既存防犯灯に占めるLED防犯灯の割合」を、消費電力の高いものを一定以上切替えていくために、令和3年度から「100W以上の既設防犯灯のLED灯への切替数」に変更。 「設置基準に基づく防犯灯の設置率」は、令和3年度からセーフコミュニティ推進事業を廃止して統合された安全・安心の取組みに係る「安全・安心の確保に係る事項や取組みの啓発回数」に変更				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災対策費運営費		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画、業務継続計画の見直し、修正 総合防災訓練の年1回の実施 全68区の自主防災組織設立、防災訓練実施、住民支え合いマップ作成・更新の推進 防災講演会、研修会、学習会の定期開催と防災教育充実の推進 防災対策用備蓄品の備蓄推進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	7,713 千円	8,066 千円	8,066 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	7,713 千円	8,066 千円	8,066 千円	
目的	災害等から市民の生命、身体及び財産を守るため、自助、共助、公助に係る意識啓発や体制整備等を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 全68区での自主防災組織の設立・運営の支援を行うとともに、防災講演会、研修会、学習会を継続的に開催し、「自助」「共助」による地域防災力の向上を図る。 避難所運営に必要な防災対策用品(食料、資器材等)の備蓄を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合防災訓練の実施	回	1	1	1
	自主防災組織を設立した区の数	区	63	64	65
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災情報基盤整備・運用事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課	1:無		
事業概要	・防災行政無線設備等の保守管理・点検の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	12,556 千円	11,146 千円	11,126 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	600 千円	600 千円	600 千円	
一般財源	11,956 千円	10,546 千円	10,526 千円		
目的	安全で安心な暮らしの実現を図るため、防災情報が市民への確かつ迅速に伝達できるよう整備を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報伝達設備の定期的な点検・保守管理を行い、防災情報を市民への確かつ迅速に伝達する。 ・アナログ放送終了に伴う代替手段の実施準備を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	防災情報関連機器の点検実施		実施	実施	実施
特記事項	アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
交通安全対策事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全運動の実施 ・小諸市交通安全運動推進協議会の運営 ・小諸交通安全協会への負担金の交付 ・交通安全教室の開催 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,606 千円	1,616 千円	1,616 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,606 千円	1,616 千円	1,616 千円		
目的	交通事故のない安全で安心な暮らしを実現するため、小諸市交通安全運動推進協議会を中心に関係団体等と連携し、交通安全運動に取り組む。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・警察署をはじめとした関係団体等と連携して、季節別の交通安全運動期間を中心に交通安全運動を実施する。 ・高齢者及び子どもを対象に、質の高い記憶に残る交通安全教室を実施する。特に高齢者に対しては高齢者支援関係者等と協力し、具体的な啓発につながる教室の展開を目指す。 ・小諸市における交通安全運動をさらに充実させるため、小諸交通安全協会との連携を強化する。 ・次期交通安全計画の策定に向けた検討を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸市における年間交通事故死者数	人	0	0	0
特記事項	小諸市における運転免許自主返納者数(警察署年統計)				
		人	160	170	180

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
県民交通災害共済事務		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県民交通災害共済への市民の加入促進 ・交通事故被害者への見舞金の支給 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,284 千円	2,292 千円	2,292 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,774 千円	1,820 千円	1,820 千円	
	一般財源	510 千円	472 千円	472 千円	
目的	交通事故被害者の経済面での救済を行い、事故からの立ち直りを支援するため、県民交通災害共済への加入を促進し、被災時に見舞金の支払いを行う。				
令和3年度の目標					
共済事業ならではのメリットである掛金に対する見舞金の高率さをPRし、加入を促進する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	県民交通災害共済加入率	%	66	66	66
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市民相談事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民法律相談の実施 ・市民相談の実施 (無料法律相談、職員による相談) 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	564 千円	564 千円	564 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	564 千円	564 千円	564 千円	
目的	日常生活で発生する様々なトラブルや不安などの相談に応じ、市民生活上で生じる問題の解決を支援する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・広報等を通じて弁護士による無料法律相談を周知する。 ・各種相談機関と連絡調整を行い、他の機関が実施する相談会等を周知する。 ・その他、日常生活上の相談に応じ助言を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	市民法律相談利用率	%	90	90	90
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
消費者行政事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課	1:無		
事業概要	消費生活センターの運営 ・専門相談員による相談・あっせん及び消費者教育などの被害予防啓発				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,239 千円	2,239 千円	2,239 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,195 千円	1,195 千円	1,195 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	1,044 千円	1,044 千円	1,044 千円	
目的	消費生活の安全・安心を実現するため、消費者トラブルの被害防止に取り組み、消費生活上で生じる様々な不安を解消する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員が市民からの悪質商法の相談に応じ、対処方法を助言し、被害軽減のためのあっせんを行う。 ・新たな手口について、広報やホームページへの掲載などを行い、市民向け注意喚起を行う。 ・高齢者の被害防止のため、見守りや支援をする人々への啓発や協力要請等を行うとともに若年層に対しても教育委員会等と連携し、消費者教育の啓発を行う。 ・複雑化、高度化する悪質商法等に対応するため、専門相談員、担当職員の研修の充実を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相談員相談日数	日	160	160	160
特記事項	被害防止等啓発件数	件	25	25	25
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
佐久広域連合負担金		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・1常備消防費		消防課	1:無		
事業概要	佐久広域連合規約により消防施設の設置及び管理に関する事務について、関係市町村が負担割合により負担する市町村分担金。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	359,124 千円	359,101 千円	359,101 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	4,500 千円	4,689 千円	0 千円	
	一般財源	354,624 千円	354,412 千円	359,101 千円	
目的	複雑・多様化かつ大規模広域化する災害から、地域住民の生命・身体・財産を守り、被害を軽減するため、消防施設等の機能更新や効果的な消防活動の展開と予防行政及び救急救助体制の充実強化など総合的な消防体制の整備を行う。				
令和3年度の目標					
<ol style="list-style-type: none"> ①大規模災害に対応するため、消防団や防災団体及び民間企業を含めた広域的な訓練を実施し、連携・協力体制を強化する。 ②専門的な知識や高度な技術を修得するため、消防大学校や県消防学校等の研修機関へ積極的に職員を派遣する。 ③住民に対する救急救命講習や消防訓練等の各種講習会を開催し、救命率の向上と防災意識の高揚を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
非常備消防費運営費		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・2非常備消防費		消防課	1:無		
事業概要	消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関、小諸市消防団の運営・管理に関する事業。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	69,284 千円	87,000 千円	69,238 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	7,441 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	61,843 千円	87,000 千円	69,238 千円		
目的	地域の消防防災体制の中核的役割を果たす消防団の円滑な運用を図る。また、地域防災力の向上を図るため、地域に密着する消防団の機能充実にに向けた維持管理を行う。				
令和3年度の目標					
①団員の確保について、消防団の知名度・イメージアップを図り、興味を喚起することと併せて、多様な人材を確保するための働きを強化する。 ②各種訓練指導、イベントなどで住民と接する機会や広報媒体を最大限に活用し魅力ある消防団のPRを行う。 ③大規模災害を想定し、他防災団体も含めた連携訓練や、個々の分団が地域の実情に即した訓練を実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	消防団員数	人	850	850	850
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
消防施設費運営費		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・3消防施設費		消防課	1:無		
事業概要	消防組織法に基づく小諸市消防団の施設及び各区の消防施設整備に関する事業。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,950 千円	15,500 千円	15,500 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	5,800 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	3,150 千円	15,500 千円	15,500 千円		
目的	・消防団の装備・地域の消防施設の充実強化。				
令和3年度の目標					
・小型動力消防ポンプ1台の更新(第6分団3部) ・小型動力消防ポンプ積載車1台更新(第2分団4部) ・消防施設補助事業に対して補助金の交付。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小型動力消防ポンプ更新数	台	1	1	1
	小型動力ポンプ積載車更新数	台	1	1	2
特記事項					

実施計画書 兼 事業説明書

【政策6：協働・行政経営】

すべての主体が参加し、協働するまちづくり

【施策6-1】参加と協働により市民主体のまちづくりを推進します

【施策6-2】戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

【施策6-3】財政の健全性を確保しながら、効率的・効果的な財政運営を進めます

【施策6-4】市税収入をはじめとする自主財源の安定的な確保を図ります

【施策6-5】職員の意識改革と育成を図り、市民サービスの向上に努めます

政策 6	すべての主体が参加し、協働するまちづくり
------	----------------------

所 管	総務部
-----	-----

◆ミッション

持続可能な小諸市であるために、新たな財源確保策や公共施設の縮減、有効活用を図るとともに、「協働による市民主体のまちづくり」を図り、市民協働で支える健全な行財政経営を進める。また、小諸市役所が、「市民の役に立つ所」であるよう、人材の育成、活用を図る。

- ◎参加と協働による市民主体のまちづくりを推進する。
- ◎戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進する。
- ◎将来にわたり健全財政の維持を図る。
- ◎市民の役に立つ職員の育成を図る。

◆方 針

◎参加と協働による市民主体のまちづくりを推進する。
互いに暮らしやすい地域社会を目指し、自治基本条例の基本理念である「市民主体による参加と協働のまちづくり」を推進するため、各主体の自発的で主体的な活動を活発にする支援を行う。

◎戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進する。
戦略的で効率的・効果的な行政経営を進めるための仕組みとして、総合計画を基軸とし、財政計画、公共施設等総合管理計画を包含した「行政マネジメントシステム」の再構築を進めるとともに、持続可能な地域社会を実現するためSDGsの理念を取り入れた行政経営を進める。また、コスト意識を持った事務事業の見直し改善、アウトソーシングの導入、行政事務のICT化等により行財政改革を推進する。

◎将来にわたり健全財政の維持を図る。
健全財政を維持するための財政計画の策定と新たな予算編成の制度設計を進めるとともに、市税をはじめとする自主財源の確保と、ふるさと納税など新たな自主財源の確保に戦略的に取り組む。

◎市民の役に立つ職員の育成を図る。
小諸市役所が「市民の役に立つ所」であることを実践するために、人材育成基本方針、人事評価制度、定員管理計画を一体的に運用し、社会的つながりの高い、自立した意欲のある職員を育成し、効果的な人材活用を図るとともに、働き方改革を進め、職員の力を効率的、効果的に配分する。

政策 6	全ての主体が参加し、協働するまちづくり
施策 6-1	参加と協働により市民主体のまちづくりを推進します

所 管	企画課／市民課
関 連	全課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

少子高齢化、人口減少が進展し、将来的な行財政の縮減が避けられないなか、小諸市自治基本条例に謳う自治の基本理念である「市民一人ひとりが自治の主体であることを自覚するとともに、自らの意志と責任において主体的に行動し、互いに暮らしやすい地域社会を協働で創ること」の重要性が増している。

少子高齢化、人口減少に起因するさまざまな地域課題が山積する一方、コミュニティの希薄化とともに、区や市民活動団体等の活動についても、参加者の減少や高齢化、固定化が進む中で、互いに暮らしやすい地域社会を参加と協働でいかに創るかが課題である。

◆方針

目的

「市民一人ひとりが自治の主体であることを自覚するとともに、自らの意志と責任において主体的に行動し、互いに暮らしやすい地域社会を協働で創ること」の重要性に対する市民の理解を深め、各主体の自発的で主体的な活動を活発にする。

地域課題の解決に向けた協働推進の一環として、広聴事業の拡充、地域職員連絡会の活動の活性化、区、市民活動団体や大学、高校等との連携を図ること等により、協働のパートナーとしての行政の役割（環境整備、情報提供、活動支援など）を積極的に果たす。

小諸市内の高校と連携し、地域の資源を生かした取り組みを通じて、相互理解を深めるとともに、生徒の主体性を育み、地域の課題解決に向けた取り組みを進める。また、長野県が主導する高校再編について、市として参画していく。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・市民参加を進めるために、固定化しつつある広聴事業の対象地区を拡大する。
- ・基本構想で定めた「めざす地域の姿」を実現するための「しくみ」の具体を再検討し、取り組みの実践につなげる。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

①市民の中で自治の基本理念と重要性が理解されている状態。

②各主体の自発的で主体的な活動が参加と協働により活発に行われている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	市民参加型の会議等の機会が適切に提供されていると感じている人の割合						
設定理由	市民参加型の会議等の機会が適切に提供されれば、参加と協働のまちづくりが進むから。						
算式	市民意識調査より					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	18.5	計画	20.2	21.8	23.4	25.0	
		実績					
指標名	過去3年以内に、区等で開催された行事や活動に参加したことがある人の割合						
設定理由	区等で開催される行事等への参加意欲が高まり参加者が増えれば、参加と協働のまちづくりが進むから。						
算式	市民意識調査より					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	計画	41.0	44.0	47.0	50.0	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

広報こもろ等での周知啓発活動等により「市民主体による参加と協働のまちづくり」の重要性に対する市民の理解を深め、各主体の自発的で主体的な活動を活発にする。
 広聴事業の拡充、地域職員連絡会の活動の活性化、区、市民活動団体や大学、高校等との連携を図ること等により、協働のパートナーとしての行政の役割(環境整備、情報提供、活動支援など)を積極的に果たす。
 小諸市内の高校と連携し、地域の資源を生かした取り組みを通じて、相互の理解を深めるとともに、生徒の主体性を育み、地域の課題解決に向けた取り組みを進める。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」
 「参加と協働」、「各主体のパートナーシップ」の重要性を啓発し、各個人、団体等の自発的で主体的な活動を活発にするとともに、協働のパートナーとしての行政の役割(環境整備、情報提供、活動支援など)を積極的に果たす。

◆個別計画

市民活動支援・推進のためのアクションプラン

◆特記事項

成果指標「過去3年以内に、区等で開催された行事や活動に参加したことがある人の割合」は、市民意識調査の新規項目であり、数値目標は、「区等で開催される行事や活動に参加したい人の割合(市民意識調査)」の令和元年度数値「41.0%」を参考に設定。

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-1 参加と協働により市民主体のまちづくりを推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
表彰事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		企画課	1:無		
事業概要	・表彰規則に基づく表彰の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	569 千円	569 千円	569 千円	
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円		
一般財源	569 千円	569 千円	569 千円		
目的	個人や団体の積極的な公共的活動、体育、学術、芸術、技芸、伝統文化、伝統工芸等における顕著な活躍等に対し、表彰規則に基づいて表彰する。				
令和3年度の目標					
○自主的、主体的な活動を行う市民に対する表彰が行なえるよう、広く推薦の周知を行う仕組みを検討する。 ○表彰式経費ならびに業務縮減(時間短縮)に向け、新年賀詞交換会との合同開催見直しを検討する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸市表彰式開催回数	回	1	1	1
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市民協働推進事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		総務課	2:有		
事業概要	区・区長・区長会に対する活動支援の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	35,663 千円	35,270 千円	35,270 千円	
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円		
	その他	1 千円	1 千円		
一般財源	35,662 千円	35,269 千円	35,269 千円		
目的	区が自主的かつ主体的に自治会活動を行うため、区・区長・区長会に対し財政面をはじめとする活動支援を行う。				
令和3年度の目標					
・区が抱える共通課題を検討するため、実効性のある区長研修会を計画的に実施する。 ・各区の活動の充実を図るため、拠点施設の維持について支援する。 ・各区と連携を図るため、情報提供を行う。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	集会施設等補助金の要望に対する交付率	%	100	100	100
	区長研修会の開催回数	回	3	3	3
特記事項	活動指標修正:理由 従来2月、5月に開催していた新任区長研修会を、5月に統一して開催するため。				

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-1 参加と協働により市民主体のまちづくりを推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市民活動支援事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		市民課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動・ボランティアサポートセンターの運営（相談支援、コーディネート、人材育成、交流促進） 市民活動促進事業補助金の交付による活動支援 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	6,678 千円	6,200 千円	6,200 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	163 千円	30 千円	30 千円		
一般財源	6,515 千円	6,170 千円	6,170 千円		
目的	拠点施設を中心に公益的で自主的な市民活動を支援し、様々な主体との連携・交流を促進するとともに、市民活動の推進を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 各種交流集会や講座の開催により、市民活動の促進を図る。 市民活動を支援するための補助金交付制度を継続する。 自治基本条例の理念である「市民主体による参加と協働のまちづくり」を推進するため、各主体が情報共有・連携する機会のある場をつくる。（区・市民活動団体等の連携など） 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動団体・ボランティアの紹介数	件	410	420	430
特記事項	NPO・ボランティア交流集会の開催回数				
		回	1	1	1
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
各種団体連携事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		企画課	1:無		
事業概要	各種団体等との連携事業の推進				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	27,438 千円	31,482 千円	31,482 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	27,438 千円	31,482 千円	31,482 千円		
目的	大学などの各種団体との連携事業を推進し、交流人口や関係人口の増加、市の活性化やPRを図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 大学等、各種団体との効果的・有効的な連携事業を検討し、実施する。 新規連携事業の検討や継続事業の改善を図っていく。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	「小諸未来義塾」の開催回数	回	1	1	1
特記事項	明治学院大学との連携推進会議の開催回数				
		回	2	2	2

政策 6	全ての主体が参加し、協働するまちづくり
施策 6-2	戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

所 管	企画課
関 連	全課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

基本計画を基軸とし、計画・予算・決算・評価が連携した「行政マネジメントシステム」を構築し、トータルシステムとしての継続的な改善と適切な運用に努めてきたが、今後は特に行財政改革の観点で、事業の見直しと併せて財政計画及び公共施設マネジメントを包含したものとして再構築していく必要がある。

情報戦略によるシティプロモーションについては、市政経営を進めるうえでの重要課題の一つに位置づけ、さらに推進していく必要がある。

ICTを(情報通信技術)取り巻く環境が著しく進展する中、これらの技術革新を的確に把握し、行政サービスの向上に努めていく必要があるとともに、新型コロナウイルス感染症対応として、「新しい生活様式」の実践にむけ、ICTを活用した行財政改革を進める必要がある。

◆方針

目的
<p>戦略的で効率的・効果的な市政経営を進めるために、基本計画を基軸とした「行政マネジメントシステム」の継続的な改善と適切な運用を図るとともに、行財政改革の観点により、恒常的な事業の見直しと併せて財政計画及び公共施設マネジメントを包含したものとして再構築していく。</p> <p>効率的な行政経営に欠かすことのできない情報システム等については、セキュリティポリシーを遵守し、厳格、適正、効果的に整備・運用するとともに、今や市民生活に欠かせないツールとなったICTを積極的かつ戦略的に利活用することで、市民が利便性を実感できる「市民サービスの向上」と「行政運営の効率化」を図る。</p> <p>市政経営の重要課題に、情報戦略によるシティプロモーションを位置付けることで、交流人口、関係人口の増加を図る。</p> <p>行政経営を進める基盤として「価値前提」、「全体最適」の理念の下に、自ら考え、行動し、課題解決する自律した職員を育成し、行政の生産性向上を図る。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・恒常的な事務事業の見直しと併せて「行政マネジメントシステム」は、財政計画及び公共施設マネジメントを包含したものと再構築する。
- ・「戦略的で効率的な行政経営の推進に関する実行計画」の進捗管理を行うことで行財政改革の推進を図る。
- ・新型コロナウイルス感染症対応として、「新しい生活様式」の実践に向け、ICTを活用した行財政改革を進める。
- ・情報戦略によるシティプロモーションを推進し、交流人口、関係人口の増加につなげる。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①基本計画を基軸とした計画・実施・評価・改善(PDCA)のサイクルが「行政マネジメントシステム」により自律的に運用されている状態。</p> <p>②「価値前提」、「全体最適」の理念の下に、自ら考え、行動し、課題解決する自律した職員が育成され、組織の目標に向かい一丸となって、生き生きと働いている状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	人口の社会増減数						
設定理由	政策1～5を推進することにより、人口の社会増が図れるため。						
算式	1年間の転入数－転出数					単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	-15.	計画	+1以上	+1以上	+1以上	+1以上	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

基本計画を基軸とした「行政マネジメントシステム」の継続的な改善と適切な運用を図るとともに、行財政改革の観点により、恒常的な事業の見直しと併せて財政計画及び公共施設マネジメントを包含したものと再構築していく。
 「戦略的で効率的な行政経営の推進に関する実行計画」の進捗管理を行うことで行財政改革の推進を図る。
 情報システム等については、セキュリティポリシーを遵守し、厳格、適正、効果的に整備・運用する。
 時代の潮流に即した技術革新を的確に把握し、行政サービスの向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対応として、「新しい生活様式」の実践にむけ、ICTを活用した行財政改革を進め、市民が利便性を実感できる「市民サービスの向上」と「行政運営の効率化」を図る。
 市政経営の重要課題に、情報戦略によるシティプロモーションを位置付けることで、交流人口、関係人口の増加を図る。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
 基本計画を基軸とした「行政マネジメントシステム」を運用し、各政策・施策の方針に沿った事業が展開されることにより、小諸市が「持続可能なまち」となることを目指す。

ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」
 基本計画を基軸とした「行政マネジメントシステム」を運用することで、政策や施策の方向を職場の中で共有し、職員間のパートナーシップを発揮しながら、目標の達成に向かって最大限の成果を上げる。

◆個別計画

◆特記事項

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-2 戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
議会運営費		継続	-			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・1議会費・1議会費・1議会費		議会事務局	1:無			
事業概要	【運営費】 ・円滑な議会運営と議会改革の推進					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		14,549 千円	14,549 千円	14,549 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	14,549 千円	14,549 千円	14,549 千円	
目的	議会の公平性及び透明性、信頼性を確保し、市民に開かれた議会・市民参加を推進する議会を確立する。					
令和3年度の目標						
①研修会等開催により議員及び職員の資質及び政策形成能力等の向上を図る。 ②議会の円滑な運営について検討を行い、仕組みづくりを推進する。 ③読まれる議会だよりを目指すとともに、議会の見える化を推進する。 ④研修会等への参加により職員の意識改革と資質の向上を図る。						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	事務局職員の研修受講回数(延べ回数)		回	20	20	20
特記事項	ホームページ等の更新回数		回	30	30	30
	活動指標変更:令和3年度からホームページ等の更新回数(従前:議員研修会の開催回数(単独及び近隣))					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
会計管理事務		継続	-			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・3会計管理費		会計課	1:無			
事業概要	適正かつ迅速な会計事務の執行					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		10,868 千円	10,868 千円	10,868 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	10,868 千円	10,868 千円	10,868 千円	
目的	効率的、効果的で透明性の高い市政経営の推進を図るため、会計事務を適正かつ迅速に執行する。					
令和3年度の目標						
・前年度の伝票の返却率の基準数値を参考に、伝票の精度の向上を図るために、手引書を充実させるとともに、あらゆる媒体を活用した職員研修(新入職員及び新たにシステム使用する職員、外部職場、前年度伝票返却率が高かった職場に対する研修等)を行う。 ・予算執行に関する審査をより厳格化し、適正かつ迅速な会計処理を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	伝票返却率		%	5.6	5.5	5.4
特記事項	予算執行に関する研修会の開催		回	2	2	2

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-2 戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
行政経営事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		企画課	2:有		
事業概要 ・総合計画の策定とその運用					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,769 千円	1,769 千円	1,769 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	1,769 千円	1,769 千円	1,769 千円	
目的	総合計画を基軸とした行政マネジメントシステムを構築し、円滑な運用を図る。また、そのために関連する仕組みと基盤の整備を行う。				
令和3年度の目標					
<p>○第11次基本計画の着実な運用を図っていく。</p> <p>○第11次基本計画に初めて明記をしたSDGsについて、広報等を通じて、広く市民に周知していく。</p> <p>○第11次基本計画における「財政計画」について、担当課と協議し、持続可能な行政経営を行える「財政目標」を策定する。</p> <p>○行政のデジタル化について、国や他自治体の動向を注視しながら、引き続き調査研究を行っていく。</p> <p>○自治基本条例について、4年間の活動を総括し、「互いに暮らしやすい地域社会を協働で創ること」の重要性について、市民の理解が深まるよう取り組みを進めていく。</p>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	PDCAサイクルを定着させるための職員研修の実施回数	回	1	1	1
特記事項	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	市民意識調査の実施回数	回	1	1	1
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
秘書事務費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		企画課	1:無		
事業概要 ・理事者の活動及び秘書業務に係る経費					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,109 千円	8,019 千円	8,019 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	8,109 千円	8,019 千円	8,019 千円	
目的	理事者が円滑に業務を遂行するための連絡調整				
令和3年度の目標					
市政の円滑な運営に向けた理事者活動に資するよう、交際費の適切な執行を行う。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	交際費の公表	回	12	12	12
特記事項	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-2 戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
ふるさとPR事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		企画課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸の魅力を全国に発信し、小諸を支えてくれる人を増やしていく。 ・小諸の良さ、強みを再認識し、市民が誇りを持てるようにする。 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	171,542 千円	121,423 千円	121,423 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	171,542 千円	121,423 千円	121,423 千円		
目的	小諸市の魅力発信、自主財源の確保、知名度向上、誘客、関係・交流人口の増加				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・新規返礼品の開発を行い、幅広い層に小諸市のふるさと納税を広めていく。 ・ふるさと市民に対し、小諸市をより身近に感じてもらえるようメルマガの配信、イベント等の企画を行う。 ・「小諸キャンパス」のほか各種連携事業を通じ、シティプロモーションを推進する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ふるさと応援寄附金額	千円	300,000	300,000	300,000
特記事項	ふるさと市民の新規登録人数	人	1,000	1,000	1,000
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
広報広聴事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費		企画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ホームページ、テレビ番組等を通じた市政に関する情報の提供 ・市長との懇談会の開催や市民提案の受付などの広聴事業の実施 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	13,800 千円	13,518 千円	13,518 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	1,512 千円	1,512 千円	1,512 千円		
一般財源	12,288 千円	12,006 千円	12,006 千円		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を市民へ提供するとともに、市政への理解を深め、市民参加を促進する。 ・市民の建設的な意見や提案を募集し、市政運営に反映させる。 				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・読んでもらい、行動してもらえる広報を目指し、紙面の充実のほか、イベント等を開催し広報に対する関心を高めていく。 ・情報発信推進委員を対象とした研修会を開催し、情報発信に関するスキルアップを行う。 ・プレスリリースの好例を共有し、市が行うプレスリリースの質の向上を図る。 ・幅広い層と意見交換を行い、吸い上げた意見を組織内で共有する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	広報こもろを読んでいる人の割合	%	70	70	70
特記事項	広聴事業の実施団体数	団体	15	15	15

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-2 戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
職員厚生費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・7職員厚生費		総務課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の定期健康診断・各種検診等の実施 ・心の相談室の開設 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	14,799 千円	14,799 千円	14,799 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,060 千円	1,060 千円	1,060 千円	
	一般財源	13,739 千円	13,739 千円	13,739 千円	
目的	職員の健康の維持増進を図るため、各種健診の実施とメンタルサポートを実施する。				
令和3年度の目標					
定期健康診断・各種検診等の受診やストレスチェックをすることにより、職員自らの健康状態を知り、健康意識を高め職場全体のヘルスアップにつなげる。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	定期健康診断の受診率	%	100	100	100
特記事項	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	がん検診で精密検査を要すると診断された職員の精密検査の受診率	%	100	100	100
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
職員研修費		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・8職員研修費		総務課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各種職員研修の実施 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,363 千円	2,363 千円	2,363 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	2,363 千円	2,363 千円	2,363 千円	
目的	地方分権時代に対応し、他人任せでなく一人称で自ら考え行動し、価値前提の考えのもと、地域の課題・問題等を解決していく職員を育成するために、各種研修等を実施する。				
令和3年度の目標					
女性の活躍の推進に関する特定事業主行動計画に基づき女性を対象にしたキャリアデザイン研修の実施や職員メンター制度による新人研修の充実を図る。 また、複雑化する行政ニーズに対応するため、職員には政策形成能力、創造的能力及び法務能力等により、一層の向上のため研修会の開催や参加を積極的に推進する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	人材育成基本方針の見直し		実施する	実施する	実施する
特記事項	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	人材育成基本方針に沿った職員研修の実施		実施する	実施する	実施する

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-2 戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
庁内情報システム運用事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・9情報化推進費		企画課	1:無		
事業概要	・庁内情報システムの運用 (行政マネジメントシステム・グループウェア・ファイルサーバー・電子申請など)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	73,775 千円	96,500 千円	74,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	381 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	73,394 千円	96,500 千円	74,000 千円		
目的	継続的な事務改善により行政の生産性を向上させるため、庁内情報システムを有効に活用する。また、庁内情報システムを有効に活用するため、システムの安定的かつ効率的な運用を図る。				
令和3年度の目標					
・総務省の定める「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に従いながら、業務の利便性と情報セキュリティの運用体制の改善を図っていく。 ・令和3年度中に本格稼働を予定する在宅勤務システムについて試験運用や制度設計を実施し、職員の働き方改革等に寄与する。 ・情報セキュリティポリシーを遵守するための職員研修を計画的に実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	パソコンの計画的な更新	台	100	50	50
特記事項	ファイルサーバーの点検・整理	回/月	1	1	1
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
選挙管理委員会運営費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・4選挙費・1選挙管理委員会費		選挙管理委員会事務局	1:無		
事業概要	【運営費】 選挙啓発並びに選挙管理委員会の運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,164 千円	2,164 千円	2,164 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,163 千円	2,164 千円	2,164 千円		
目的	公正・公平な選挙が実施されるよう選挙啓発を行い、投票率の向上をめざす				
令和3年度の目標					
1 4月25日執行の参議院長野県選出議員補欠選挙、及び10月任期満了の衆議院議員総選挙の適正な管理執行に努める。 2 令和4年度は、7月任期満了の参議院議員通常選挙、8月任期満了の長野県知事選挙、1月任期満了の小諸市議会議員一般選挙、更に翌年度4月任期満了の長野県議会議員一般選挙と続いている。令和4年度の選挙を必要最小限の人員で、かつ適正な管理執行となるよう万全の準備をする。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	選挙管理委員会 各種研究会、総会等	回	5	5	5
特記事項	事務局職員研修	回	5	5	5

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-2 戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
統計調査事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・5統計調査費・1統計調査総務費		企画課	1:無		
事業概要	・各種統計調査の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,525 千円	1,632 千円	4,941 千円	
	特定 財源	国・県支出金	2,525 千円	4,941 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	統計法第16条の規定により各種統計調査を実施する。				
令和3年度の目標					
各種統計、センサスを正確かつ確実に実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	登録調査員数	人	35	35	35
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
監査委員運営費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・6監査委員費・1監査委員費		監査委員事務局	1:無		
事業概要	・公平不偏な監査の推進				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,098 千円	2,098 千円	2,098 千円	
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	2,098 千円	2,098 千円	2,098 千円	
目的	・市の行財政運営について、健全性及び透明性が確保されているか、また、事務の管理及び執行等について法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的に行われているかを定期的に監査する。				
令和3年度の目標					
・法令、研修会の内容等を監査委員と共通認識し、監査委員を補佐し、監査の資質向上を図る。 ・監査計画に基づく重点監査の実施。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	監査委員研修	回	4	4	4
	事務局職員研修	回	4	4	4
特記事項	参加する研修は、長野県都市監査委員会研修会(2回)全国都市監査委員会研修会、東信5市監査委員・事務局長情報交換会、(事務局事務研究会)を予定している。				

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-2 戦略的で効率的・効果的な行政経営を推進します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
運営費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市等公平委員会特別会計・1小諸市等公平委員会運営費・1運営費・1運営費		監査委員事務局	1:無		
事業概要	職員の勤務条件及び不利益処分に関する措置要求を審査し、必要な措置を執る。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	227 千円	227 千円	227 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	227 千円	227 千円	227 千円	
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	職員の勤務条件に関する措置要求等を審査し、必要な措置を講じ、民主的、能率的な人事行政運営を進める。				
令和3年度の目標					
研修会の内容等を共通認識し、公平委員会の職務に必要な知見を得る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公平委員事務局職員研修	回	2	2	2
特記事項	参加する研修は、全国及び長野県公平委員会連合会研究会の参加を予定している。				

事務事業名				新規・継続
企画費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・1総務管理費・4企画費				企画課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		943 千円	943 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		943 千円	943 千円	
事務事業名				新規・継続
小諸市等公平委員会特別会計繰出金				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費				総務課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		200 千円	200 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		200 千円	200 千円	
事務事業名				新規・継続
議員報酬等				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・1議会費・1議会費・1議会費				議会事務局
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		133,045 千円	133,045 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		133,045 千円	133,045 千円	
事務事業名				新規・継続
議会事務局給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・1議会費・1議会費・1議会費				議会事務局
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		39,094 千円	39,094 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		39,094 千円	39,094 千円	
事務事業名				新規・継続
選挙管理委員会給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・4選挙費・1選挙管理委員会費				選挙管理委員会事務局
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		9,018 千円	9,018 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		9,018 千円	9,018 千円	
事務事業名				新規・継続
参議院議員選挙運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・4選挙費・2参議院議員選挙費				選挙管理委員会事務局
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		17,650 千円	0 千円
	特定 財源	国・県支出金	17,650 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続
衆議院議員選挙運営費				新規
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・4選挙費・3衆議院議員選挙費				選挙管理委員会事務局
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		17,843 千円	0 千円
	特定 財源	国・県支出金	17,843 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	

政策 6	全ての主体が参加し、協働するまちづくり
施策 6-3	財政の健全性を確保しながら、効率的・効果的な財政運営を進めます

所 管	財政課
関 連	施設管理室
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

複合型中心拠点誘導施設の建設、小中学校の大規模改修等、今後も公共施設の老朽化対策などの大型事業が控えており、社会保障関係費も上昇が見込まれ財政需要は増加が見込まれる。その一方、歳入面は人口減少による税収減や地方交付税の減額などが見込まれ、財政規模の縮小は避けられない状況にある。現時点の財政状況は概ね良好と判断されるが、今後も健全財政を維持していくためには、財政規律の遵守と市税を中心とする自主財源の確保・強化、公共施設等総合管理計画の着実な実行が課題である。

◆方針

目的
当面の課題となっている事業や市民生活を支える財政需要に的確に対応しつつ、将来にわたり健全財政が維持できるよう「基金や市債に依存した財政構造からの回避」を最優先事項として財政規律を遵守し、長期的な視点に立った効率的・効果的な財政運営を行う。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ①新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ「基本計画財政目標未達成に対する改善策」の実行に向け進行管理を行う。
- ②「公共施設等総合管理計画」に基づく「公共施設マネジメント」を着実に進めるため、施設管理室と連携し空き施設の活用方法等を具体的に検討するとともにこれらを踏まえた財政計画を作成する。
- ③「新たな予算編成手法」の導入に向け先進自治体の状況を調査し、企画課と連携し実効性ある手法となるように導入準備を進める。
- ④電子入札システムへのスムーズな移行ができるよう関係団体との調整を丁寧にする。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①公共施設マネジメントと連動し、中長期的視点に立った財政計画が作成され、それに沿った予算編成・予算執行が行われている状態。
②「公共施設等総合管理計画」に基づいた公共施設等の総合的かつ計画的な管理に向けた取り組みが進められている状態。
③公平・公正な入札・契約により、適正な公共調達・公共工事が実施されている状態。

◆成果指標(アウトカム)
・目標の計画と達成状況

指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計画				
		実績				
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計画				
		実績				
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ①「基本計画財政目標未達成に対する改善策」の着実な実行。
- ②「財政計画」の策定と「新たな予算編成手法」の導入。
- ③令和2年度に導入した「電子入札システム」の運用の確立。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」

市民に情報を提供し、財政状況への理解を得ながら行財政改革を推進し、将来にわたり持続可能な財政運営を目指す。

◆個別計画

公共施設等総合管理計画

◆特記事項

「目標値」については、新型コロナウイルス感染症対策として、緊急経済対策等事業を優先するため、令和3年度当初予算編成の段階においては、一時的な財政収支の不均衡を容認せざるを得ない状況となっている。こういった状況下では適切な財政目標を立てることが困難であるため、目標値は設定せず、令和3年度に改めて財政目標を策定する予定である。

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-3 財政の健全性を確保しながら、効率的・効果的な財政運営を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
財政管理費運営費		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・2財政管理費		財政課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成及び執行管理 ・地方交付税、地方債に係る事務 ・財政状況に関する各種調査資料等の作成・公表 ・財政状況の把握・分析 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	417 千円	417 千円	417 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	417 千円	417 千円	417 千円		
目的	将来にわたり健全財政を維持するため、適正な予算編成と執行管理、財政状況の分析等を行うとともに、財政状況を市民へ分かりやすく公表する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・第10次基本計画で定める財政目標の未達成に対する改善策を着実に実行する。 ・統一的な基準による財務書類の分析を行い、令和3年度当初予算編成に活用する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算編成会議、予算調整会議の開催数	回	6	6	6	
特記事項	財政状況に関する各種調査・資料の作成数					
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
財産管理費運営費		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・5財産管理費		財政課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・入札による工事、コンサル、物品・役務の公共調達 ・公共工事の適正な施工と品質の確保 ・公共財産の囑託登記事務 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	15,391 千円	13,683 千円	13,683 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	11,190 千円	13,683 千円	13,683 千円	
	一般財源	4,201 千円	0 千円	0 千円		
目的	・透明性のある公共調達を行い、公共工事の円滑な施工、品質の確保と物品・役務の適正な履行を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・電子入札や事務手続きの見直しを進める。 ・公共工事の施工時期の平準化に向けた取組みを研究する。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	建設工事の4～6月期の平準化率		0.49	0.5	0.51	
特記事項	囑託登記の完了率					
特記事項	%					
特記事項	100					
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から、活動指標②「1件250万円以上の建設工事の成績評定の平均点について、77.3点(平成26年度)以上を保つ」を削除。 ・令和3年度から、活動指標①「工事事務等に関する技術職員の研修を年1回実施する。」を削除。 					

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-3 財政の健全性を確保しながら、効率的・効果的な財政運営を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
普通財産管理費		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・5財産管理費		財政課	1:無		
事業概要	公有財産(普通財産)の適切な管理				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,114 千円	3,114 千円	3,114 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	3,114 千円	3,114 千円	3,114 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	公有財産(普通財産)の利活用を推進することにより自主財源の確保を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・公有財産台帳を整備するとともに利活用可能な財産を調査する。 ・売却可能な公有財産を選定し、環境が整った物件は積極的に処分する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	不要財産処分についての広報回数	回	2	2	2
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
車両管理費運営費		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・6車両管理費		財政課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車両の適正な維持管理 ・公用車両の集中管理 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	46,691 千円	46,691 千円	46,691 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	46,691 千円	46,691 千円	46,691 千円		
目的	公用車両の適正な維持管理を行い車両の長寿命化を図ると共に使用時の安全を確保し、最少の公用車両を効率よく配車することでコストの削減を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・すべての車両について、年に1回の点検修理を行う。 ・古い車両も多く修繕費もかかるため、計画的に車両の更新を行う。また、車両更新の際は、事業内容をよく精査してその必要性から検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	車両1台の1年間に行う点検修理	回	1	1	1
特記事項	安全運転に関する情報の周知	回	2	2	2

事務事業名				新規・継続	
財政調整基金等積立金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・2総務費・1総務管理費・2財政管理費				財政課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		6,060 千円	6,000 千円	6,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	6,060 千円	6,000 千円	6,000 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続	
元金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・12公債費・1公債費・1元金				財政課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		1,642,591 千円	1,777,085 千円	1,859,418 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	500,324 千円	17,972 千円	17,972 千円
一般財源		1,142,267 千円	1,759,113 千円	1,841,446 千円	
事務事業名				新規・継続	
利子				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・12公債費・1公債費・2利子				財政課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		89,908 千円	93,318 千円	93,416 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	15 千円	1,304 千円	1,304 千円
一般財源		89,893 千円	92,014 千円	92,112 千円	
事務事業名				新規・継続	
水道事業会計繰出金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・13諸支出金・1公営企業費・1上水道事業費				財政課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		22,088 千円	21,830 千円	21,980 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		22,088 千円	21,830 千円	21,980 千円	
事務事業名				新規・継続	
予備費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・14予備費・1予備費・1予備費				財政課	
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		44,608 千円	40,000 千円	40,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		44,608 千円	40,000 千円	40,000 千円	

政策 6	全ての主体が参加し、協働するまちづくり
施策 6-4	市税収入をはじめとする自主財源の安定的な確保を図ります

所 管	税務課・収納管理室
関 連	企画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

少子化・高齢化・人口減少の進展により、今後さらに高齢者や年金受給者などの経済的弱者の増加が予想されるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による景気の停滞が続くことが予想されるため、税収の減少や滞納の増加が懸念される状況である。

◆方針

目的
<p>財政の健全化と市民負担の公平性を確保するため、市税の自主納付の促進と納期限内納付の促進に努めるとともに、納税意識を高める働きかけを強化する。そのような取り組みの前提として、税の意義や仕組みに対する職員の知識を高め、市民等に課税内容についてよりわかりやすく説明ができるようにし、納税に対する確かな理解を得る。また、市民の所得向上に向けた各種施策の実施により、安定した自主財源である市税収入の確保を図るとともに、ふるさと納税の増加のための創意工夫を行い、自主財源の安定的な確保を図る。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

<ul style="list-style-type: none"> ・市民等の税金の意義に対する理解を深め、納期限内の収納率が向上することより、税財源の確保を図る。 ・職員の税制に対する専門的な知識を高める中で、市民等に丁寧に対応できる職員体制の構築。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①市民等の税金の意義に対する理解が深まり、納期限内納付が向上している状態。 ②職員の税制に対する専門的な知識を高める中で、市民に一人ひとり丁寧に対応できる職員体制が構築されている状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	市税現年度収納率						
設定理由	自発的な納税の定着が図られることにより、収納率の向上につながるため。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	98.73	計画	98.78	98.83	98.88	98.93	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・税の意識や仕組みに対する納税者の理解を深めるため、小中学校向けの「租税教室」中学生向け「税の作文の募集」を行い、租税教育の推進及び啓発活動を行う。
- ・職員の税制に対する専門的な知識を高めるため、課内研修の強化を図る。
- ・税に対する市民負担の公平性を確保するため、滞納者に対しては滞納処分等を適正に実施する。
- ・納税者の利便性の向上と収納率の向上を図るため、多様化する収納チャンネルについて調査研究を行う。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール10「人や国の不平等をなくそう」

税法に基づき、所得に応じた適正な課税を行うとともに、納期内納付の定着を促すことにより税負担の公平性を保つ。

◆個別計画

--

◆特記事項

目標値である収納率は、毎年0.05%向上させていく計画となっているが、実績値との差が大きくなり現実的でない目標値のため、令和2年度以降の目標値を令和元年度実績値から0.05%ずつ向上させる目標数値とした。

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-4 市税収入をはじめとする自主財源の安定的な確保を図ります

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
賦課徴収費運営費		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・2徴税费・2賦課徴収費		税務課	1:無		
事業概要	・市税の賦課及び徴収				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	101,744 千円	103,784 千円	103,784 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	3,500 千円	3,500 千円	3,500 千円		
一般財源	98,244 千円	100,284 千円	100,284 千円		
目的	将来にわたる健全財政の維持に向け、自主財源の確保を図るため、市税の適正な賦課及び厳正な徴収を行う。				
令和3年度の目標					
・正規職員の業務を徴収吏員としての滞納処分業務に集中させ、市税の現年度収納率98.83%を目指す。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	市税収納率(現年度課税分)	%	98.83	98.88	98.93
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
公売事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・2徴税费・2賦課徴収費		収納管理室	1:無		
事業概要	差押物件のインターネット公売事業				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	140 千円	140 千円	140 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	140 千円	140 千円	140 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	収納率向上				
令和3年度の目標					
財産調査を実施し、差押え可能な事案について積極的に公売を実施することにより、税の公平負担に努める。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	差押公売の件数	件	5	5	5
特記事項	差押公売の実績額	千円	0	0	0

事務事業名			新規・継続		
税務総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・2総務費・2徴税费・1税務総務費			税務課		
投入 指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費	136,734 千円	127,993 千円	127,993 千円
	特定 財源	国・県支出金	63,000 千円	63,000 千円	63,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	73,734 千円	73,734 千円	64,993 千円	

政策 6	全ての主体が参加し、協働するまちづくり
施策 6-5	職員の意識改革と育成を図り、市民サービスの向上に努めます

所 管	総務課
関 連	全課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

平成27年9月の新庁舎供用開始以降、庁舎1階での窓口サービスの集約化を行い、接遇研修などの各種研修を実施して、来庁者サービスの改善を図っている。しかしながら、より市民サービスを向上させるためには、全職員が「市役所は地域で最大のサービス業」であることを意識する必要があり、職員のさらなる意識改革と人材育成が必要不可欠となる。

◆方針

目的
小諸市役所が「市民の役に立つ所」であることを実践し、市民満足度を高めるため、人材育成基本方針・定員管理計画・人事評価システムを一体的に運用し、職員のモチベーションを向上させ意識改革を図る。また、各種研修等を実施することにより、管理職のマネジメント能力の向上をはじめ、社会的つながりの高い、自立した意欲ある職員の育成に努め、働き方改革を進めながら、効率的・効果的にサービスを提供する。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ①職員のモチベーションの維持・向上のため、人事評価システムの改善を行う。
- ②職員の意識改革を図るため、管理職のマネジメント能力向上・職員のスキルアップ・接客接遇の各種研修の実施や積極的な参加を促す。
- ③行政手続きの迅速化・適正化を図るため、働き方改革推進本部検討委員会や事務処理等改善委員会において、絶えず事務処理の効率化を追求する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①人事評価システムの改善を図り、職員のモチベーションが上がっている状態。
②人材育成基本方針の見直しを行い、有効な研修会等の実施や積極的な参加により、職員の意識改革を図るとともに、管理職のマネジメント能力の向上及び自立した職員の育成に努め、市民サービスが向上している状態。
③定員管理計画を見直し、適材適所の人事管理を可能とする仕組みができている状態。
④「働き方改革推進本部検討委員会」や「事務処理等改善委員会」において、絶えず事務処理の効率化を追求し、行政手続きの迅速化・適正化が図られた状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	市役所窓口・相談等のサービスに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市役所での窓口・相談等のサービスに満足している人の割合が高くなれば、職員の意識改革と育成が図られたと判断でき、市民サービスが向上したと考えられるため。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	76.1	計画	77	78	79	80	
		実績					
指標名	自分の仕事を進めるうえで工夫や改善をしていると思う職員の割合(職員意識調査)						
設定理由	工夫や改善を行う、自立した意欲ある職員が増えれば、市民サービスが向上すると考えられるため。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	65.0	計画	70	75	80	85	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<p>①人事評価システムの改善を行い、昇給・昇格の処遇への反映をさせた完全実施を目指す。</p> <p>②人材育成基本方針の見直しを行い、継続的に人材育成に有効な研修会の実施や積極的な参加を促す。</p> <p>③定員管理計画を見直し、適材適所の人員配置に努める。</p> <p>④事務処理等改善委員会を定期的に開催し、絶えず事務処理の効率化を追求する。</p>

◆SDGsの推進に向けた取り組み

<p>ゴール8「働きがいも経済成長も」</p> <p>市民の役に立っていることを肌で感じながら日々の仕事を行うことにより、職員の働きがいの向上を図る。</p>

◆個別計画

人材育成基本方針／定員管理計画

◆特記事項

--

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-5 職員の意識改革と育成を図り、市民サービスの向上に努めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
一般管理費運営費		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		総務課	1:無		
事業概要	【運営費】各種審査会報酬、会計年度任用職員報酬等の支払い ・定期刊行物の購入及び配布 ・庁内郵便物の收受及び料金精算 ・職員採用試験の実施 ・人事給与システム及び勤務管理システムの運用・保守 ・電話交換業務の実施 他				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	27,161 千円	36,148 千円	36,148 千円	
	特定財源 国・県支出金	615 千円	15 千円	15 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	30 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	26,516 千円	36,133 千円	36,133 千円	
目的	庁内業務の適切な管理・運営を基に、良質な市民サービスの提供を図る。				
令和3年度の目標					
良質な市民サービスを安定して提供するため、庁内業務を的確に遂行する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
庁舎管理費		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		施設管理室	1:無		
事業概要	・庁舎等の施設・設備等の衛生管理及び安全管理の実施 ・職員の執務空間整備に関する事項の実施 ・省エネ法に基づくエネルギー管理の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	121,197 千円	133,058 千円	133,058 千円	
	特定財源 国・県支出金	250 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	9,555 千円	18,344 千円	18,344 千円	
	一般財源	111,392 千円	114,714 千円	114,714 千円	
目的	庁舎等の施設及び設備の適正な管理・運営を基に、良質な市民サービスの提供を図る。				
令和3年度の目標					
・建物総合管理委託業者等と綿密に連携をとり、安全、快適な庁舎施設を維持管理する。 ・エコオフィス活動を推進し、エネルギー消費を抑える。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項	エネルギー消費原単位(消費原油量/床面積)の削減	kl	658	651	644

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-5 職員の意識改革と育成を図り、市民サービスの向上に努めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
文書費		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		総務課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 法務関係書類の整備に係る業務の実施 個人情報・情報公開制度に関する業務の実施 公文書のファイリングシステムの適正な維持管理 印刷機器類の維持管理・保守点検・修繕の実施 					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	9,369 千円	9,369 千円	9,369 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	110 千円	110 千円	110 千円	
	一般財源	9,259 千円	9,259 千円	9,259 千円		
目的	適正・的確な文書管理事務を基に、事務の効率化と市民サービスの向上を図る。					
令和3年度の目標						
公文書管理規則及び公文書規程に基づき、適切な文書管理を行う。 公文書について適切な廃棄を行い、不要な文書の蓄積を避け、ファイリングの維持管理を行う。 市民への透明性及び信頼性の確保のため、個人情報の適切な管理を行う。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	職員1人のファイルメータ3mの実現	m	3	3	3	
特記事項	ファイリング研修の開催	回	2	2	2	
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
市民交流センター運営事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		施設管理室	1:無			
事業概要	市民交流センターの運営					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	10,652 千円	10,652 千円	10,652 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	5,463 千円	5,463 千円	5,463 千円	
	一般財源	5,189 千円	5,189 千円	5,189 千円		
目的	市民の皆さんの様々な活動を場所の提供という形で支援する運営を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 市民の皆さんの様々な活動の場所を安定的に提供する。 複合型中心拠点誘導施設と一体的、効率的に管理運営を行う。 						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年間開館日数	日	335	335	335	
特記事項	開館時間(1日あたり)	時間	13.5	13.5	13.5	

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-5 職員の意識改革と育成を図り、市民サービスの向上に努めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
集約駐車場管理事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		施設管理室	1:無		
事業概要	市営中央地下駐車場(第1駐車場)・市営中央西側駐車場(第2駐車場)・市営赤坂駐車場(第3駐車場)における、適正な点検・管理による利便性の確保				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	11,861 千円	0 千円	0 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	8,789 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	3,072 千円	0 千円	0 千円		
目的	適正な点検・管理により、市庁舎、こもろ医療センター及び図書館等利用者の集約駐車場としての利便性を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・常時良好な状態に保つように維持管理を行う。 ・こもろ医療センターと連携し、来客者等駐車場利用者の利便性を図る。 ・8月に予定される複合施設駐車場の供用開始に向け、集約駐車場についてもさらなる効率化を図るため運用方法の見直しを実施する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場施設の定期点検回数	回	4	4	4
特記事項	駐車場内の緊急対応可能日数	日	365	365	365
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
複合型中心拠点誘導施設管理費		新規	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		施設管理室	2:有		
事業概要	複合型中心拠点誘導施設(共用部及び交流スペース等)の管理運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	23,645 千円	34,923 千円	34,923 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	19,271 千円	34,923 千円	34,923 千円		
一般財源	4,374 千円	0 千円	0 千円		
目的	施設及び設備の適正な管理運営により、各施設の利用者に快適な空間を提供する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・8月に予定する公共施設棟のプレオープン、10月に予定する商業施設棟を含めたグランドオープン、その後の施設の立ち上げを円滑に進める。 ・オープンまでに、関係する団体(株)ツルヤ、こもろ医療センター、社会福祉協議会、(株)まちづくり小諸等)との連携体制を確立し、定期的な連絡会議の開催等により、安定的な管理運営を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	連絡会議の開催回数	回	8	12	12
特記事項	年間開館日数	日	212	347	347

政策 6 全ての主体が参加し、協働するまちづくり
 施策 6-5 職員の意識改革と育成を図り、市民サービスの向上に努めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
住民情報システム運用事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・9情報化推進費		企画課	1:無		
事業概要	・住民情報システムの運用 (住民情報・税務情報・収納・健康管理・福祉関係など)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	43,028 千円	43,100 千円	43,100 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,064 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	41,964 千円	43,100 千円	43,100 千円		
目的	市民への窓口サービスや税の賦課、住民基本台帳等の管理を正確かつ円滑に行うため、住民情報システムの安全で安定的な運用を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・税番号制度に関するシステムについて、各課での業務に支障の無いよう、安全で安定的な運用を図る。 ・マイキープラットフォームの利活用について、国及び他自治体の動向を注視しながら、必要な情報を収集し、市民益に繋がるような運用を目指す。 ・情報セキュリティポリシーを遵守するため、職員を対象とした研修を計画的に実施する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	情報セキュリティ研修会の開催	回	1	1	1
特記事項	情報セキュリティ委員会の開催		随時	随時	随時

事務事業名				新規・継続
一般管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費				総務課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		674,151 千円	758,725 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	7,751 千円	7,751 千円
一般財源		666,400 千円	750,974 千円	
事務事業名				新規・継続
国保・年金事業費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・1社会福祉費・2国保・年金事業費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		433 千円	500 千円
	特定 財源	国・県支出金	433 千円	500 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続
国保・年金事業費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・1社会福祉費・2国保・年金事業費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		18,990 千円	18,990 千円
	特定 財源	国・県支出金	8,067 千円	8,067 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		10,923 千円	10,923 千円	
事務事業名				新規・継続
戸籍住民基本台帳費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・3戸籍住民基本台帳費・1戸籍住民基本台帳費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		40,355 千円	39,300 千円
	特定 財源	国・県支出金	700 千円	5,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	16,199 千円	16,005 千円
一般財源		23,456 千円	18,295 千円	
事務事業名				新規・継続
戸籍住民基本台帳費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・3戸籍住民基本台帳費・1戸籍住民基本台帳費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		84,946 千円	75,569 千円
	特定 財源	国・県支出金	375 千円	503 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		84,571 千円	75,066 千円	
事務事業名				新規・継続
マイナンバーカード普及促進事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・3戸籍住民基本台帳費・1戸籍住民基本台帳費				市民課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		18,006 千円	23,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	16,791 千円	22,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	104 千円	200 千円
一般財源		1,111 千円	800 千円	
事務事業名				新規・継続
施設管理費運営費				新規
会計・款・項・目				所管課
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費				施設管理室
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		350 千円	1,010 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		350 千円	1,010 千円	